

年 報

令和 6 年度

高島市民病院

理 念

湖西地域の中核病院として、住民の方々の健康を守り、医療の充実に努めます。

基本方針

1. 医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
2. 医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
3. 救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
4. 地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
5. 継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。

医療を受けられる方の権利

1. 尊厳ある個人と生命・人格・信条の尊重を受ける権利があります。
2. 安全で良質な医療および健康教育を受ける権利があります。
3. 医療内容とその結果・予後について説明を受け、自己決定する権利があります。
4. セカンドオピニオン（他院の医療者の意見）を求める権利があります。
5. 個人情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

医療を受けられる方へのお願い

1. ご自分の健康状態について、なるべく正確に職員にお伝え下さい。
2. 治療効果を高めるため、職員とともにチーム医療にご参加・ご協力下さい。
3. 検査や治療方法などの説明について、納得できない場合は職員にお知らせ下さい。
4. マスク着用・咳エチケット・手洗い・面会制限などの感染対策を含め、病院内では規則に従い、職員の指示をお守り下さい。
5. 療養環境の改善のため、お気づきの点があればお教え下さい。

病院の倫理綱領

1. 医療という仕事の尊厳と責任を自覚し、不断に知識・技術および倫理観を高めるよう努めます。
2. 患者様の人格と価値観を尊重した医療を行います。
3. 十分な説明と同意による医療を行い、患者様の自己決定権を尊重します。
4. 全ての患者様に公平で最善かつ安全な医療を行います。
5. 患者様のプライバシーを守ります。

挨拶



病院事業管理者 西川 彰

この度、令和6年（2024）年度の病院年報が完成しました。作成に携わっていた皆様には感謝を申し上げますとともに、各部門の軌跡を確認することで当院の医療活動を評価する契機になることを期待しています。

さて、近年の病院経営に目を向けますと、公立病院のみならず、その他の公的病院・民間病院も含め、医療機関の抱える赤字幅の増大には目を覆うものがあります。

当院では外来患者数に減少傾向がみられる一方、地域の医療機関との連携が進み、入院患者数と入院収益は増加し、医業収益は対前年度比で上昇しました。しかしそれ以上に、人件費・材料費・経費の増加、物価の上昇という重荷が加わり、結果、経常収支は2年連続での赤字となりました。

そうした厳しい情勢ではありますが、高齢化の進展で医療と介護を一体的に提供するニーズが高まる中、当院はこれまでに朽木診療所や介護老人保健施設陽光の里を病院事業に統合してきましたが、さらに令和6年度には病院経営強化プランに基づき市訪問看護ステーションを病院事業に統合し、地域包括ケアシステムの構築と在宅療養機能の充実を図る体制を順次整えてきているところであります。

引き続き、当院に求められる役割を担い、医療という社会基盤の一つを守っていくために、今後も職員一丸となって課せられる使命を果たしていきたいと思います。この病院年報をご覧いただいた他の医療機関や地域の皆様におきましては、高島市民病院に対しまして、これまで同様にご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



病院長 武田 佳久

令和6年度年報の完成と発刊にあたりご挨拶させていただきます。まずは原稿執筆や発刊の労をとって頂いた方々に深く感謝いたします。

令和6年度は令和2年から続いていた新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に2類から5類へと格下げとなり社会においてもコロナ禍以前の状況に戻ったとも言える年でした。病院でも発熱対応に関してはコロナ禍同様の対応でしたが、病棟の面会や一般外来対応など令和元年の状況に戻った感がありました。それに伴い医療機関としても様々な部署で医療サービスが提供しやすくなったと思われます。入院患者数も徐々にではありますが増加して、特に内科系では検査やIVR数が、外科系では手術件数が増加しております。一方で外来患者数は今ひとつ入院患者数に比べて増加が認めていないことから市内と近隣の病院、診療所との連携がさらに必要と考えております。

そして令和6年度には残念なことに滋賀県の医療事故調査員会に報告する事案が1件ありました。詳細な調査が行われて委員会からの報告としては医療事故に該当しないとの結論ではありました。しかしながらそのような報告事案が発生すること自体、病院にとっては甚だ遺憾なことであり、そのような事案が生じないようにますます **Patient safety** に重きを置いた医療を推進することが肝要であると改めて痛感した次第です。

今後は医療技術、医薬品が新たに開発されそしてデジタル化の進歩がさらに加速していくと予想されますので医療安全に留意しながらこの進歩の波に乗り遅れることなく病院の実績が一層飛躍することを切に願っております。

目 次

病院理念・基本方針

患者様の権利

病院の倫理綱領

挨拶

病院事業管理者 西川 彰

病 院 長 武田 佳久

I 病院の概要

1. 病院概要	1
2. 病院沿革	8
3. 病院組織図	9
4. 会議・委員会組織	11
5. 役職員一覧	12
6. 常勤医師一覧	13
7. 各種行事・講演会・研修会・教室等開催状況	14

II 活動状況

1. 院内各部署活動状況

循環器内科	21
消化器内科	22
糖尿病・内分泌内科	23
腎臓内科／人工透析室	23
呼吸器内科	25
血液内科	25
脳神経内科	26
総合診療科	26
精神科・神経科	27
小児科	28
消化器外科	30
乳腺外科	33
整形外科	33
脳神経外科	34
皮膚科	35
泌尿器科	35
産婦人科	36
眼 科	36
耳鼻いんこう科	37
歯科・歯科口腔外科	37

放射線科	38
麻酔科	38
リハビリテーション室	39
手術室・中央材料室	39
薬局	40
放射線室	42
中央検査室	43
臨床工学室	45
栄養管理室	46
看護部	49
医療安全部	49
感染防止対策室	52
地域医療支援部（地域医療連携室・入退院支援室・患者相談支援室）	53
健診室	54
病院総務課	54
経営統括課	55
医事課	56
朽木診療所	57
在宅療養支援部 訪問看護ステーション	58

2. 委員会活動状況

管理運営会議	59
人権推進・倫理委員会	59
医療安全管理委員会	60
救急医療対策・災害対策委員会	63
労働安全衛生委員会	64
院内感染対策委員会	64
褥瘡対策委員会	66
栄養管理・NST委員会	67
治験委員会	68
新規医療技術・医療機器・診療材料検討委員会	68
薬事・輸血委員会	68
臨床検査適正化委員会	69
臨床研修委員会	70
臨床研修管理委員会	71
専門研修プログラム管理委員会	71
地域連携・入院調整委員会	72
ホームページ・広報・図書委員会	72
患者サービス改善委員会	73
個人情報保護委員会	73
手術室運営・医療ガス管理委員会	73

放射線障害防止委員会	7 4
研修委員会	7 4
病院機能評価委員会	7 6
クリニカルパス委員会	7 6
保険診療会議	7 7
健診委員会	7 7
業務改善委員会	7 8
医療情報システム運営委員会	7 8
化学療法委員会	7 9
ハラスメント委員会	7 9
D P C コーディング委員会	8 0
病院まつり実行委員会	8 0
地域がん診療病院運営委員会	8 0
緩和ケアチーム	8 1

3. 健康教室

母親学級	8 2
産後ケア事業	8 2
ストーマ外来	8 3
禁煙外来	8 3
糖尿病教室	8 4
心臓病教室	8 4
透析食事療養教室	8 4

4. 業績集

学会発表等	8 5
新人看護職員教育プログラム	8 9

III 統計資料

1. 患者数	9 1
2. 救急患者状況	9 2
3. 診療科別退院延患者数・平均在院日数	9 4
4. 疾病大分類別・診療科別・退院（転科含む）患者数	9 5
5. 手術室統計	9 6
6. 放射線画像統計	9 8
7. クリニカルパス使用状況	9 9
8. リハビリ統計	1 0 0
9. 地域医療連携室相談実績	1 1 0
10. 健診センター受診者件数	1 1 1
11. 病院事業決算比較表	1 1 2

I . 病院概要

1. 病院の概要

運 営

高島市民病院は、湖西地域における唯一の公立病院として地域の住民の方々から信頼される医療の提供を目指しています。最新の医療機器の導入を図り、小児医療・老人医療・救急医療および在宅医療を含め地域の中核病院として幅広い役割を担って医療活動を行っています。

本院では、診療情報の開示を実施しており、インフォームドコンセントの重要性を認識して患者さまに親切・丁寧・わかりやすくを目指しております。

名 称	高島市民病院
開 設 者	高島市長
所 在 地	滋賀県高島市勝野1667番地
電話番号	0740-36-0220
F A X	0740-36-1341
診療圏域	高島市および大津市北部
病院本棟	鉄筋コンクリート造（免震構造） 地上5階 延床面積14,037㎡ オール電化



交 通

<道路アクセス>

【大阪(茨木)から】名神高速道路京都東インターより国道161号線を北進
(所要時間：約80分)

【京都から】西大津バイパス、国道161号線を北進
(所要時間：約50分)

<鉄道アクセス>

【大阪から】JR東海道本線（湖西線経由）敦賀行・新快速にて近江高島駅下車
(所要時間：68分)

【京都から】JR湖西線・新快速にて近江高島駅下車
(所要時間：38分)

病床数

一般206床	感染病床4床	合計210床	
<5階>	5階南病棟	41床	内科（うち感染病床4床）
	5階東病棟	42床	循環器科、外科、心臓血管外科
<4階>	4階南病棟	42床	地域包括ケア病棟
	4階東病棟	40床	小児科、整形外科、脳神経外科
<3階>	3階東病棟	45床	産婦人科、歯科口腔外科、内科他

主たる医療機器・システム

マルチスライスCT（320列）	人工透析装置
MR I 撮影装置（1.5テスラ）	電子カルテシステム
血管造影X線診断装置	健診システム
ラジオアイソトープ撮影装置	地域医療連携システム
診断用X線TV装置	感染症管理支援システム
移動型外科用X線透視撮影装置	画像システム（PACS・RIS）
乳房X線撮影装置	遠隔病理診断システム
超音波診断装置	生理検査システム
生体情報モニター	内視鏡システム
分娩監視装置	透析システム

指定医療機関

保険医療機関
国民健康保険療養取扱機関
救急指定医療機関（病院群輪番制実施・二次救急）
第二種感染症指定医療機関（第二類感染症医療）
D P C 対象病院
災害拠点病院
原子力災害医療協力機関
地域医療支援病院
地域がん診療病院
へき地医療拠点病院
地域包括医療・ケア認定施設
臨床研修指定病院（基幹型）
日本医療機能評価機構認定病院
労災保険法指定医療機関
結核指定医療機関
指定養育医療機関
生活保護法指定医療機関（医療扶助）
小児慢性特定疾患治療研究事業受託医療機関
指定自立支援医療機関（更生医療・精神通院医療）
被爆者一般疾病医療機関
戦傷病者特別援護法指定病院
原子爆弾被爆者指定医療機関（一般疾病、健康診断）
滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
児童福祉施設（助産施設）
特定疾患治療研究事業受託医療機関
先天性血液凝固因子障害等医療給付事業受託医療機関
特定給食施設
肝炎治療特別促進事業受託医療機関
滋賀県重症難病医療拠点病院（循環器系疾患）
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
初期緊急被ばく医療機関

指定医

身体障害者福祉法指定医（視覚（視覚限定）、聴覚（聴覚限定）、平衡、音声・言語、
肢体不自由、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓）

学会認定施設

日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度修練施設
日本脳神経外科学会専門医訓練施設
日本脳卒中学会一次脳卒中センター
日本口腔外科学会認定関連準研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本循環器学会認定循環器研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設関連教育施設
総合診療科専門医研修プログラム基幹病院
日本病態栄養学会認定栄養管理・N S T 実施施設
日本感染症学会連携研修施設

施設基準

＜基本診療料に関する事項＞

急性期一般入院料 4（一般病棟）	令和	4 年 1 0 月	1 日
地域包括ケア病棟入院料 2	令和	4 年 1 0 月	1 日
医療 D X 推進体制整備加算	令和	6 年 6 月	1 日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成 3 1 年	4 月	1 日
歯科外来診療医療安全対策加算 2	令和	6 年 6 月	1 日
歯科外来診療感染対策加算 4	令和	6 年 6 月	1 日
救急医療管理加算	令和	2 年 4 月	1 日
診療録管理体制加算 2	令和	7 年 3 月	1 日
医師事務作業補助体制加算 1	令和	7 年 1 月	1 日
急性期看護補助体制加算	令和	6 年 6 月	1 日

療養環境加算	平成24年11月	1日
医療安全対策加算1	平成30年5月	1日
感染対策向上加算1	令和7年1月	1日
報告書管理体制加算	令和4年4月	1日
ハイリスク妊娠管理加算	平成21年1月	1日
後発医薬品使用体制加算1	令和5年9月	1日
病棟薬剤業務実施加算1	平成29年5月	1日
データ提出加算	平成26年9月	1日
入退院支援加算	令和6年10月	1日
認知症ケア加算	令和2年4月	1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和2年4月	1日
排尿自立支援加算	令和6年3月	1日
地域医療体制確保加算	令和4年10月	1日
協力対象施設入所者入院加算	令和6年10月	1日
小児入院医療管理料5	平成29年7月	1日

《特掲診療料に関する事項》

糖尿病合併症管理料	平成28年4月	1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年4月	1日
がん患者指導管理料イ	令和4年10月	1日
がん患者指導管理料ロ	平成28年11月	1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成24年11月	1日
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	平成30年4月	1日
婦人科特定疾患治療管理料	令和6年10月	1日
二次性骨折予防継続管理料1・2・3	令和4年10月	1日
院内トリアージ実施料	令和3年4月	1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	令和2年4月	1日
外来腫瘍化学療法診療料1	令和4年4月	1日
ニコチン依存症管理料	平成29年7月	1日
開放型病院共同指導料	平成30年3月	1日
がん治療連携計画策定料	平成27年7月	1日
外来排尿自立指導料	令和6年3月	1日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年4月	1日
薬剤管理指導料	平成24年6月	1日
地域連携診療計画加算	平成30年4月	1日
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年4月	1日
医療機器安全管理料1	平成23年7月	1日
歯科治療時医療管理料	平成22年4月	1日
在宅患者歯科治療時医療管理料	平成22年4月	1日
心臓ペースメーカー指導管理料の「注5」に掲げる遠隔モニタリング加算	令和3年4月	1日
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	平成30年4月	1日
在宅療養後方支援病院	平成27年10月	1日
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料注2に規定する遠隔モニタリング加算	令和4年6月	1日
BRC A1／2遺伝子検査（血液を検体とするもの）	令和6年10月	1日
HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	令和6年10月	1日
検体検査管理加算（Ⅱ）	平成20年6月	1日
ヘッドアップティルト試験	平成25年5月	1日
神経学的検査	平成24年4月	1日
コンタクトレンズ検査料1	平成29年4月	1日
小児食物アレルギー負荷検査	平成18年4月	1日
口腔細菌定量検査	令和7年2月	1日
有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査	令和7年2月	1日
画像診断管理加算2	平成20年9月	1日

C T撮影及びMR I 撮影	令和 7年 1月 1日
冠動脈C T撮影加算	令和 6年1 2月 1日
心臓MR I 撮影加算	平成2 4年 5月 1日
小児鎮静下MR I 撮影加算	平成3 0年 4月 1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成2 2年 4月 1日
外来化学療法加算 1	平成2 5年 7月 1日
無菌製剤処理料	平成2 0年 4月 1日
心大血管リハビリテーション料 (I)	令和 6年 3月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	平成2 4年 4月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	平成2 4年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	平成2 4年 4月 1日
がん患者リハビリテーション料	平成3 1年 4月 1日
歯科口腔リハビリテーション料 2	平成2 6年 4月 1日
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成2 6年 4月 1日
人工腎臓	平成3 0年 4月 1日
導入期加算 1	平成3 0年 4月 1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成2 5年1 0月 1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成2 8年 8月 1日
ストーマ合併症加算	令和 7年 3月 1日
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	平成2 6年 8月 1日
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	令和 5年1 0月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	令和 5年 8月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)	令和 5年 8月 1日
食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、等	令和 4年 4月 1日
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	令和 2年 7月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成1 7年 1月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)	令和 7年 3月 1日
大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	平成1 7年 1月 1日
内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4年 4月 1日
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術 (経尿道)	令和 2年 2月 1日
人工尿道括約筋植込・置換術	令和 3年 5月 1日
医科点数表第 2 章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成2 6年 4月 1日
医科点数表第 2 章第10部手術の通則の 1 6 に掲げる手術	平成2 6年 4月 1日
輸血管理料Ⅱ	令和 2年 5月 1日
輸血適正使用加算	令和 2年 5月 1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成2 5年 2月 1日
胃瘻造設術時嚥下機能評価加算	平成2 6年 4月 1日
歯周組織再生誘導手術	平成2 4年 4月 1日
麻酔管理料 (I)	平成2 3年 7月 1日
保険医療機関間の連携による病理診断	平成2 6年 8月 1日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	平成2 6年 8月 1日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	平成2 6年 8月 1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成1 7年 1月 1日
歯科矯正診断料	令和 元年 9月 1日
顎口腔機能診断料 (顎変形症 (顎離断等の手術を必要とするものに限る。) 手術前後における歯科矯正に係るもの)	令和 元年1 2月 1日
看護職員処遇改善評価料 5 1	令和 4年1 0月 1日
外来・在宅ベースアップ評価料 (I)	令和 6年 6月 1日
歯科外来・在宅ベースアップ評価料 (I)	令和 6年 6月 1日
入院ベースアップ評価料 6 4	令和 6年 6月 1日

高島市訪問看護ステーション

名 称	在宅療養支援部 訪問看護ステーション
開 設 者	高島市長
所 在 地	高島市勝野680番地
電話番号	0740-36-8111

高島市訪問看護ステーションでは、ご自宅で療養されている方に、安心して日常生活を過ごしていただけるよう、看護師や理学療法士がご自宅へ訪問し、体調チェックや身体ケア、身体機能の維持向上を主治医の指示をもとに行います。

また、24時間365日、電話相談や緊急訪問に備え体制を整備しています。

その他に委託事業として、グループホームへの訪問や高島市立学校への看護師派遣、医療的ケア児童生徒の通学支援など、施設や学校との医療連携や在宅療養の推進と支援の充実に取り組んでいます。

サービス内容

- ・ 病気等の状態観察
- ・ 身体の清潔援助
- ・ 床ずれの予防や処置
- ・ 食事や排泄などの援助
- ・ 日常生活のリハビリテーション
- ・ 終末期の援助
- ・ 社会資源の利用相談
- ・ 介護の相談、指導

加算等の状況

＜介護保険＞

緊急時訪問看護加算（Ⅰ）
特別管理加算
看護体制強化加算（Ⅰ）
サービス提供体制強化加算（Ⅰ）
ターミナルケア加算

＜医療保険＞

24時間対応体制加算
特別管理加算
ターミナルケア加算
訪問看護管理療養費1
訪問看護ベースアップ評価料（Ⅰ）



朽木診療所

名 称	高島市民病院朽木診療所
開 設 者	高島市長
所 在 地	高島市朽木市場701番地
電 話 番 号	0740-38-2071
標 榜 診 療 科	内科、小児科、外科

朽木診療所は地域に根ざした心あたたまる医療を実践していきます。

1. 住み慣れたご自宅での療養を行えるように、定期的に訪問して治療・処方を行います。
2. 地域の病院・訪問看護ステーションなどと連携し、患者様の立場を考えたよりよい医療を提供します。
3. 夜間や休日でも患者様の状態に応じて往診可能ですので、安心して療養を行っていただけます。

朽木診療所では、外来診療、訪問診療、往診が主な業務です。地域住民の健康、福祉を支えていく役割を果たしていけるよう取り組んでいます。

施設基準

《基本診療料に関する事項》

基本強化加算

外来感染対策向上加算

《特掲診療料に関する事項》

がん性疼痛緩和指導管理料

ニコチン依存症管理料

在宅療養支援診療所 3

がん治療連携指導料

在宅時医学総合管理料

施設入居時等医学総合管理料

在宅がん医学総合診療料

外来後発医薬品使用体制加算 3



介護老人保健施設陽光の里

名 称 介護老人保健施設陽光の里
開 設 者 高島市長
所 在 地 高島市勝野1667番地14
電話番号 0740-36-1220

陽光の里は、家庭復帰や在宅生活での自立を目指すお年寄りや、ご家庭で介護されるご家族の支援を目的とする施設です。

利用者が有する能力に応じて自立した生活が送れるよう、施設サービス計画に基づいて、医学的管理の下、リハビリテーション、看護、介護ならびに日常生活サービスを合わせて提供し、家庭への復帰を目指します。明るく家庭的な雰囲気のもとで、地域や家庭との結びつきを大切にし、利用者や家族に安心・満足・可能性を追求したケアと生き甲斐を見いだせる場を提供します。

入所定員 100名／日

通所定員 15名／日

サービス内容

・入所サービス

サービス計画に基づいて一定期間入所して頂き、医学的管理下での介護・機能訓練・その他必要な医療と日常生活のお世話をさせて頂き、家庭復帰を目指して頂きます。

・短期入所サービス（短期入所療養介護）

サービス計画に基づいて短期入所して頂き、医学的管理下での介護・機能訓練・その他必要な医療と日常生活のお世話をさせて頂きます。

・通所リハビリテーション

サービス計画に基づいて家庭から施設に通所して頂き、心身機能の維持回復・日常生活自立のための理学療法・作業療法・その他必要なリハビリテーションを受けて頂きます。

・その他

介護予防短期入所療養介護や、介護予防通所リハビリテーションも行っています。

介護報酬の加算状況

短期集中リハビリテーション実施加算
在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）
外泊時費用（在宅サービス利用）
ターミナルケア加算
入所前後訪問指導加算（Ⅰ）
試行的退所時指導加算
退所時情報提供加算
入退所前連携加算（Ⅱ）
訪問介護指示加算
経口移行加算
経口維持加算（Ⅰ）
療養食加算
所定疾患施設療養費（Ⅰ）
安全対策体制加算
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）
介護職員処遇改善加算（Ⅲ）

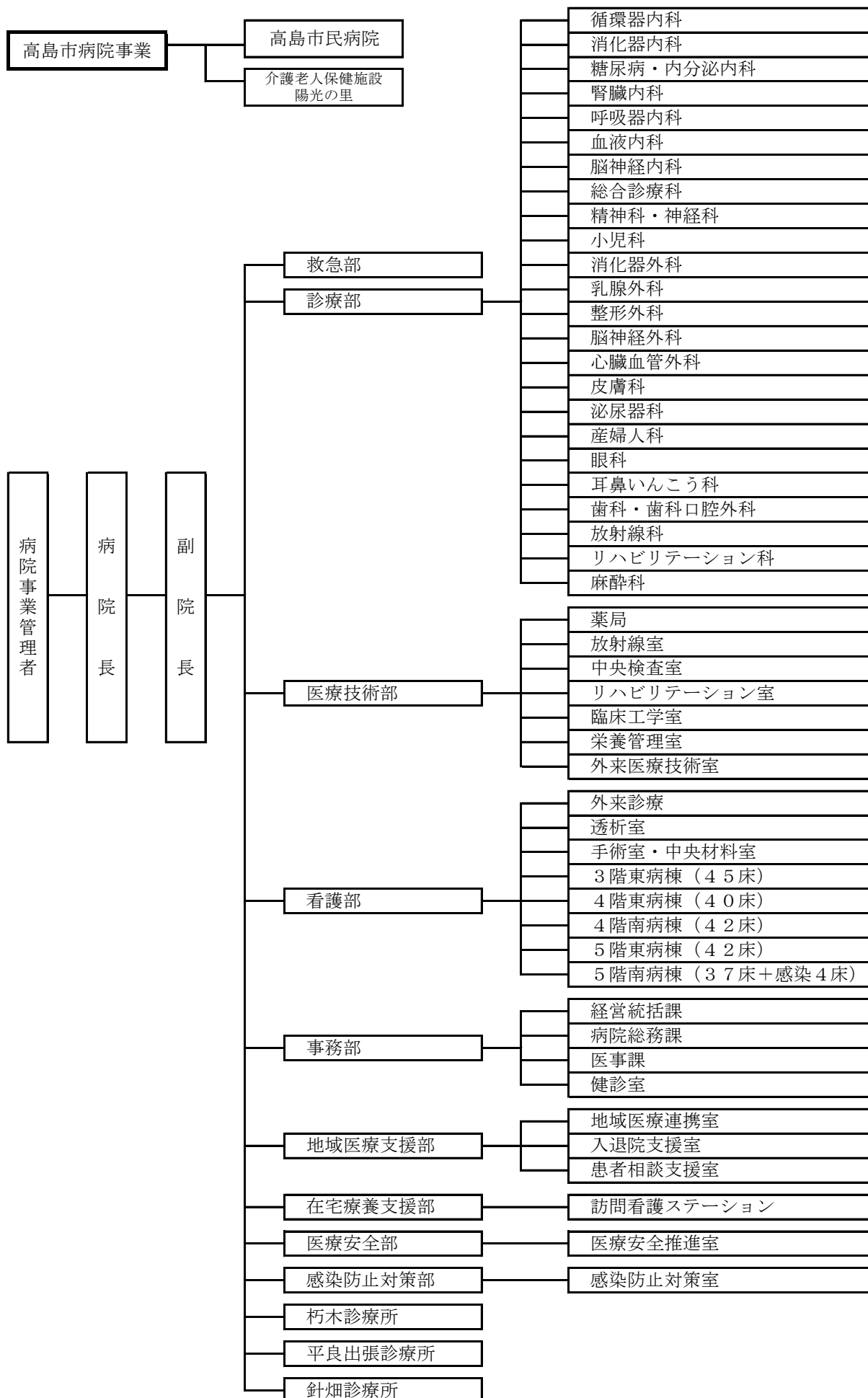


2. 高島市民病院の沿革

昭和	25年	2月	高島町国民健康保険直営高島診療所開設（6床）内科・耳鼻科
	31年	9月	高島町国民健康保険直営高島診療所（19床）外科・整形外科・産婦人科を設置
	33年	3月	高島町国民健康保険高島病院として発足（24床）
	35年	5月	病棟、給食棟増築（61床）
		8月	放射線科開設
	36年	1月	歯科開設
	38年	7月	病棟増築（110床）
	40年	9月	救急病院告示
	41年	4月	本館C棟、病棟増築（185床）
		6月	小児科設置
	46年	12月	血液センター高島出張所を併設
		10月	B病棟増築（245床） リハビリテーション施設完備
	48年	12月	リハビリテーションセンターを設置
		1月	理学療法科設置
	50年	12月	精神科・神経科設置
	52年	3月	僻地中核病院指定
		8月	E病棟増改築（特殊診療・R I 室・人工腎臓施設増設・産婦人科病棟改築 R I（S53. 4. 1使用許可）、人工腎臓透析施設（S52. 12. 6使用許可）
		9月	伝染病隔離病舎改築（湖西地域広域市町村圏事務組合） 10床（S53. 1. 26使用許可）
	53年	6月	平良出張診療所開設
		8月	皮膚科設置
		10月	泌尿器科・眼科設置
	54年	6月	脳神経外科設置
		7月	二次救急（病院群輪番制）発足（S54. 4. 13使用許可）
	56年	10月	郡立高島病院開設（湖西地域広域市町村圏事務組合に移管）
	57年	3月	総合病院として名称使用許可
	62年	3月	A棟（外来、2A病棟、手術室）、放射線棟、機械棟完成
		7月	針灸診療所開設
平成	63年	4月	循環器科設置
	3年	4月	公立高島総合病院名称変更
		5年	3月 病棟改築 便所棟増築（251床）
	8年	10月	歯科口腔外科設置
		9年	4月 新病棟完成（老人保健施設併設）
	11年	5月	新病棟使用許可
		11月	麻酔科設置
		6月	心臓血管外科設置
	11年	4月	第二種感染症指定医療機関（4床）
		11月	湖西広域連合に開設者変更
	15年	6月	総合相談窓口の開設
		11月	臨床研修病院に指定
	16年	4月	地域リハビリテーション支援センター開設
	17年	1月	高島市に開設者変更
		11月	財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価（Ver4. 0）認定
		4月	許可病床数210床に変更（うち感染4床）
	21年	8月	災害拠点病院に指定
	23年	4月	地方公営企業法全部適用
	24年	4月	高島市民病院に名称変更
		5月	病院新築移転（同一敷地内） 電子カルテ導入
	25年	4月	健診センター開設
	27年	4月	地域がん診療病院に指定
	28年	3月	財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価（3rdG:Ver1. 1）認定
		4月	D P C 対象病院に指定
		5月	地域包括ケア病棟開設
	29年	4月	国民健康保険朽木診療所を経営統合
	30年	2月	病理解剖室の整備
		3月	地域医療支援病院の承認
令和	3年	4月	介護老人保健施設陽光の里を事業統合
		2月	財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価（3rdG:Ver2. 0）認定
	6年	3月	本棟外壁改修
	6年	4月	高島市訪問看護ステーションを事業統合

3. 高島市民病院組織図

(令和6年度)



職員数

令和7年3月31日現在

職種	常勤	非常勤
医師	40人	95人
歯科医師	2人	2人
理学療法士	15人	0人
作業療法士	8人	0人
言語聴覚士	3人	0人
歯科衛生士	2人	3人
歯科技工士	0人	0人
管理栄養士	5人	0人
栄養士	0人	0人

職種	常勤	非常勤
助産師	11人	6人
看護師	128人	34人
准看護師	2人	5人
看護補助	0人	17人
薬剤師	10人	1人
診療放射線技師	10人	1人
臨床検査技師	11人	1人
臨床工学技士	9人	0人
視能訓練士	1人	0人

職種	常勤	非常勤
行政職	23人	12人
心理療法士	2人	2人
医療ソーシャル ワーカー	4人	0人
保健師	0人	0人
システム保守	0人	2人
保育士	0人	6人
運転手	0人	3人
合計	286人	190人

4. 高島市民病院会議・委員会組織

令和6年度



5. 役職員一覧

令和7年3月31日現在

役 職 名	氏 名
病院事業管理者	西 川 彰
病院長	武 田 佳 久
副院長・診療部長	岡 本 剛
副院長・感染防止対策部長	永 江 徹 也
医療技術部長	中 井 正 紀
薬局長	木 下 貴 長
放射線室技師長	齊 藤 満
中央検査室技師長	中 島 正 次
リハビリテーション室技師長	清 水 一 美
臨床工学室技師長	長 濱 崇
看護部長	福 田 直 美
副看護部長	岡 田 裕 子
副看護部長・外来診療看護師長	水 谷 清 美
透析室看護師長	齊 藤 育 代
手術室・中央材料室看護師長	山 極 恵 子
3階東病棟看護師長	木 村 薫
4階東病棟看護師長	生 駒 晶 子
4階南病棟看護師長	土 肥 志のぶ
5階東病棟看護師長	宇 田 洋 海
5階南病棟看護師長	黒 丸 昌 美
事務部長	奥 野 直 久
事務部次長・経営統括課長	一 井 恒 伸
病院総務課長	辻 信 孝
医事課長・地域医療連携室長	柳 森 和 人
健診室長	澤 田 さよ子
地域医療支援部長	伊 東 正 文
在宅療養支援部長	武 内 美英子
訪問看護ステーション所長	中 村 芳 美
医療安全部長	安 藤 武
朽木診療所長	西 田 早 矢

6. 常勤医師一覧

令和7年3月31日現在

役 職 名	氏 名
病院長（消化器外科）	武 田 佳 久
副院長（整形外科）	岡 本 剛
副院長（腎臓内科）	永 江 徹 也
循環器内科科長	谷 口 晋
循環器内科部長	山 路 正 之
循環器内科医長	福 沢 綾 子
循環器内科医長	高 橋 宏 明
循環器内科医師	杉 原 秀 樹
消化器内科医長	内 田 和 也
消化器内科医長	青 山 弘 幸
呼吸器内科科長	内 田 泰 樹
総合診療科科長	伊 東 正 文
総合診療科副科長	千 野 佳 秀
総合診療科医長	堤 美紗子
総合診療科医長	金 岡 智 也
総合診療科医長	西 田 早 矢
総合診療科医師	田 渕 友 理
総合診療科医師	坂 根 舞 波
小児科科長	安 藤 武
小児科部長	大 音 泰 介
消化器外科科長	中 島 研 郎
消化器外科部長	渡 邊 武 志
消化器外科部長	山 岡 竜 也
消化器外科部長	高 橋 有 和
整形外科医長	金 山 依玲奈
整形外科副医長	森 山 広太郎
脳神経外科医師	市 川 正 春
泌尿器科医長	城 文 泰
泌尿器科副医長	田 中 翔
産婦人科医長	村 頭 温
歯科・歯科口腔外科部長	桐 澤 知 子
歯科・歯科口腔外科医長	徳 持 翔 太
放射線科科長	木 上 裕 輔
麻酔科科長	川 人 道 夫
臨床研修医	高 鳥 裕 也
臨床研修医	安 井 大 貴
臨床研修医	森 本 数 万
臨床研修医	峯 森 溪 斗
臨床研修医	谷 口 遼

R6年度 各種行事・講演会・研修会・教室等開催 状況 (看護部)

令和6年4月1日

事業名	期日	対象者	受講者数	講師氏名	内容
新人教育研修	4月1日～	看護部・医療技術部 新人 研修医	別紙参照	新人教育プログラム参照	新人教育プログラム実績参照
プリセプター・サポーター研修	4月1日～	プリセプター サポーター	別紙参照	新人教育担当者等	プリセプター・サポーター学習支援計画・実績参照
糖尿病研修	4月22日	看護師	4名	水谷副看護部長	リブレの操作方法について
NCPR講習会	5月9日	希望看護師・助産師	10名	NCPRインストラクター(浮田クリニック医師等)	NCPR 2024
プリセプター・サポーター研修	5月16日	看護師	13名	生駒看護師長 山本補佐	今年度の活動方針と予定について
看護部の方針	5月29日、30日、31日	看護部全員	121名	看護部長・所属長・ラダー教育担当	本年度の活動方針について
ラダーⅡ-②研修	6月6日	卒後3年目看護師	4名	宮田補佐	ラダーⅡ到達のための学習について ケーススタディについて
糖尿病研修	6月7日	看護師	3名	水谷副看護部長	リブレの操作方法について
看護必要度研修	6月21日	新人看護師 中途採用看護師	9名 6名	山口・橋本・中村補佐 ME:長濱	看護必要度について理解を深める
ラダーⅢ研修	6月26日	ラダーⅢ看護師	7名	中村・橋本・山口補佐	災害支援ナースについて
院内がん看護研修会 1回目	6月26日	希望看護師	39名	前川補佐	がん薬物療法の基礎知識
看護補助者研修	7月1日、8月29日	看護補助者	7名	補佐会	医療安全・個人情報・病院機能
ラダーⅡ-②研修	7月4日	卒後3年目看護師	6名	宇田師長 宮田補佐	ケーススタディの進捗状況 臨床倫理4分割法について
ラダーⅡ-①研修	7月10日	卒後2年目看護師	9名	早藤補佐	ナラティブ研修について 倫理について
ラダーⅢ研修	7月12日	ラダーⅢ看護師	9名	中村・橋本・山口補佐	災害支援ナースについて
ラダーⅢ研修	7月18日、25日	ラダーⅢ看護師	17名 (うち2名ラ ダーⅢ以外)	山口・橋本・中村補佐 ME:長濱	人工呼吸器使用中のアセスメント
プリセプター研修	7月22日	プリセプター	8名	新人教育担当	新人看護職員サポートにおけるの喜びや悩みの共有

ラダーⅢ－Ⅰ研修	7月26日	ラダーⅢ－Ⅰ看護師	5名	山口・中村・橋本補佐	看護に生かすリーダーシップ リーダーの役割
ラダーⅣ研修	7月26日	ラダーⅣ看護師	16名	川原補佐 薬師川師長	ラダーⅣ教育計画について
院内がん看護研修会 2回目	7月31日	希望看護師	37名	前川補佐	薬物療法を始めるときに注意すること
看護補助者研修	8月1日、2月20日	看護補助者	4名	補佐会	医療安全・個人情報・病院機能
災害対策研修会	8月9日	全職員	19名	災害対策委員会：西川・橋本・宇田	トリアージタッグ記入研修
ラダーⅡ－①研修	8月29日	卒後2年目看護師	9名	宇田・早藤	ACP研修(コミュニケーション)
院内がん看護研修会 3回目	8月30日	希望看護師	39名	前川補佐	がん薬物療法の副作用症状の考え方
薬事・輸血委員会研修	9月5日	医師・看護師		薬事・輸血委員会	カリウム吸着フィルターの説明会
ラダーⅢ－Ⅰ研修	9月6日	ラダーⅢ－Ⅰ看護師	8名	山口・齋藤師長・中村・橋本補佐	リーダー研修
災害対策研修会	9月10日	全職員	15名	災害対策委員会	1次・2次トリアージ研修
プリセプター研修	9月11日	プリセプター	8名	新人教育担当	新人職員サポートにおいての喜びや悩みの共有
ラダーⅢ研修	9月11日	ラダーⅢ看護師	6名	山口・中村・橋本補佐	介護保険の仕組み
看護補助者研修	9月13日	未受講看護師	6名	中村補佐 川原補佐	看護補助者との協働
薬事・輸血委員会研修	9月18日	医師・看護師		薬事・輸血委員会	カリウム吸着フィルターの説明会
被ばく医療対応研修	9月18日～11月29日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	eラーニング研修
ラダーⅡ－Ⅰ研修	9月18日	ラダーⅡ－Ⅰ看護師	7名	ラダーⅡ－Ⅰ担当	ナラティブ研修「看護を語ろう」
院内がん看護研修会 4回目	9月	希望看護師	32名	前川補佐	抗がん剤の暴露対策ってなんだろう
ラダーⅢ研修	9月19日	ラダーⅢ看護師	5名	ラダーⅢ担当	介護保険の仕組み
ラダーⅣ研修	9月19日	ラダーⅣ看護師	10名	ラダーⅣ担当	リフレミネング

ラダーⅣ研修	9月26日	ラダーⅣ看護師	8名	ラダーⅣ担当	リフレーミング
ラダーⅢ研修	10月1日	ラダーⅢ看護師	7名	ラダーⅢ担当	便利なPCの使い方
災害対策研修会	10月1日	全職員	14名	救急医療対策・災害対策委員会	1次・2次トリアージ研修
災害対策研修	10月3日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	災害時連絡機器の取り扱いについて
被ばく医療対応研修	10月2日、4日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	防護衣着脱
被ばく医療対応研修	10月9日、11日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	養生
プリセプター・サポーター研修	10月10日	プリセプター サポーター	10名	新人教育担当	伝達講習「心理的安全性の高い職場作りを目指す」
看護補助者研修	10月11日	新人看護師	9名	中村補佐 川原補佐	看護補助者との協働
看護補助者研修	10月16日、25日	看護補助者	4名	補佐会	医療安全・個人情報・病院機能
院内がん看護研修会	10月20日	希望看護師	38名	前川補佐	がん薬物療法におけるセルフケア
卒後3年目研修	10月21日	卒後3年目看護師	6名	天野看護師 宇田師長 宮田補佐	全人的苦痛の理解
被ばく医療対応研修	10月22日、24日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	測定器取り扱い
ネーザルハイフロー説明会	10月23日	看護師		ME:長濱	ネーザルハイフローについて
カスターハラスメントについて	10月25日	全職員		松島弁護士	「カスターハラスメントについて」
総合防災訓練	10月27日	全職員		救急・災害対策委員会	大規模災害発生時の初動体制の確立及び多数傷病者の受入訓練
ラダーⅢ研修	10月29日、31日	ラダーⅢ看護師	14名	ラダーⅢ担当/ME長濱	モニターの見方
ストーマ研修会	10月29日	看護師		アルケア株式会社 5 東小原・藤野	ストーマ装具の特徴・装具選択等
ケーススタディ指導者研修	10月30日	指導看護師	6名	小川看護師 宇田師長 宮田補佐	ケーススタディ指導のポイント
被ばく医療対応研修	10月30日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	除染

機能評価受審フォーラム	10月31日	機能評価委員		病院機能評価委員会 病院協会	Ver3.0における各領域別評価項目のポイント
院内がん看護研修会	11月	希望看護師	35名	前川補佐	がん薬物療法におけるセルフケア
プリセプター・サポーター研修会	11月7日	プリセプター サポーター	15名	新人教育担当(早藤・河原田)	伝達講習「コミュニケーションスキルを習得しよう」
実習指導者会研修	11月12日、13日	看護師	18名	実習指導者会	「どうすれば上手くいく？」看護学生との関わり方
ラダーⅡ-①研修	11月14日	ラダーⅡ-1看護師	10名 内2名担当	ラダーⅡ-1担当宇田・早藤	ナラティブ研修
被ばく医療対応訓練	11月17日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	除染デモンストレーション設置訓練
プリセプター・サポーター研修	11月18日	プリセプター サポーター	15名	新人教育担当(早藤・河原田)	伝達講習「教えることは学ぶこと」
ラダーⅢ研修	12月3日	看護師	5名	緩和ケア認定看護師:天野	アドバンス・ケア・プランニング
プリセプター・サポーター研修会	12月5日	プリセプター サポーター	9名	新人教育担当(早藤・河原田)	伝達講習「教えることは学ぶこと」
院内がん看護研修会	12月	希望看護師	30名	前川補佐	がん薬物療法におけるセルフケア
消防訓練	12月6日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	避難訓練
ラダーⅢ研修	12月10日	看護師	11名	緩和ケア認定看護師:天野	アドバンス・ケア・プランニング ACPにつながる意思決定支援
ラダーⅢ研修	12月11日	看護師	8名	ラダーⅢ担当	地域医療支援部の役割・病棟連携について
ラダーⅡ-①研修	12月12日	看護師	8名	ラダーⅡ-①担当	ナラティブ発表会についてグループ間で発表
DPC研修	12月17日	全職員		医事課	DPCに関する研修会
ストーマ装具研修会	12月19日	看護師		5東 小原・藤野	ストーマ装具の特徴・装具の選択等
ラダーⅢ研修	12月19日	看護師	1名(キャンセル6名)	ラダーⅢ担当	地域医療支援部の役割・病棟連携について
プリセプター研修	1月9日	プリセプター	7名	新人教育担当(早藤・河原田)	新人看護職員サポートにおいての喜びや悩みを共有する
看護補助者研修	1月9日、29日	看護補助者	17名	補佐会	技術研修

ラダーⅡ-I研修会	1月15日	ラダーⅡ-I看護師	15名	ラダーⅡ-I担当	ナラティブ発表
ラダーⅢ研修	1月22日	看護師	5名	ラダーⅢ担当	ケアマネジャーとの連携について
院内がん看護研修会	1月	希望看護師	31名	前川補佐	がん薬物療法におけるセルフケア
認知症ケア研修	1月21日、23日、29日	病棟看護師		カンファレンス・ケア普及協会 代表理事 南敦司氏主任会 認知症ケアチーム	カンファレンス・ケア
ラダーⅢ研修	1月30日	看護師	3名	ラダーⅢ担当	ケアマネジャーとの連携について
ACP研修	1月31日	全職員	99名	大阪医療センター:田羅隆平先生 ACPチーム	アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)の理想と 現実
院内がん看護研修会	2月	希望看護師	32名	前川補佐	患者ができる免疫療法の基礎
看護補助者研修	2月4日、7日	看護補助者	20名	補佐会	感染対策
ラダーⅡ-2研修	2月6日	3年目看護師	32名	ラダーⅡ-2担当	ケーススタディ発表会
輸血講演会	2月18日	全職員	22名	滋賀県赤十字血液センター 藤井 健輔先生	輸血用血液製剤について (医療安全・輸血委員会共催)
退院支援外来看護委員会研修	2月18日、27日	看護師	17名	委員会担当:宮田・増田・川原・吉廣 橋本	退院支援ルール・入退院支援加算①について
心不全研修	3月6日	全職員		心不全チーム	心不全研修会
院内研究発表会	3月7日	全職員		研修医委員会	研究・活動発表会
プリセプター・サポーター研修	3月13日	プリセプター サポーター	11名	新人教育委員会担当	1年間のまとめ
緊急コール対応研修	3月1日～31日	全職員		救急医療対策・災害対策委員会	緊急コール対応 eラーニング研修
院内がん看護研修会	3月	希望看護師	36名	前川補佐	皮下埋め込み型ポートの管理方法

R6年度 各種行事・講演会・研修会・研修会・教室等開催 状況 (医療安全)

令和6年4月1日

事業名	期日	対象者	受講者数	講師氏名	内容
せん妄・転倒転落研修会	7月2日	全職員	48名	高橋有医師 濱田薬剤師	せん妄薬剤剤について
医療機器安全管理研修	9月4日	全職員	12名	日本光電株式会社	ベッドサイドモニター、セントラルモニターとアラームについて
医療安全研修会	10/8/ 10/9	全職員	29名	リスクマネージャー会	チームSTEPPS研修 伝える・伝わるコミュニケーション
ネーザルハバイフロー	10/16～11/30	医師・看護師等	90名	医療機器安全管理委員会	「Airv2」の取り扱いについて
医療安全研修会	12月4日	全職員	33名	リスクマネージャー会	チームSTEPPS研修 伝える・伝わるコミュニケーション
誤嚥窒息研修会	2月12日	看護職員		誤嚥窒息チーム	誤嚥窒息と食事形態
輸血講演会	2月18日	全職員	22名	滋賀県赤十字血液センター 藤井 健輔先生	輸血用血液製剤について (医療安全・輸血委員会共催)
医療機器研修	2/6 2/13 2/14	医師・看護師等		医療機器安全管理委員会	搬送用人工呼吸器 新・パラボック説明会
医療機器安全管理研修	2/18～1ヶ月	医師・看護師等		医療機器安全管理委員会	人工呼吸器「モナール」について(e-ラーニング)

R6年度 各種行事・講演会・研修会・教室等開催 状況 (感染)

令和6年4月1日

事業名	期日	対象者	受講者数	講師氏名	内容
第1回院内感染対策研修会	6月27日	全職員	20名		「結核研修会」T-スポンツ検査について
湖西地域・感染症対策地域ネットワーク事業 出前講座	9月5日	グリーンデラス職員	18名	講義:清家 実演:角田・澤田	標準予防策と手洗い実習
令和6年度感染制御リーダー研修	9月26日	ホトラ舎	13名	清家	感染対策を見直してみよう
滋賀県介護施設感染対策リーダー養成研修	10月10日	陽光の里	7名	滋賀県庁職員・高島保健所職員・角田・清家	ゾーニング・施設ラウンド・マニキュアル見直し(感染性胃腸炎)
院内感染対策研修会	10月15日	全職員	48	ファイザー株式会社 福岡 重正氏	ワクチン研修会～コロナを中心に～
湖西中学校 職業体験 手洗いの実習	10月29日	湖西中学校 2年生	5名	清家	職場体験する前に(感染対策の基本と手洗の実習)

院内感染対策研修会	10月29日	医師・看護師	23名 17名	ニプロ株式会社	輸液の血流感染について
	11月7日				
感染対策講演会	12月26日	全職員	12名	株式会社シノテスト 長谷川堅也氏	梅毒の現状と検査・診断・治療について
感染対策研修会	12月16日	アイビックス職員	16名	清家	手指消毒とハンドゲア実習
	12月19日		7名		
輸血講演会	2月18日	全職員	22名	滋賀県赤十字血液センター 藤井 健輔先生	輸血用血液製剤について (医療安全・輸血委員会共催)

R6年度 各種行事・講演会・研修会・教室等開催 状況 (委員会など) 令和6年4月1日

第7地区支部研修	9月6日	市内卒後3年目 看護師	当院8名 (総数17名)	医師会コーディネーター 大辻恵子氏	たかしまイウェノートについて
入退院支援にかかる病院・介護支援専門員合同研修会	9月26日	市内病院・介護支援 専門員等	当院5名 総数36名＋ ZOOM20名	講師：当院MSW坪井聖子 他2名	外来在宅療養支援の実際について
ELNEC-Jコアカリキュラム 2024看護師教育プログラム	11月30日 12月7日	滋賀県内ラダーⅢ 以上対象	当院4名	ファシリテーター 宮田補佐・安部主任・重田Ns・天野	滋賀県がん診療連携協議会主催 エンドオブライフケア 当院サテライトでの支援
高島市の心不全地域連携を 考える会研修会	12月12日	市内医療関係者	65名	高島市医師会・大塚製薬 谷口・山路・饗庭・北野	
多職種連携セミナー	3月8日	市内医療関係者		第150回高島市医療連携ネットワー ク運営協議会	心不全の悪化予防は連携から 地域でつなぐ心不全連携
カンファォーターダブル・ケア	3月15日	市内医療関係者		カンファォーターダブル・ケア普及協会 代表理事 南 敦司	カンファォーターダブル・ケア

Ⅱ．活動状況

1. 院内各部署活動状況

循環器内科

科長	谷口 晋	医長	福沢 綾子
		医長	高橋 宏明
		医師	杉原 秀樹
		非常勤医師	伊藤 誠

当院循環器内科は、湖西地方の中核病院として、急性心筋梗塞や不安定狭心症などの急性期疾患に対する診断およびカテーテル治療をはじめ、末梢動脈疾患へのカテーテル診断・治療、不整脈に対するペースメーカー植込み術や植込み型心電図記録計の挿入、簡易電気生理学的検査にも対応しています。また、高血圧や心不全などの慢性疾患に対しても、幅広く診療を行っています。さらに、透析患者様への重要な治療の一環としてシャント PTA にも取り組んでいます。

救急診療においては、看護師、放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師と密に連携し、緊急カテーテル検査や PCI、IABP、PCPS、体外ペーシングなどの処置を迅速に実施しています。令和元年より、重度石灰化病変への治療に有効なローテーションアテレクトミー（ローブレーター）を導入し、より効果的かつ安全なカテーテル治療を実現しています。

心不全診療では、薬物治療に加えて、疾病管理、運動療法、心不全教育、緩和ケアなど、多職種連携による包括的アプローチを実践しています。患者様の QOL 向上や治療選択に関する意思決定支援として、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の実施にも力を入れています。心臓サポートチーム（Cardiac Support Team：CST）では定期的にカンファレンスを開催し、多職種によるチーム医療を推進しています。

院内における心不全対策としては、令和 7 年 3 月 6 日に CST 委員会による職員向け勉強会を開催したほか、地域連携の一環として「高島市の心不全地域連携を考える会」（令和 6 年 12 月 12 日、高島市医師会主催）にも参加し、当院の取り組みを発信しました。令和 6 年度には、新たに心肺運動負荷試験装置（CPX）を導入し、より精密な心機能評価および心臓リハビリテーションの提供を開始しています。

外来診療では、循環器疾患および CKD を中心に多様な疾患に対応しており、心エコー、核医学検査、ABI、下肢動静脈エコー、冠動脈 CTA などの非侵襲的検査を活用して、早期診断および適切な治療方針の決定を支援しています。特に冠動脈 CTA については、当院の CT が 320 列マルチスライスに更新され、短時間・少量造影剤で高精細な画像が得られるようになりました。

また、高血圧や心疾患を有する患者様には、管理栄養士、看護師、薬剤師との連携による食事・服薬指導を行い、生活習慣の改善にも取り組んでいます。令和 6 年度の新たな取り組みとして、GLP-1 受容体作動薬の適応となる肥満症患者への治療体制の整備も進めています。

今後も、湖西地域における循環器疾患患者様が安心して医療を受けられるよう、大学病院などの高次医療機関や、地域のかかりつけ医、関係各所との連携を一層強化し、よりきめ細やかな診療の提供に努めてまいります。

令和 6 年度業務実績

経胸壁心エコー	1620 件	トレッドミル・CPX 検査	55 件
経食道心エコー	1 件	ホルター心電図検査	150 件
心臓カテーテル検査	76 件	心臓カテーテルインターベンション治療	37 件
心筋シンチ	24 件	末梢血管動脈拡張術	2 件
心臓 CTA 検査	40 件	ペースメーカー手術	22 件
シャント PTA	2 件	体外式ペースメーカー	3 件

専門医資格など

谷口 晋	:	日本循環器学会 循環器専門医 日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 臨床研修副プログラム責任者 臨床研修指導医
福沢 綾子	:	臨床研修副プログラム責任者 臨床研修指導医
高橋 宏明	:	日本循環器学会 循環器専門医 日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医 日本心不全学会基本的心不全緩和ケアトレーニングコース修了
杉原 秀樹	:	医学博士 臨床研修指導医

消化器内科領域

科長	中島 研郎（外科科長と兼任）
医長	青山 弘幸
医長	内田 和也

消化器内科では常勤 3 名、また従来通り京都大学医学部附属病院消化器内科教室からの非常勤医の協力のもと消化管疾患ならびに肝胆膵疾患の診療を行っております。

内視鏡部門では、健診としての上部内視鏡検査を含め患者様に苦痛の少ない検査を努めながら悪性疾患の早期発見に力を入れております。内視鏡治療が可能なものに関しては、内視鏡的に切除（ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除、内視鏡的粘膜下層剥離）も行っております。胆膵疾患に対する内視鏡検査・治療については非常勤医の協力のもと ERCP・EST などの胆管結石に対する処置、悪性胆道狭窄に対するステント留置を積極的に行っております。

昨年度より超音波内視鏡検査（EUS）を用いた穿刺吸引法（FNA）による膵癌の診断も開始致しました。

その他、吐血、下血、急性胆管炎等に対する緊急内視鏡も対応しております。

夜間休日対応についても可能なかぎり行っておりますが、スタッフ不在等のため対応困難な場合には速やかに他施設と連携を取り転医搬送して処置を受けていただけるよう対応しています。

肝疾患に関しては、ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法をはじめ、各種肝疾患の診療を行っております。肝悪性腫瘍に関しては、放射線科と協力し血管塞栓療法も行っております。その他一般消化器疾患から炎症性腸疾患などの特殊な疾患の診療も行っております。

悪性疾患に対する化学療法についても、外科・外来化学療法室との連携のもと手術適応のない切除不能症例に対する治療を当科で行っております。本人家族には標準治療を提示したうえで本人の意志や体調を確認しながら日常生活の質を必要以上に落とさずに治療できるよう心がけています。

今後も湖西地域の中核病院として、患者様の検査処置を地域内で完結できるようより一層努めてまいります。

令和 6 年度業務実績

上部消化管内視鏡検査	1496 件	上部内視鏡的粘膜下層剥離術	9 件
超音波内視鏡検査	6 件	胃瘻造設	25 件
下部消化管内視鏡検査	340 件	大腸ポリペクトミー	62 件
内視鏡的逆行性膵胆管造影 (胆道ドレナージ・砕石を含む)	109 件		

糖尿病・内分泌内科（外来診療）

（非常勤医師） 加藤 朋子 武居 晃平

糖尿病・内分泌内科の外来では、地域の中核病院として糖尿病・内分泌疾患の診療を行っております。

糖尿病の病型や病期を判断し、ライフスタイルや合併症を考慮した血糖コントロールを行い、増加する高齢者糖尿病に対し総合的な診療を心がけています。

日常生活を送りながら糖尿病とうまく付き合うためにインスリン治療、インクレチン製剤などの外来導入も積極的に行っています。また、手術前の血糖コントロールや他科入院中の糖尿病患者様の血糖管理も行なっています。インスリンポンプやCGM（持続血糖測定器）を希望される方は専門の施設と連携し紹介しております。

内分泌疾患は、甲状腺疾患を中心に、専門的な治療を大学病院等と連携して診療いたします。

（令和4年度より外来診療のみ）

腎臓内科

副院長・科長 永江 徹也

腎臓内科では主に外来および3階の血液浄化センターにて維持透析患者さんの診療を行っています。

外来では、軽微尿異常から末期腎不全までさまざまな腎疾患を扱い、病態によっては他科と連携し、早期診断、早期治療に留意しながら診療を行っています。腎不全では、その進行因子の除去と合併症対策を中心に外来管理を行っています。さらに末期腎不全における透析療法の新規導入、管理も行っています。

血液浄化センターではベッド数31床を有し、月・水・金（午前・午後）、火・木・土（午前）に外来通院患者様の血液透析に加え、特殊血液浄化法（持続的血液透析濾過、血漿交換療法、エンドトキシン吸着療法、LDLアフェレシス療法、白血球除去療法など）も行っています。令和6年度は新規透析導入16人、維持透析管理人数は61人となっています。

・スタッフ

血液浄化センター長：医師1名、看護師長1名、看護師7名、臨床工学技士9名 合計18名

・血液浄化センター設備

ベッド数：31 透析装置31台 CHDF（持続緩徐式血液透析濾過）・PE（血漿交換）用装置：1台

内透析用個室：1ベッド

・透析日および体制

月曜日～土曜日

月・水・金は、13時30分～2部の透析を行っております。

	透析回数		
R5年	(外来) 9,663	(入院) 377	(合計) 10,040
R6年	(外来) 8,940	(入院) 646	(合計) 9,586

	慢性透析患者数（年度末）			透析回数／週		急性透析患者数
R5年	(男性) 40人	(女性) 22人	(合計) 62人	2回 0人	3回 62人	1人
R6年	(男性) 41人	(女性) 22人	(合計) 63人	2回 0人	3回 62人	5人

	導入患者数			転出患者数		
R5 年	(院内) 11 人	(転入) 0 人	(合計) 11 人	死亡 8 人	転医 8 人	(合計) 23 人 離脱 1 人
R6 年	(院内) 16 人	(転入) 4 人	(合計) 20 人	死亡 11 人	転医 15 人	(合計) 26 人 離脱 1 人
	患者平均年齢 (年度末)			最高年齢	最小年齢	65 歳以上比率
R5 年	(男性) 66.9 歳	(女性) 68.6 歳	(全) 68.6 歳	89.3 歳	33.6 歳	68.6%
R6 年	(男性) 68.4 歳	(女性) 71.6 歳	(全) 70.0 歳	90 歳	34 歳	68.6%
R2 年全国	データなし	データなし	(全) 68.4 歳			

透析期間 (年度末)		全国	当院	年度末糖尿病性腎症の占める割合 全国 32.8% 当院 40.6% 全国集計は わが国の慢性透析療法の現況より R1 年 (2019) 12 月 31 日現在 日本透析医学会の現況参照
	5 年未満	47.6%	49.0%	
	5 年以上	13.7%	28.0%	
	10 年以上	27.6%	18%	
	20 年以上	8.4%	5.0%	
	30 年以上	2.3%	0%	
	40 年以上	0.4%	0%	
	最長歴	51.4 年	22 年	

町別透析 患者数 (年度末)	マキノ	2 人	通院介護状況 (年度末)		ご家族	介護サービス
	今津	10 人		車椅子	8 人	0 人
	新旭	14 人		付き添い	6 人	1 人
	安曇川	23 人		玄関まで	2 人	0 人
	高島	9 人	平成 20 年 4 月より歩行可能な患者の送迎バス運行開始 送迎バス利用数：月・水・金 5 人 火・木・土 8 人 合計 13 人			
	朽木	2 人				
	大津市	1 人				
	その他	0 人				

専門医資格など

永江 徹也 : 日本腎臓学会指導医・専門医、日本透析医学会透析指導医・専門医
 内科学会総合内科指導医・専門医
 医学博士

呼吸器内科

科長	内田 泰樹	気管支鏡指導医 呼吸器専門医 結核・抗酸菌症 指導医 肺がん CT 検診認定医師 総合内科専門医 日本内科学会 認定内科医 日本医師会認定産業医 日本がん治療認定機構 がん治療認定医 日本呼吸器学会 呼吸器指導医 気管支鏡専門医 難病指定医指定医 呼吸器内科 気管支鏡専門医 気管支鏡指導医
非常勤医師	奥田 祥吾	日本内科学会（内科専門医） 日本結核・非結核性抗酸菌症学会/結核・抗酸菌症認定医 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会
	横江 真弥	日本化学療法学会（抗菌化学療法認定医） ICD 制度協議会（インфекションコントロールドクター） 日本内科学会（内科専門医） 日本呼吸器内視鏡学会（気管支鏡専門医） 日本呼吸器学会（呼吸器専門医）

感染症としては単なる肺炎だけでなくCOVID-19、結核、肺非結核性抗酸菌症、肺真菌症まで幅広く診断治療行っております。特に肺非結核性抗酸菌症に関してはアリケイスなど治療経験豊富な施設です。慢性閉塞性肺疾患（COPD）や気管支喘息の診断治療、在宅酸素療法や、睡眠時無呼吸症候群に対するCPAPも行っております。また肺癌については画像診断を行い適切な施設への紹介を行い、平行して総合診療の先生方とともに緩和ケア治療を行っております。また、禁煙外来も行っております。

血液内科（外来診療）

（非常勤医師） 高山 博史

■診療内容

赤血球系、白血球系、リンパ球系、血小板系の血液疾患のみならず、凝固・線溶系の異常症も含め、全ての血液疾患の診療を行っています。

■診療方針

外来診療：

外来化学療法、投薬、輸血などにより外来にて加療可能な疾患の全てに対応しています。

入院診療：

当院は、常勤の血液疾患専門医は不在のため、骨髄・幹細胞移植の適応と判断した場合は、主に京都大学医学部血液内科へ、多剤併用化学療法の適応と判断した場合は大津赤十字病院、滋賀県立総合病院、洛和会音羽病院などの京都大学医学部関連病院の血液内科へ紹介します。急性期の治療後の安定期になりましたら、外来診療は当院でも可能です。当院で入院診療が可能と判断した場合は、血液疾患専門常勤医が不在でも、当院の内科系常勤医が主治医となり、協力して診療します。

専門医資格等

高山 博史 ： 日本血液学会 専門医・指導医、日本内科学会 認定内科医

脳神経内科(外来診療)

非常勤医師 生野 真嗣

非常勤医師 酒井 遼介

脳神経内科では主に脳や脊髄、末梢神経の病気の診療を行っています。代表的な病気は脳梗塞、てんかん、髄膜炎・脳炎、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、末梢神経障害です。特に脳梗塞は高齢社会において頻度が高く、地域に根ざした診療が必要とされる疾患です。当院では脳梗塞発症早期の入院治療とともに、他の医療機関とも連携した回復期リハビリ、そして後遺症に応じた在宅生活支援や再発予防のための外来診療を行っています。

診療体制としましては、当院には脳神経内科常勤医はおりませんが、非常勤の脳神経内科医により週2回の外来診療を行っております。また、入院加療が必要な場合も常勤医が必要に応じて非常勤医の病棟コンサルテーションを得ながら入院診療をしております。

専門的な評価・治療が必要な疾患に関しては、適宜脳神経内科常勤医のいる病院への紹介が可能であり、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立総合病院、洛和会音羽病院等と連携しています。

総合診療科

科長 伊東 正文

副科長 千野 佳秀

朽木診療所長 西田 早矢

兼医長

副医長 田渕 由理

医長 金岡 智也

医師 坂根 舞波

医長 堤 美紗子

「原因不明の症状」や「受診する診療科が分からない」等の初期診療に対応するため、平成29年4月から新たに総合診療科を開設しました。総合診療科は、幅広い診療分野の患者様を担当しますが、必要に応じて各専門診療科につなぐことにより患者負担の軽減を図ります。また、通院が困難な方につきましては訪問診療も行います。

特殊外来として「心臓血管外科外来」（伊東正文科長が担当）を併設しております。

足の表面の静脈(表在静脈)がふくらんでくる下肢静脈瘤や、動脈の老化である動脈硬化によって血液の流れが悪くなるために歩くと脚(特にふくらはぎ)が痛くなってくる閉塞性動脈硬化症、お腹や胸の奥にある大動脈と呼ばれる太い血管が瘤になる大動脈瘤など、心臓血管外科領域の病気の診察を行います。また他病院で心臓血管外科手術を受けられた方のフォローアップ(経過観察・術後管理)も行います。

西田医師、堤医師は朽木診療所長として、へき地の地域医療に携わっています。

専門医資格等

伊東 正文	:	日本外科学会	専門医
		日本胸部外科学会	認定医
		臨床研修指導医	
		日本専門医機構	総合診療専門研修特任指導医
千野 佳秀	:	日本外科学会専門医、	指導医
		日本内視鏡外科学会	技術認定医
		日本消化器外科学会	専門医、指導医
		日本消化器内視鏡学会	専門医
		日本専門医機構	総合診療専門研修特任指導医
		臨床研修指導医	
堤美紗子	:	内科学会認定医	
		日本プライマリケア連合学会	家庭医療専門医、認定医
西田 早矢	:	日本専門医機構総合診療専門医	
		日本プライマリ・ケア連合学会	家庭医療専門医
		日本プライマリ・ケア連合学会	プライマリ・ケア認定医

精神科・神経科 （外来診療）

（非常勤医師）

月曜日	奥田 浩士	
火曜日	武本 一美	加藤 賢嗣（隔週）
水曜日	小川 雄右	小関 隼人
木曜日	渡辺 範雄	
金曜日	村上 慎吾	

非常勤の精神科医 7 名で構成されています。令和 6 年 4 月から村上先生、5 月から奥田先生が来て下さり、5 月からは月曜日から金曜日までの週 5 日間、診療を行っています。

患者様の身体的、精神的側面を総合的に把握し、薬物療法を行います。

＜ 概要 ＞

当科は、18 歳から 90 代の幅広い年齢層の患者様が受診されています。統合失調症、気分障害、不安障害、強迫性障害、発達障害、依存症、睡眠障害、知的障害、認知症等の診療を行っています。

＜ 対応 ＞

医師の判断に応じて、CT、MRI、脳波、検体検査、知能検査・各種心理検査を行っています。また、入院治療が必要な場合や高度な治療が必要な場合には、専門医療機関へ紹介しています。心理療法士は、患者様の環境調整を行っています。書類等の申請に困難を示す患者さんが多くいらっしゃるため、市役所とも調整しながら支援しています。

「高島市障がい者自立支援協議会 精神保健福祉部会」、「滋賀のみんなでつくる地域精神保健医療福祉チーム（中核的人材育成）湖西圏域推進チーム会議」等に参加しております。

看護部の新人研修に協力しており、新入職員へのリフレッシュ研修、看護師・医療技術部の個人面談を実施しています。

〔 精神保健指定医 〕（曜日順）

奥田 浩士・武本 一美・加藤 賢嗣・小川 雄右・渡辺 範雄・村上 慎吾

小児科

科長 安藤 武（令和3年(2021年)6月1日～）
部長 大音泰介（令和元年(2019年)10月1日～）

当院小児科は、『高島市のこどもたち・地域のこどもたちの健康を守ること』を目指して診療を行っています。

医師

2022年度(令和4年度)から小児科は安藤・大音の常勤医師2名となり、少人数態勢となりました。このため、京都大学医学部小児科から派遣された非常勤医師に、月曜日午後金曜日午後・土曜日日勤帯の小児科診療を行っていただきました。

臨床研修

当院小児科は日本小児科学会の専門医研修関連病院（京都大学医学部附属病院小児科の指定研修関連病院）として、小児科専門医研修に協力しております。また、当院所属の初期研修医や後期研修医の小児科臨床研修も行っています。

外来

小児科の外来は、医師・看護師・事務員のチームで診療しています。平日の午前中は毎日1診体制で診療しています。午後は予約制（安藤・大音の予約外来）で、気管支喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患・腎疾患・内分泌疾患などの慢性疾患の診療を定期的に行っています。また、乳児専門外来、各種予防接種外来、特殊外来も予約制で行っています。特殊外来としては、アレルギー専門外来を大音医師（2019年10月～）に、小児心臓専門外来を平田拓也先生（京都大学小児科、2016年4月～）に、小児神経専門外来を吉岡由布先生（京都大学小児科、2025年7月～）に担当していただいています。

新型コロナウイルス感染症については、2020年1月以降 病院小児科外来への受診数はかなり減少しました。一方、発熱している小児には、感染防止に配慮しながら診療を行う必要があり、診察に時間と人手と感染防御用具をかける状況が続きました。当院小児科では2020年春から小児発熱外来を設置して小児発熱患者さんの診療と感染防止に取り組んできましたが、5類移行後も継続しています。

入院

小児科入院は通常は年間350～450症例前後ありますが、2021年度は242症例、2022年度は202例、2023年度は238症例、2024年度は233症例に減少しました。入院治療は、4東病棟を中心とした看護スタッフ、他の診療科医師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ職員、事務職員など多くのスタッフと協力しながら、小児科医師2名で診療しました。入院症例の多くは急性疾患で、気管支喘息発作、痙攣性疾患、新生児疾患、肺炎、扁桃炎、急性腸炎など、即日入院となる症例が多数を占めました。

入院症例の一部は、腎疾患などの慢性疾患で、学齢期の場合は学習面でのバックアップも必要となります。当院には高島小学校の病弱児学級があり、慢性疾患で入院された小学生の方は、院内学級で学習可能です。中学生に対しては病弱教育巡回指導システムがあります。また、情緒面でのバックアップのために、看護スタッフと協力して病棟クリスマス会や七夕会なども開いていましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染予防の観点で中止しています。

また、当科では2017年11月から小児レスパイト入院を開始し、2024年度は18件の入院がありました（新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年4月～5月はレスパイト入院の受け入れを中止しましたが、2020年6月から再開しました）。レスパイト入院については4南病棟の看護スタッフと協力して診療しました。

院外保健活動

小児科・安藤は、滋賀県小児在宅医療委員会委員、小児救急医療対策委員会委員（滋賀県医師会）、高島市立学校結核対策委員会委員、として院外保健活動を行っています。

他の医療機関との連携

開業医の先生方や他病院から当院小児科へご紹介いただきました患者様については、個人情報保護法のもと、迅速に診療情報を共有するようにしています。また、病状によっては三次医療機関との連携を密にし、充実した医療を行うように心がけています。

<小児科の入院・外来統計>

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
退院症例数	242 例	202 例	238 例	233 例
平均在院日数	5.3 日	4.6 日	4.5 日	4.0 日
1 日平均入院患者数	3.5 人	2.6 人	2.9 人	2.7 人
夜間・休日の入院症例数	52 例	50 人	57 例	41 例
夜間・休日入院の割合	21.5%	24.8%	23.95%	17.6%
紹介患者入院数	30 例	22 例	35 例	50 例
救急車搬送入院数	16 例	24 例	24 例	25 例
転院患者数	1 例	0 例	4 例	7 例
院内死亡患者数	0 例	0 例	0 例	0 例*
外来患者数（延べ）	4773 人 ＋予防接種	5977 人 ＋予防接種	5742 人 ＋予防接種	5284 人 ＋予防接種
救急外来受診数（延べ）	766 人	1370 人	1275 人	1291 人
6 才未満救急外来初診数	272 人	513 人	505 人	350 人

*2020 年 8 月 髄芽腫のターミナルステージの男子が逝去された

2024 年度（令和 6 年度）小児科退院患者様疾患分類（ICD-10 類）

疾患名	ICD-10 分類	退院症例数	平均在院日数
新生児疾患	P, D649, L279, O680, R063, R068	30 例	6.2 日
X 連鎖無ガンマーグロブリン血症	D800	12 例	1.0 日
感染症と推定される下痢・胃腸炎	A09	9 例	3.8 日
アナフィラキシー・食物アレルギー	T78	6 例	1.6 日
急性扁桃炎・咽頭扁桃炎・急性咽頭炎・急性喉頭炎など	J029, J038, J069	8 例	2.7 日
肺炎、気管支肺炎	J157, J180, J189, J690	15 例	3.9 日
心肺停止後虚血性脳症(※)	G934	3 例	6.6 日
細菌性腸管感染症	A020, A047, A049	2 例	2.5 日
慢性呼吸不全(※)	J9619	12 例	4.9 日
気管支喘息発作・気管支喘息重積状態	J46	4 例	4.7 日
ダンディ・ウォーカー症候群(※)	Q031	3 例	4 日
重症細菌感染症	A499	1 例	2 日
川崎病	M303	4 例	8.2 日
ウイルス性腸管感染症	A081	1 例	3 日
痙攣、痙攣重積	R56	9 例	2.7 日
肺炎球菌性敗血症	A403	0 例	0 日
急性気管支炎、急性細気管支炎	J209	2 例	4 日
上記以外		153 例	4.1 日
合計		233 例	4.0 日

上記のうち、レスパイト入院（※）は合計 18 例

専門医資格

安藤 武：平成 14 年(2002 年)卒、臨床研修指導医

大音泰介：平成 18 年(2006 年)卒、小児科学会認定専門医、医学博士、臨床研修指導医

院外業績発表

第 22 回日本小児心身医学会関西地方会

大音泰介『治療に苦渋したが、専門機関紹介後にセルトラリン投与にて著明改善を認めた嘔吐恐怖症の一例』

外 科

病院長	武田 佳久	部長	高橋 有和
科長	中島 研郎	(総合診療科科長兼任)	千野 佳秀
部長	渡邊 武志	非常勤(乳腺外科)	川西 佳奈
部長	山岡 竜也		

今年度は常勤スタッフ、非常勤医(乳腺外科)の入れ替わりがあり、新たなメンバーで診療に取り組んできました。

消化器疾患の治療については、麻酔科、内科およびコメディカルと協力して高齢者や合併症を有する患者に対しても可能な限り根治術を行うことを目指して低侵襲な腹腔鏡手術を標準術式とし、ヘルニアや胆石症、虫垂炎などの良性疾患はもちろん、胃癌・大腸癌手術でも第1選択としています。肝胆膵領域癌についても同領域を専門とする医師が複数おり、高難度手術に対応しています。

乳腺領域については週1回非常勤医師の診察で対応しています(下記参照)。

癌患者に対する化学療法は、消化器内科、化学療法認定看護師、薬剤師等と連携を取りながら胃癌、大腸癌を中心に、乳癌、膵癌、胆道癌などに対しても積極的に行っています。オプジーボをはじめとする免疫チェック阻害剤が各臓器癌に対する化学療法の標準治療となっており、令和6年1月より当院でも導入し症例が増えています。

癌患者においては、末期癌に対する緩和ケアも重要であり、緩和ケアチームと密な協力態勢を取りながら患者様に対してシームレスな治療対応が行えるよう務めています。また院内だけでなく県内外の他施設からも積極的に患者を受け入れ入院・通院での緩和ケアおよび在宅緩和ケアへの連携を積極的に行っています。

このように、手術のみならず多面的な治療を多職種が関わりながら提供することで、地域の患者様にできるだけ地域内で診断から治療・フォローまで完結できることをめざして満足していただけるような治療の提供を努めています。

食道領域

食道癌については術前化学療法・放射線療法等の集学的治療が中心となることが多いため、当院で診断を行い治療方針を相談、必要に応じて他施設への紹介等を行っています。

胃癌

根治切除が可能な症例に対しては原則腹腔鏡下胃切除術を行っています。高度進行癌に対しては術前化学療法を行ったうえで根治手術を行う試みも行っています。

結腸・直腸癌

結腸・直腸癌に関しては腹腔鏡下結腸、直腸切除術を標準術式としています。特に直腸癌については狭い骨盤内で確実な視野のもと細かい操作が可能な腹腔鏡手術のメリットは大きく積極的に行っています。当院では手術支援ロボットが導入されていないため、ロボット支援下手術のメリットが大きいと判断した場合には、大学病院を含む県内外のハイボリュームセンターへ紹介しています。

膵・胆嚢胆道癌

切除可能な膵癌・胆道癌症例に対して積極的に手術を行っています。今年度は下部胆管癌に対して膵頭十二指腸切除術を行った症例がありました。

肝臓癌

今年度は肝右葉切除、中2区域切除がそれぞれ1例ずつありました。

乳癌

毎週木曜日午前に乳腺外来を開設、非常勤の乳腺外科専門医による診察・治療を行っています。又、ドック検診なども積極的に行っております。手術が必要な症例については、放射線治療を必要とする症例については他院へ紹介しておりますが、当院での手術が可能な症例については対応しています。他院に紹介した患者様についてもフォローアップについては当院への通院治療で対応できるよう務めています。また切除不能・再発転移症例に対するホルモン療法、化学療法は化学療法認定看護師の協力のもと外来通院での治療を積極的に行っているほか、緩和ケア対応の必要な患者様

に対して緩和ケア科と協力して地域内で対応できるよう務めています。

胆石症

胆嚢結石に対しては急性緊急症例を含め腹腔鏡下胆嚢摘出術を標準術式としています。ただ高齢で重篤な併存症を抱える患者も多いため、高度炎症症例や全身状態不良例では経皮経肝的胆嚢ドレナージ（PTGBD）による急性炎症の鎮静化を図ったのちに安全な手術を行うなど柔軟な対応を行っています。

総胆管結石については、胆管炎を伴う場合はまず内視鏡的ドレナージを内科で行います。従来はその後内視鏡的碎石術を行っていましたが、令和6年度から全身麻酔手術が可能な患者に対しては積極的に腹腔鏡下胆管切石術を行うことで、入院期間の短縮、結石や胆管炎の再発再燃の予防に努めています。

鼠径・大腿ヘルニア

現在術式の第一選択は腹腔鏡手術としていますが、全身麻酔が困難な高齢者等には脊椎麻酔あるいは局所麻酔による前方アプローチ法を行ったり、人工メッシュの使用を避けたい患者様にはガイドラインでも推奨されている組織修復法（Shouldice 法）を積極的に行うなど、患者様の様々なニーズに対応しています。

痔核・直腸脱

内痔核に対しては可及的に保存的治療を心掛けており、保存的加療が困難な場合に手術適応としております。直腸脱は高齢者に多い疾患ですが、全身麻酔が可能であれば超高齢患者に対しても再発の少ないとされる腹腔鏡下手術を積極的に行っており成績は良好です。手術侵襲を考慮して腰椎麻酔下の経肛門的手術を選択することもあります。

＜主な手術症例の推移＞ 令和3年度～令和5年度

	令和4年		令和5年		令和6年	
	症例数	鏡視下	症例数	鏡視下	症例数	鏡視下
全症例数	198		202		225	
全身麻酔	184		185		202	
内視鏡手術	134		145		184	
緊急手術	58		51		73	
食道						
胃切除術（悪性）	6	2	6	6	8	8
胃全摘術（悪性）	3	2	3	2		
小腸切除術	1		9	5	7	5
結腸切除術（悪性）	17	14	21	15	20	20
直腸切除術（悪性）	6	4	7	7	5	5
直腸切断術（悪性）						
肝切除	4		1		3	
胆管・胆嚢切除			1			
膵頭十二指腸切除術	2		1		1	
膵体尾部切除術						
胆嚢摘出術（良性）	29	27	24	21	58	58
胆管切石術（良性）					11	11
各種ヘルニア	51	40	57	46	41	26
ヘモ	1		2		4	
イレウス	9	2	7	1	10	5
虫垂炎	21	21	21	21	31	31
胃・十二指腸穿孔	2	2	4	4	2	1
ストマ作成	14	4	16	5	5	4
バイパス術	1	1	7	6	1	
乳腺			3			

令和 6 年度の年間症例数は 225 例と昨年度から大きく増加、特に麻酔科の協力もあり緊急手術症例が増えています。腹腔鏡手術が胃・大腸癌の切除術や胆石手術のすべてで行われた一方で、肝・膵領域の高難度手術症例も行っています。特に胆嚢結石・胆管結石、直腸脱の症例が多い一年でした。

これからも緊急手術に対応できる体制の確立維持や、消化器内科や開業医と連携して各種癌の診断から手術を含む治療までが地域内で完結できるよう努めていきます。

学術活動

令和 6 年 11 月 9 日

第 37 回日本外科感染症学会総合学術集会

消化器外科術後に COVID-19 感染を来した感染増悪リスクを伴った 2 症例
渡邊武志ほか

令和 6 年 11 月 16 日

第 18 回関西ヘルニア研究会

Shouldice 法の継承

山岡竜也

令和 6 年 11 月 23 日

第 86 回日本臨床外科学会総会

超高齢者に対する閉鎖孔ヘルニア嵌頓の非観血的整復後治療
高橋有和ほか

令和 6 年 11 月 30 日

第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会

術前診断しえた Meckel 憩室内翻による腸重積に対する腹腔鏡手術症例
渡邊武志ほか

令和 6 年 12 月 5 日

第 37 回日本内視鏡外科学会総会

遅発性に術後膿瘍形成をきたした慢性胆嚢炎胆管損傷の一例
渡邊武志ほか

令和 6 年 12 月 7 日

第 37 回日本内視鏡外科学会総会

虫垂切除術後断端ステープル断端につながる索状物により生じた絞扼性イレウスの一例
高橋有和ほか

専門医資格

武田佳久	： 日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医
中島研郎	日本外科学会専門医
渡邊武志	： 日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会専門医
高橋有和	日本外科学会専門医
山岡竜也	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医
千野佳秀	日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科技術認定医・消化器内視鏡専門医

乳腺外科（外来診療）

非常勤医師 川西 佳奈

乳腺専門医による診察、検査および手術を行っております。

診察、検査は視触診、マンモグラフィ、乳房超音波検査、乳房 MRI を用いて行い、必要があれば針生検や穿刺吸引細胞診、異常乳頭分泌があれば分泌物の細胞診を行っております。

不幸にして乳癌であった場合には、当院または患者様の希望により京都大学病院や滋賀県立総合病院、大津赤十字病院にて乳癌手術を行っております。

ご本人、ご家族の希望により乳房再建術や遺伝子検査は、滋賀県立総合病院に紹介しています。

整形外科

副院長 岡本 剛
村上 晃規
竹谷 仁
金山 依玲奈

令和6年度は整形外科医3人体制＋非常勤1名でした。整形外科全般の疾患、外傷に対して当科ですべて対応できる体制を整えています。特殊な専門性が要求される症例は専門の病院を紹介したりしています。外来は2診で行っています。初診はできるだけ紹介状持参をお願いしています。外来を縮小することにより説明に十分な時間がとれるようになり入院説明、手術説明を外来で行えるようになり入院期間の短縮につながっています。病状が安定した症例は逆紹介につとめています。湖西地域の先生方との症例検討会は、コロナで中断していましたが、令和5年度再開しました。次年度からも継続していきたいと考えています。

入院に関しては一部の疾患（大腿骨頸部骨折、人工関節、脊椎圧迫骨折）に対して入院期間の短縮、治療の一貫性を目的にクリニカルパスを導入し効果を上げています。保存的治療では安静による運動能力の低下を防ぐために積極的にリハビリを行い、ブロック療法や機能的装具を併用しADLの低下をきたさないように努力しています。

高齢者に多い大腿骨頸部骨折は手術後、回復期リハビリテーション病院への転院が主流になり早期に回復期リハビリに入れるように転院先と調整を行っています。手術的治療では患者様のQOLを重視し、最小侵襲で手術が行えるように工夫しています。人工関節手術はクリーンルームで行っております。

整形外科全員で術前術後カンファレンスを行い、毎週月曜日には看護師、リハビリのスタッフとのリハビリカンファレンス、毎週火曜日には看護師との病棟カンファレンス、リハビリ、MSW含めた回診を行い、全員で情報を共有できる体制をとっています。

手術症例につきましては、令和6年は421件でした。

頚椎手術	10 件	腱板修復手術	2 件
胸腰椎手術	28 件	股関節人工骨頭置換術	30 件
上肢骨折手術	100 件	人工股関節置換術	20 件
下肢骨折手術	112 件	人工膝関節置換術	15 件
手の外科	43 件		

専門医資格

岡本 剛：整形外科専門医 指導医

脳神経外科

スタッフ	市川 正春 (H7.1～)	日本脳神経外科学会専門医, 日本脳卒中学会専門医
	非常勤 北川 忠司	日本脳神経外科学会専門医, 日本麻酔学会専門医
	竹市 康裕	日本脳神経外科学会専門医, 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医

診療実績 (2024. 1. 1～2024. 12. 31)

外来

総数 2259 人、うち新患 343 人

入院

1.	脳血管障害	
	脳動脈瘤	2
	AVM、血管奇形、CCF/dAVF	0
	脳内出血	20
	脳梗塞	12
	脳動脈閉塞/狭窄	2
	その他	3
2.	腫瘍	
	髄膜腫	0
	神経膠腫	3
	転移性脳腫瘍/その他	0
3.	外傷	
	急性硬膜外/急性硬膜下血腫	3
	慢性硬膜下血腫	25
	脳挫傷/外傷性 SAH/その他	25
4.	水頭症	2
	5. その他	7

手術

1.	開頭術	
	脳腫瘍摘出術	0
	脳動脈瘤	0
	AVM、血管奇形	0
	脳内血腫除去	1
	急性硬膜外/急性硬膜下血腫	3
	減圧開頭	0
2.	穿頭/定位脳手術	
	慢性硬膜下血腫	28
	定位脳内血腫除去術	1
	その他	0
3.	血管内手術	
	動脈瘤コイル塞栓術	0
	CAS/血管形成術	1
	血栓回収	0
	4. 水頭症手術	3
	5. 頭蓋形成術/その他	0

皮膚科（外来診療）

（非常勤医師）

平野 唯 小松 貴義

非常勤医師 2 名で診療しています。アトピー性皮膚炎・水虫・乾癬・蕁麻疹・掻痒症・皮膚がん・ヘルペスなどの感染症など多岐にわたる皮膚疾患を診療しております。また、総合病院の特徴を生かし、他科と密接に協力して治療を進めております。

泌尿器科

医長 城 文泰 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 腹腔鏡技術認定医
臨床研修指導医

医長 田中 翔

令和 6 年は 2 人体制での診療を行いました。
経尿道的手術を中心に悪性腫瘍や緊急を要する手術を行いました。近年泌尿器科手術は多くの疾患でロボット手術が標準術式となっていますが、当院で実施可能な手術を積極的に行いました。外来診療は待ち時間が短くなるように内服薬で症状の落ち着いている方はご希望があれば地元かかりつけの先生に処方継続をお願いさせていただいていますが、今後もよろしくお願いいたします。

令和 7 年度も常勤医 2 人＋非常勤医 1 名での診療となります。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

主な検査、処置、手術件数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
前立腺針生検	24	29	34	20	26
尿管ステント留置・交換	48	51	37	28	27
腎瘻造設術	4	5	0	1	11
経尿道的膀胱腫瘍切除術	13	22	27	27	30
経尿道的尿管結石手術	8	9	6	17	30
経尿道的前立腺切除術	4	4	2	2	2
経尿道的前立腺吊上げ術	0	0	0	2	0
膀胱結石手術	5	5	5	1	6
腹腔鏡下腎摘除術	0	0	1	0	0
腹腔鏡下尿管摘除術	1	2	0	1	2
腹腔鏡下膀胱脱手術	1	0	0	0	0
内シヤント	24	9	9	5	13
包皮環状切除	0	1	1	1	2
陰のう水腫根治術	1	1	0	0	2
ボツリヌス療法	1	0	0	0	0
高位精巣摘除術	0	1	1	0	0
精巣固定術	0	1	0	0	1
中部尿道スリング手術	0	1	1	0	0
その他	6	10	4	6	19

産婦人科

常勤医師 医長 田中 佑治(令和5年7月～令和6年1月)
花田 哲朗(令和6年2月～令和6年7月)
村頭 温 (令和6年10月～令和7年3月)
非常勤医師 天野 創、辻 俊一郎、米岡 完、花田 哲朗

常勤医師1名、非常勤医師4名で、夜間は滋賀医大から医師の派遣もしていただき分娩体制を維持しております。産科は比較的风险の少ない方の妊娠分娩管理を行っております。婦人科は外来では良性から悪性疾患の管理、手術は基本的に良性疾患に対する開腹・腹腔鏡・経膈手術を行っております。今後も滋賀医科大学と連携協力しながら高島地域の産婦人科診療を維持していきます。

診療実績

分娩と手術の内訳 (2024年4月～2025年3月の実績)

産科

分娩実績

分娩件数	81件
経膈分娩	66件
帝王切開	15件(予定 12件、緊急 3件)

手術

流産手術	4件
子宮頸管縫縮術	1件

婦人科

開腹手術(帝王切開以外)

子宮全摘出術	2件
--------	----

腹腔鏡下手術

卵巣手術	5件
------	----

子宮全摘術	6件
-------	----

膈式手術

子宮内膜全面搔爬術	3件	子宮頸部円錐切除術	5件
-----------	----	-----------	----

外陰切除術(悪性)	0件	膈閉鎖術	1件
-----------	----	------	----

内膜ポリープ切除	15件	子宮脱	4件
----------	-----	-----	----

子宮鏡下子宮筋腫核出術	1件	バルトリン腺膿疱切除術	1件
-------------	----	-------------	----

専門医資格

村頭 温 : 日本産婦人科学会専門医
日本婦人科腫瘍学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
Da vinci/hinotori saurgical robot system certificate
日本ロボット外科学会 robo-Doc Pilot (国内B)
臨床研修指導医

眼 科

(非常勤医師) 中西 悠太(月曜日) 田中 智太郎(水曜日) 田宮 良輔(金曜日)

当科では担当医師1名、看護師1名、視能訓練士1名の体制で月・水・金曜日に診療を行っております。午前是一般診療及び健診眼科項目業務、午後は予約検査を行っております。第3週の水曜日にはコンタクト外来も開設しています(令和4年5月から休止中)。平成16年度より常勤医不在により、非常勤医師による診療を行っております。

診療内容は白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの一般診察に加え、必要に応じて網膜光凝固レーザー治療を行っております。今年度は無散瞳眼底カメラを更新し、病状把握、記録に活用しております。当科で対応できない手術や検査については京都大学病院や大津日赤病院などへ紹介させていただいております。

耳鼻いんこう科（外来診療）

（非常勤医師） 戸嶋 一郎 西口 達治

非常勤医師 2 名で診療しています。

耳疾患、鼻副鼻腔疾患、咽喉頭疾患、口腔疾患、唾液腺疾患、外傷などを扱っています。手術や入院治療が必要な場合は滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科など他施設へ紹介させていただきます。

難聴や顔面神経麻痺等での入院治療が必要な場合は、当院内科常勤医等と連携して治療いたします。

毎月第 1・3 木曜日午前 9 時～11 時に補聴器外来を開設しています。

歯科・歯科口腔外科

部長 桐澤知子 医長 徳持翔太
歯科衛生士 5 名(常勤 2 名、非常勤 3 名)

歯科口腔外科は歯科医師 2 名、歯科衛生士 5 名（常勤 2 名、非常勤 3 名）の体制で診療しています。

また、月 2 回程度京大病院から渡邊 Dr.に手術および診療の補助のために来て頂いております。

当科では顎骨腫瘍や埋伏智歯、顎関節症、顎変形症などの硬組織疾患、口腔粘膜・舌腫瘍、唾液腺疾患などの軟組織疾患、睡眠時無呼吸症候群や唇顎口蓋裂など先天奇形患者の口腔内装置の作製、入院中の患者の一般歯科治療などを行っております。手術は、局所麻酔または全身麻酔下にての智歯抜歯術をメインに、顎骨腫瘍摘出術、白板症切除術、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する腐骨除去術、等を行っております。また手術に恐怖心のある患者に対しては、1泊2日入院局所麻酔下にての手術や2泊3日全身麻酔下にての手術を施行しております。歯科インプラント治療や前処置としての骨移植、ホワイトニングなど保険適応外の処置も施行しております。

<口腔ケア>

歯科衛生士による周術期口腔ケアや専門的口腔ケア等の口腔機能管理を積極的に推進しております。

全身麻酔手術の前後では、原則的に全例で周術期口腔ケアを実施し、動揺歯の固定やマウスガードの作製、必要に応じて抜歯等を行っております。誤嚥性肺炎や摂食・嚥下障害、糖尿病、脳血管障害、人工呼吸管理中などの患者に対しては、専門的口腔ケアを実施し、病棟と連携を取りながら効率的な口腔ケアを行えるよう協力させて頂いております。

また、外来通院中の患者さんに対しても軽度から重度の歯周病が認められる患者さんに対して、定期的な歯周ケアや歯周管理を行っております。

活動状況

【全身麻酔下にての手術症例】

埋伏智歯抜歯術	112 例	歯根端切除術	2 例
骨隆起形成術	3 例	腐骨除去術	3 例
軟組織腫瘍切除術	3 例	顎骨腫瘍切除術	3 例
顎骨嚢胞摘出術	3 例	顎関節手術	1 例
舌部分切除術	1 例	頬粘膜切除術	1 例
下顎骨骨折観血的整復固定術	1 例		

<専門医>

桐澤 知子：日本口腔外科学会専門医

徳持 翔太：日本口腔外科学会認定医

<認定施設>

日本口腔外科学会准研修施設

放射線科

科長 木上 裕輔 日本医学放射線学会 放射線診断専門医

放射線科は常勤医師 1 名、非常勤医師 3 名が在籍しており、画像診断センターにて医療技術部の診療放射線技師や看護部と協力しながら、各種画像診断とインターベンショナルラジオロジー（IVR:画像誘導下治療）を行っています。

当院の主な画像診断関連機器は、FPD 一般撮影装置、マルチスライス CT(320 列)、MRI 装置(1.5 テスラ)、超音波診断装置、ガンマカメラ(SPECT 装置)、診断用 X 線 TV 装置、デジタル血管撮影装置、乳房 X 線撮影装置、歯科用パノラマ撮影装置、骨塩定量装置などです。

放射線科では、各診療科の先生方と緊密な連携をとって信頼性の高い画像診断を行うことを心がけています。それによって、病気の早期発見・早期治療を実現させて患者様の健康寿命増進のお役に立てることを目指しています。夜間休日などの診療時間外においても、遠隔での画像診断に可能な限り対応できるようシステムを構築しています。また、地域の開業医様や他の医療機関からの検査依頼にも対応しており、地域医療へ貢献できるよう取り組んでいます。

当科の業務の多くは画像診断が占めますが、それ以外の業務として IVR も行っています。IVR は X 線透視画像や超音波画像を見ながら治療を行うもので、実施件数が多いものでは肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法(TACE)が挙げられます。他にも、各種の経皮的なドレナージ術も行っています。これらの IVR は身体への負担が比較的低く術後の回復も早く見込めるなど、患者様にとってのメリットも多く、それらを実現できるよう当科では体制を整えています。

<全読影件数>

	CT	MR	RI	X 線 TV	マンモ	US	単純撮影	骨塩	IVR
令和 6 年度	8880	2320	151	717	805	2406	1079	6	4
令和 5 年度	8208	2161	106	754	719	2259	2738	18	6

<病診連携>

	CT	MR	RI	US	単純撮影	骨塩
令和 6 年度	324	312	25	42	27	6
令和 5 年度	263	340	33	40	27	18

麻酔科

科長 川人 道夫 機構専門医 日本麻酔科学会指導医
大学応援非常勤医師 週 5 名（月曜、火曜・水曜・木曜）

令和 6 年度業務実績（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

麻酔科管理 728 例

麻酔法

全身麻酔…278 例

全身麻酔+硬麻、脊麻、伝麻等…295 例

脊髄くも膜下麻酔…141 例

脊硬麻…11 例

その他…2 例

科別

脳外科…5 例、外科…203 例、産婦人科…43 例、整形外科…230 例、泌尿器科…56 例、
歯科口腔外科…129 例、その他…5 例

大学より和田先生、石原先生、閻先生、河野先生、森山先生の応援にて麻酔業務遂行

リハビリテーション室

技師長 清水 一美

リハビリテーション室では、理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。

スタッフは、理学療法士 14 名、作業療法士 8 名、言語聴覚士 3 名、事務員 1 名の 26 名で、外来・入院患者様に、リハビリテーションサービスを提供しています。

脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)、廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)、心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)、がん患者リハビリテーション料を算定しています。

リハビリテーション実施過程においては、他職種とのカンファレンス等を行い、情報共有に努めています。

地域においては、医療・保健・福祉・介護保険事業との連携に努めています。

理学療法、作業療法、言語療法の各部門における令和 6 年度業務実績については別項リハビリ統計を参照。

地域リハビリテーション支援業務実績（令和 6 年度）

- ①空き家活用事業 令和 6 年 4 月 9 日～令和 7 年 3 月 28 日（全 23 回）
社会福祉協議会主催の高島（街灯り）・朽木（くつつき）での空き家を利用した地域サロンへ参加。「受けるリハビリ」から「するリハビリ」への意識改革、主体的に運動を継続できる環境作りの提供を目的に地域住民に体操や健康に関する講義を実施。
- ②高齢者自立支援サポート会議 令和 6 年 8 月 21 日
地域在住の個別ケースの支援について、他職種で協働し自立支援に重点を置いたケアマネジメントの実践向上と効果的な支援の検討。
- ③出前講座 令和 6 年 9 月 11 日
高島地区の健康推進員に向けた講義と運動指導。
フレイルについての講義、フレイル予防の体操や注意点についての指導。
二重課題による認知機能低下予防の体操の指導。

手術室・中央材料室

看護師長 山極 恵子

手術室

手術室は看護師 10 名で、診療科 7 科(外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・歯科口腔外科・泌尿器科・心臓血管外科)の手術に対応しています。看護体制は、時間外及び休日は待機制をとり 24 時間緊急の手術、心臓カテーテル検査治療に対応しています。

令和 6 年度の総手術件数は 1120 件で、全身麻酔 574 件、腰椎麻酔 253 件、局所麻酔を含むその他の麻酔は 293 件でした。うち緊急手術は 168 件で全体の 15%、全身麻酔は全体の 51.25%でした。昨年度より総手術件数は 164 件増加しました。

手術を安全に行うため、情報共有し手術前タイムアウトと執刀医タイムアウトは確実に実施し、左右間違いなどの重大なインシデントはありませんでした。また、医療機器・ガス・設備等の点検や修理、ホルムアルデヒド作業環境測定など継続しています。医療材料の管理は、見える収納・ラベリング・整理整頓、定数見直しなど行い期限切れの物品が出ないように経費節減に努力しています。

毎週火曜日に実施される心臓カテーテル検査治療には、手術室看護師 1 名が外来看護師 1 名と対応、夜間休日の緊急心臓カテーテル検査治療には手術室看護師 2 名が対応しています。

患者様が安全・安心な手術、心臓カテーテルが受けられるよう知識・技術の向上を目指しています。

(1) 令和6年度 月別手術件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	13	20	14	16	21	16	17	19	23	17	24	21	221
整形外科	42	30	41	31	39	28	42	39	30	25	35	34	416
泌尿器科	1	8	9	10	11	9	11	7	10	22	9	11	107
産婦人科	6	3	5	10	6	1	9	3	8	4	3	3	61
脳神経外科	5	3	2	2	3	4	3	2	2	0	1	1	28
歯科口腔外科	23	27	21	23	30	26	31	23	11	22	25	22	284
心臓血管外科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	90	92	92	94	110	84	113	93	84	79	97	92	1120

(2) 令和6年度 月別緊急手術対応

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急手術	12	16	14	14	16	11	8	13	26	17	19	12	168
うち待機呼出	1	3	1	2	4	1	0	2	5	2	3	0	24

*「緊急手術」とは当日申し込み手術のこと（待機呼出を含む）

*「うち待機呼出」とは呼び出しを受けて緊急手術に対応したもの

中央材料室

手術室看護師と看護補助者1名で協力して業務を行っています。患者の安全確保のため、より安定した物品提供をめざし、医療機器、手術器械の洗浄、滅菌、管理業務を担っています。

(1) 令和6年度 滅菌機器運転回数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
オートクレーブ1	60	62	59	61	58	53	65	61	57	48	57	62	703
オートクレーブ2	57	61	54	62	68	63	64	63	57	54	54	59	716
ステラッド	23	23	21	22	27	26	24	27	21	22	22	25	283
合 計	140	146	134	145	153	142	153	151	135	124	133	146	1702

薬剤センター

薬局長 木下 貴長

日々進歩していく医療の中で薬剤師は、「薬の専門家」として重要な役割を担っています。当院では宿日直を含む365日24時間体制で常勤薬剤師11名、非常勤薬剤師1名、薬剤助手2名で業務を行っており、これまでよりさらに安全で質の高い業務を展開できるよう取り組んでいます。

■調剤・注射業務

医師より発行された処方せんに基づき、用法用量・相互作用・アレルギー歴・薬歴・各種検査値などをチェックし、調剤を行っています。（当院では平成12年11月より院外処方せん発行しています）

■病棟業務

全病棟に担当薬剤師を配置し、服薬指導・持参薬の鑑別等に加え、投与される医薬品の妥当性を検討し、必要時には医師への処方提案をおこなっています。入院患者様に安心・安全な入院生活を送っていただけるように適切な医薬品情報を提供しています。

■無菌調製業務

中心静脈栄養に用いる高カロリー輸液は、クリーンベンチ内で無菌調製を行っています。

また、院内で使用される注射抗がん剤は、無菌的かつ曝露防止を目的とした安全キャビネット内で調製しています。

患者様にとって安心・安全に化学療法を受けていただけるだけでなく、調製・実施するスタッフの曝露対策も確保しています。

■D I（医薬品情報）業務

医薬品情報の収集・整理・保管を行い、スタッフならびに患者様に情報を提供し、安全で適切な薬物療法の支援をしています。また、医薬品による有害事象が生じた際には独立行政法人医薬品医療機器総合機構に報告し、当院だけでなく全国で治療を受ける全ての患者様の安全確保に貢献しています。

■薬品管理

医薬品の採用登録、発注・購入、病棟配置薬の管理、期限チェック、棚卸業務などを行い、院内医薬品すべての管理を行っています。また災害拠点病院として、非常時に必要な医薬品を正確かつ速やかに供給できるよう製薬会社や薬品卸との連携の強化を図っています。長年続く医薬品の供給不安定問題についても製薬会社や薬品卸と連携し在庫確保に努めています。

■他の医療機関との連携

トレーニングレポート、疑義照会、その他問い合わせなどを通じて調剤薬局と情報を共有し、薬薬連携を進めています。

また、高島市内の各医療機関の薬剤部門との連携も始まり、地域連携を深めています。

■研修・教育

滋賀県病院薬剤師会の会員として、県内外の学会・研修会などに参加し、最新の医療や薬剤に関する情報収集を行っています。院内では、毎週火曜日にWeb勉強会を行っています。

高島市薬剤師会との合同研修会の開催、薬剤師会主催の研修会への積極的な参加も行っています。また薬学部5年生を対象に、大学と連携して11週間にわたる薬学部実務実習生を年に3回受け入れており、薬剤師の育成にも力を注いでいます。

■チーム医療

医療安全、化学療法、NST、褥瘡回診、院内感染対策、CST、緩和ケアなどのチーム医療へ参加し、薬剤の専門家として関わっています。

*今後も薬剤業務を充実させ、患者様に薬を通してよりよい関わりが持てるよう知識と技術を磨いていきます。

薬局業務状況

1. 外来処方箋調剤枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外来処方せん(枚)	3,757	3,901	3,633	4,033	3,985	3,637	3,931	3,538	4,327	4,229	3,361	3,784	46,116
院外枚数(枚)	3,451	3,526	3,342	3,634	3,576	3,291	3,665	3,276	3,664	3,429	3,048	3,514	41,416
院内枚数(枚)	306	375	291	399	409	346	266	262	663	800	313	270	4,700
院外発行(%)	91.9	90.4	92.0	90.1	89.7	90.5	93.2	92.6	84.7	81.1	90.7	92.9	89.8%
外来注射(枚)	830	963	769	1,069	1,040	839	828	744	837	914	786	849	10,468

2. 入院処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内服(枚)	2,412	2,786	2,458	2,629	2,628	2,509	2,364	2,599	2,466	2,913	2,562	2,676	31,002
注射(枚)	7,801	8,351	8,228	9,373	8,549	8,203	7,567	7,505	8,395	9,790	8,042	9,646	101,450

3. 無菌製剤処理業務（TPN）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
処方箋枚数(枚)	141	113	141	216	183	126	118	102	123	48	60	143	1,514
調製数(件)	64	98	100	162	130	43	79	63	56	41	40	118	994

4. 化学療法無菌製剤処理業務（抗悪性腫瘍剤混合等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
処方箋枚数(枚)	49	59	48	59	45	46	42	31	35	39	37	37	527
調製数(件)	139	163	115	152	97	97	96	84	78	86	104	105	1,316

5. 服薬指導業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指導件数(件)	155	114	131	127	121	112	159	162	112	106	100	116	1,515

放射線室

技師長	齊藤 満	アドバンスド放射線技師 臨床実習指導者
技師長補佐	川合 久和 井上 将行	超音波検査士、臨床実習指導者 放射線管理士、放射線機器管理士 医療画像情報精度管理士、医療情報技師
	兼田 加代	検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師 救急撮影認定技師、アドバンスド放射線技師
主任技師	村田 晶	シニア放射線技師 第1種放射線取扱主任者、作業環境測定士
	吉田 枝里	検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師 超音波検査士
技師	西川 敬浩 兼先 勇佑 宇佐見 ゆか 松下 凌也	第1種放射線取扱主任者 検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師
非常勤技師	澤田 宗次	

放射線室のスタッフは、診療放射線技師 10 名、非常勤診療放射線技師 1 名が配属されており、各種造影検査時には外来診療部門から看護師 1 人が加わり日常の業務を行っています。放射線科の医師は、専門医の常勤 1 名と非常勤医師 1 名（週 3 日）が読影業務や IVR を行っています。

日常の業務は、一般撮影・X 線 TV 撮影・CT・MRI・RI・血管造影検査・超音波検査・骨塩定量測定・乳房撮影（3D マンモグラフィ）・健診業務及び画像解析・画像入出力等を行っています。地域の二次救急医療に寄与するため夜間・休日は診療放射線技師 1 名が当直勤務を行い 24 時間体制で緊急の画像検査に対応しています。専門性が求められる検査の場合は、担当者の呼出にも可能な限り対応しています。日常業務の精度向上のため、様々な認定資格にも挑戦し、日々技術向上を目指しております。

その他、管理業務として、放射線業務従事者の被ばく線量管理、放射線管理区域の漏洩線量測定、放射性同位元素の管理、各種画像診断機器の保守管理を行っています。近年では画像診断報告書の見落とし防止対策として、医療安全部門と連携して報告書の確認作業にも取り組んでいます。

また、原子力災害医療協力機関として原子力災害時に備え緊急被ばく医療の知識・技術習得を

目指しています。

学会等活動報告

厚生労働省告示第 273 号研修

厚生労働省医政局長より発出され、放射線技師の業務範囲の見直しに伴う告示研修 受講修了者 8 名

年間の業務量は以下のとおりです。

＜令和 6 年度 放射線室業務実績＞

検査種	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比較 (%)
CT 検査	7,714	8,303	8,902	107%
MRI 検査	2,124	2,177	2,306	106%
RI 検査	128	106	152	143%
TV 室撮影	1,056	998	994	100%
ポータブル	1,703	1,563	1,576	101%
血管造影	234	253	184	73%
骨塩定量測定	362	403	337	84%
手術室撮影	634	766	848	111%
単純撮影	19,043	20,277	20,794	103%
超音波検査	2,300	2,277	2,471	109%
読影依頼	16	6	4	67%
乳房撮影	768	719	936	130%
内視鏡 TV	216	148	212	143%
検査全件数	36,308	37,996	39,716	105%

中央検査室

臨床検査担当医師 谷口 晋
技師長 中島 正次
臨床検査技師 常勤 11 名 非常勤 1 名

臨床検査センターでは、年間を通して常に正確性・精密性において信頼の高いデータを迅速に報告することを基本に業務を行っています。2024 年度の外部精度管理では、日本医師会（参加項目修正点 99.7 点）、日本臨床衛生検査技師会（A+B 評価 99.5%）、滋賀県臨床検査技師会（A+B 評価 100%）と優秀な成績でした。また内部精度管理でも、各スタッフが日々のデータを厳しく管理し、精度の高いデータを報告しています。

新型コロナウイルスについてはピーク時と比べると陽性率も低下し落ち着いてきており、流行前の件数にもどりつつという印象です。抗原定性検査、抗原定量検査と PCR 検査で継続して臨床に対応しましたが、今年度 3 月に新型コロナウイルスを含む重傷呼吸器感染症に対応可能なマイクロアレイ法の新機種を導入しました。全ての時間帯で抗原定性及び定量検査を随時で行う体制を現在も継続しています。

○**検体検査** 終日 4 または 5 人の体制で業務を行っています。9 月に多項目血液自動分析装置及び全自動血液凝固分析装置（シスメックス社）が機器更新され、これまで同様、正確性、感度の高い検査を継続実施しています。また、臨床からの要望で外部委託していた検査項目を院内実施に変更するなど治療に有用なデータを迅速に報告できるよう努めています。

○**病理検査** 終日 1 または 2 人の体制で業務を行っています。病理医 2 名に定期的にご来院いただき、確実な診断をしていただいています。さらに、滋賀県遠隔病理システムを利用した遠隔病理診断や意見コンサルテーションも行い、病理診断日数の短縮を心がけ対応しています。また、術中迅速診断を遠隔病理診断でも対応するなど、臨床からのご要望に対応できるよう努めています。

○**生理検査** 午前 2 または 3 人・午後 4 人（兼務 3 人）の体制で業務を行っています。心エコー検査・頸動脈エコー検査を実施可能な技師が 3 人おり、さらに 1 人技術習得中です。健診センターには午前中に 2 名の技師を派遣し、高島市職員・教職員の健診で午後実施の時は午後も 1 名派遣しています。今年度、血圧脈波検査装置が更新されこれまで同様、正確性の高い検査を継続実施しています。

○**感染情報** 院内感染対策チーム（ICT）を 2 名の技師が兼務しています。耐性菌検出を週報にて発行、年間を通じて当院で検出された細菌からアンチバイオグラムを作成、いずれも電子カルテの掲示板にある「感染情報レポ」にて掲示しています。院内 AST ラウンドにも積極的に参加し、院内感染対策に関する活動を実施しています。また、JANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）に参加しており、電子カルテの掲示板にある「JANIS 還元情報」に特定の薬剤耐性菌・主要菌の分離状況（病棟別・材料別）や、全国の参加施設との分離菌・分離率の比較等を掲示しています。

○取得資格

中島正次 緊急検査技師 竹内優子 緊急検査技師 芝山智子 認定血液検査技師／
認定輸血検査技師 岡田めぐみ 心電図検定 2 級 村木雅哉 心電図検定 1 級
藤井莉奈 細胞検査士 藤田小登美 超音波検査士（心臓）／心電図検定 1 級

検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
一般	13,072	13,774	14,871	16,054	15,053	15,248	15,090	13,061	15,492	15,208	12,098	12,995	172,016
血液	18,155	18,585	19,659	21,817	20,686	20,374	20,115	17,757	19,437	20,391	17,145	19,037	233,158
生化学	46,600	46,720	52,054	58,425	54,275	54,823	53,671	47,354	52,143	55,189	46,042	51,543	618,839
血清	3,671	3,662	4,037	4,630	4,030	3,699	3,898	3,669	3,638	3,698	3,457	3,449	45,538
細菌	1,420	1,619	1,614	1,413	1,247	1,108	1,196	1,413	1,476	1,871	1,302	1,787	17,466
病理 (細胞診)	219	231	240	265	256	219	333	282	264	240	266	261	3,076
生理	1,452	1,839	3,357	3,884	3,074	3,518	3,231	2,526	2,212	2,422	1,820	1,553	30,888
UCG	148	133	113	158	122	129	144	144	129	148	119	133	1,620
合計	84,737	86,563	95,945	106,646	98,743	99,118	97,678	86,206	94,791	99,167	82,249	90,758	1,122,601

新型コロナウイルス検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
抗原定性	241	308	225	408	384	247	200	199	668	702	284	231	4,097
抗原定量	206	202	193	268	266	207	217	194	280	287	234	220	2,774
PCR	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	8

臨床工学室

技師長 長濱 崇
 技師長補佐 棟田 敦
 主任臨床工学技士 北川 浩也 藤縄 大志 伊藤 悠平 船木 克哉
 臨床工学技士 足立 悠貴 水口 貴良 大平 光蘭

9名で医療機器管理、人工透析、手術室や血管造影室などの支援業務をおこなっています。待機体制はありませんが、24時間オンコールで可能な限り対応しています。

	日常点検	定期点検	故障修理	院内修理	貸出件数	手術	血管造影	血液浄化	VA エコー
2024 年度	4705	2181	68	38	3820	284	97	40	86
2023 年度	4329	2000	74	49	3333	215	180	8	79
2022 年度	4150	1961	55	32	3658	193	157	66	51

【実績】（2023. 04～2024. 3※透析装置日常点検と人工呼吸器使用中点検を除く）

【人工透析・血液浄化】

安全で質の高い透析治療を提供するため、日常点検、定期点検を実施しています。装置を深く理解し患者様との架け橋になれるよう心がけています。透析用水清浄化の水質は良好で水質加算を取得しています。必要に応じ、病棟または血液浄化センターで各種血液浄化を実施しました。R6 年度は新たな膜を使用した LDL 吸着療法を実施しました。

【医療機器管理】（2023. 04～2024. 3※透析装置日常点検と人工呼吸器使用中点検を除く）

管理登録機器 1408 台は昨年度とほぼ同数ですが年間点検件数、貸出件数は増加しています。昨年度に引き続き医療安全部門と協力して医療機器の安全研修に尽力し、R 6 年度からは新たにモニターアラームに関する研修に取り組みはじめました。

< 研修実績 >

日時	内容	対象（または開催場所）	参加者
R6/6/4	IABP 操作研修(新人対象)	ME	4 名
R6/6/14	持続吸引器（病棟対象）	各病棟	44 名
R6/9/4	セントラルモニターアラーム	職員ラウンジ	12 名
R6/10/8	ネーザルハイフロー（Dr. Ns. ME）	各部署	80 名
R6/11/28	NPPV 呼吸器（NKV-330）	対象 3 病棟	44 名
R6/1/16	透析装置(オンライン HDF)	血液浄化 C	13 名
R7/1/20-2/28	セントラルモニターアラーム	e ラーニング	156 名
R7/2/6～14	搬送呼吸器パワパック	各部署	78 名

【臨床支援】

手術室では各科内視鏡下手術（腹部内視鏡・関節鏡下・産婦人科・泌尿器科）で関連機器の操作・点検・記録管理を行っています。

心臓カテーテル業務では RFR・IVUS による検査と治療を援助し、緊急時には IABP や PCPS の設定・操作、救急搬送を請け負っています。昨年度から行っている年間 4 回の PCPS のプライミングトレーニングの継続と毎年の搬送訓練に努めてきました。

ペースメーカー外来に関わり、MRI 検査や手術時の設定変更に関してもメーカーからタスクシフトを実施しています。

【学会・研修会などの活動】

第 64 回 日本呼吸器学会学術講演会 2024/4/7 北川（参加）

第 34 回 日本臨床工学会 2024/5/18. 19 長濱（法人共同発表）、北川（発表）

※地域医療連携推進人内の臨床工学技士の活動として今津病院と共同発表を行いました。

第 69 回 日本透医学会 2024/6/7-9 棟田（発表）、北川（参加）

第 24 回 日本心臓植込みデバイスフォローアップ研究会 2024/6/29 藤縄（参加）

第 17 回 日本不整脈心電学会冬季大会 2025/2/21 参加（棟田）

栄養管理センター

主任管理栄養士 橋本 亜由子

栄養管理センターでは、管理栄養士 5 名で栄養管理業務と給食管理業務を行い、入院患者様の食事に対する調理業務は、給食委託業者に委託をしています。

入院患者の栄養管理業務は、個々の栄養管理計画書を作成し、入院中の検査データの推移や喫食量を確認しながら、栄養状態を把握しモニタリングにより再評価を行っています。栄養状態改善を左右するのは適切な栄養量の摂取であり、個々の患者に合わせた食事形態や食種の選択が重要です。

栄養指導業務は、外来での指導については外来スタッフと連携をとり、待ち時間の短縮に努めています。継続した指導では患者との信頼関係を築くために原則、担当制にしています。入院時の指導は、患者やご家族の希望を伺いベッドサイドに出向いての実施や病棟患者ラウンジでの実施、調理方法を指導する場合においては病棟患者ラウンジで行っています。

給食管理業務は、提供する食数の集計や食材の発注を行い、年 2 回の嗜好調査と年 2 回の自主検査を実施し、より安全で満足度の高い食事の提供に努めています。

NST（加算算定なし）、褥瘡回診、心不全対策（CST）カンファレンス、緩和ケアチーム、窒息誤嚥予防チーム、身体抑制最小化チーム、せん妄・転倒転落対策チームへの参画、院外活動として地域での医療・福祉の連携も積極的に取り組んでいます。

〈食数および栄養指導件数〉

	一般食	特別食（％）	合計	患者外	個別指導	集団指導
4 月	6928	4810(41.0)	11738	360	48	中止
5 月	6773	4712(41.0)	11485	372	44	
6 月	6179	4377(41.5)	10556	360	42	
7 月	7523	4014(34.8)	11537	372	48	
8 月	7487	4431(37.2)	11918	372	44	
9 月	7515	4815(39.1)	12330	360	35	
10 月	6379	4428(41.0)	10807	372	41	
11 月	6126	4070(39.9)	10196	360	34	
12 月	6182	5218(45.8)	11400	372	51	
1 月	8427	5318(38.7)	13745	372	35	
2 月	6174	5398(46.6)	11572	336	39	
3 月	7059	5311(42.9)	12370	372	46	
合計	82752	56902(40.7)	139654	4380	507	

学会

第 5 6 回 滋賀県国保地域医療学会 竹林 発表

看護部

I. 組織（令和6年度）

看護部長 福田 直美
 看護部長代理 岡田 裕子（アドバンス助産師）
 副看護部長 水谷 清美

2024.04.01 付

部 署	師 長	補 佐	主 任
3 東病棟	木村 薫	早藤 砂緒里	白井 頌子
4 東病棟	生駒 晶子	宮田 麻里	河原田 勝也 朝日 留美
4 南病棟	土肥志のぶ	山本 知世	郡 嘉代子 西川 慶輔
5 東病棟	宇田 洋海	川原 春香	久保田 真 谷井 峰子
5 南病棟	黒丸 昌美	中村 大介	竹田 明美
透析室	斉藤 育代		安部 美津子
手術・中材室	山極 恵子	山口 真有美	西川 真名美
外来	水谷 清美	前川 直美	村田 裕子
地域医療連携室			
入退院支援室		橋本 美咲	
患者相談支援室			
健診室	澤田 さよ子		
医療安全推進室	薬師川 ひとみ		
感染管理対策室			清家 美香

II. 看護部の理念と令和6年度看護部目標

理念：地域住民の安心・安全を守り、信頼される質の高い看護を提供します

目標：

1. 地域および他部門との協働に努めます
2. 専門性の高い看護師を育成します。
3. 働きやすい職場、環境づくりをめざします
4. 病床に有効利用に努め、病院経営に貢献します

III. 概要

（1）看護師等の配置状況

一般病棟（3 東病棟 4 東病棟 5 東病棟 5 南病棟）

急性期一般入院料 4 10：1

地域包括ケア病棟（4 南病棟）

地域包括ケア病棟入院料 2 13：1

（2）看護方式

固定チームナースング＋受け持ち制 一部機能別看護を併用

（3）看護関連の実習受け入れ

- ・滋賀県堅田看護専門学校：基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学
母性看護学 統合
- ・華頂看護専門学校：母性看護学
- ・滋賀県立総合保健専門学校：母性看護学
- ・滋賀県立看護専門学校：母性看護学
- ・大阪保健福祉専門学校（通信過程）：小児看護学 母性看護学 基礎看護学
- ・大阪府病院協会看護専門学校（通信課程）：成人看護学 老年看護学 基礎看護学
看護の統合と実践

(4) 「看護の心」普及活動

- ・「看護の日」イベント：看護職募集広報ティッシュペーパー、パンフレット配布、
「私の家族は看護師さん」ポスター掲示実施
- ・市内中学校「職場体験学習」
- ・滋賀県看護協会ナースセンター事業「高校生の一日看護体験」：高島高等学校 6 名
- ・病院見学受け入れ：12 名
- ・インターンシップ：滋賀県立総合保健専門学校 3 年生 2 名、聖泉大学 4 回生 1 名
- ・安曇川高等学校「キャリア形成支援事業」：学生 2 名
- ・Wolk Life Story EXPO 2023（高島市市民協働課）：藤本志織、山崎恵
- ・看護学生就職ガイダンス ナースセンター事業 堅田看護専門学校：山川匡史
- ・滋賀県看護協会卒後 3 年目研修：高木祐輔
- ・看護協会ナースセンター事業「看護の魅力発信事業」：北野真由 藤本莉央

(5) 地域活動

- ・びわ湖高島栗マラソン救護活動：舟谷
- ・高島 U-15 HANDBALL CUP 救護活動：宇田洋海 村田裕子
- ・国スポ・障スポリハーサル大会救護活動：横江章子、嶋津拓夢、宇田洋海、中村恵李香
清野昌代、岡田裕子
- ・看護師の出前講座

小松小学校	5 月 15 日	教員 12 名	AED、エピペン実施訓練を含めた応急処置	宇田洋海 園田航梓
新旭南小学校	10 月 2 日	生徒と保護者 300 名	命の授業	早瀬美歩 栗津裕美子
安曇川高等学校	7 月 17 日	1 年生生徒	性教育	木村薫
新旭岡地区	9 月 18 日	高齢者サロン 12 名	足を守ると寿命が延びる	齋藤育代
高島市社会福祉協議会	7 月 23 日	高齢者サロン 30 名	誤嚥性肺炎の予防	黒丸昌美
今津栄区	8 月 22 日	11 名	脳梗塞の前兆を知ろう	生駒晶子 簸川角杏華
ホトラ社	9 月 26 日	指導者・支援者 13 名	コロナ、食中毒の初動対応	清家美香
高島ロータリークラブ	1 月 15 日	会員 50 名	生活習慣病、脳梗塞	生駒晶子 園田航梓
像生の里	1 月 29 日	利用者 56 名	たばこの害について	小川智子
ファミリーサポートセンター新旭	3 月 6 日	サポーター 10 名	食物アレルギーと皮膚のケアについて	水谷清美

(6) 求人活動

- ・滋賀県看護協会ナースセンター「看護職・看護補助者就職フェア in しが」8 月 3 日
1 月 22 日
- ・滋賀県立大学病院等合同説明会 6 月 26 日
- ・滋賀県立総合保健専門学校 就職に関する合同説明会 3 月 12 日
- ・マイナビ看護職就職説明会 3 月 9 日

IV. 看護部教育活動

(1) 令和 6 年度 看護部教育目的

- 1) 地域住民の生活を見据えた質の高い看護実践能力を養う
- 2) 専門職業人として研鑽に励み、能力開発・向上に努める姿勢を養う

(2) 教育目標

- 1) 地域住民の生活と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護能力を養う
- 2) 看護職としての倫理的感性および判断力を養う
- 3) 看護実践を支える管理能力、活用できる研究能力を養う

※ 別項業績集参照

- ・令和 6 年度 看護部院外発表一覧、および講習会受講・資格取得状況
- ・令和 6 年度 新人看護職員教育プログラム

医療安全部

部長：武田 佳久（病院長、医療安全部部長）令和 6 年 9 月 30 日まで
安藤 武（小児科科長、医療安全部部長）令和 6 年 10 月 1 日～
構成員：薬師川 ひとみ（専従医療安全管理者）
村田 晶（主任放射線技師、兼務医療安全管理者）令和 6 年 9 月 30 日まで
木下 正太（主任理学療法士、兼務医療安全管理者）令和 6 年 10 月 1 日～
橋本 一希（主任作業療法士、兼務医療安全管理者）令和 6 年 10 月 1 日～
伊東 正文（地域医療支援部部長、地域医療支援部代表）
福田 直美（看護部長、看護部代表）
中井 正紀（医療技術部長、医療技術部代表）
奥野 直久（事務部長、事務部代表）

1. 業務基準

- (1) 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録する。
- (2) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録する。
- (3) 医療安全対策に係る取り組みの評価等を行うカンファレンスを週 1 回程度開催し、医療安全管理委員会の構成員及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者等と協議、検討する。

【業務内容】

- ・報告されたインシデント・アクシデントレポートの受理・管理
- ・インシデント・アクシデントレポートの分析、改善策の検討、必要に応じて業務改善計画書の作成
- ・重大事例発生時の迅速な報告と対応支援、再発防止策の検討と実行
- ・各部署における安全管理に関わる指導・助言・相談
- ・医療事故防止や医療安全推進等の安全管理に関わる調査活動
- ・医療安全に関する職員教育と啓発（定期的な安全研修の企画・実施）
- ・医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成・保管、その他委員会の庶務に関すること
- ・医療安全カンファレンスの開催（原則として毎月曜日）
- ・医療安全地域連携加算に関する相互ラウンド

2. 医療安全管理者の業務内容

- (1) 医療安全部の業務に関する企画立案及び評価を行う
- (2) 定期的に院内を巡回し、ヒヤリハットにつながる危険箇所や、各部門における医療安全対策の実施状況を把握する。
- (3) 医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する
- (4) リスクマネージャーへの支援を行う
- (5) 医療安全対策の体制確保のため他部署・外部との連携を図る
- (6) 医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画・実施する
- (7) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者様・ご家族の相談に適切に応じる体制を支援する

3. 医療安全カンファレンスの開催状況と内容

令和 6 年度の開催状況（毎月曜日週 1 回程度、合計 47 回開催）

- ・インシデント・アクシデント事例の報告、検討
- ・組織横断的な調整とその報告
- ・パニック値に関する取り決め
- ・無断離院時の対策の検討
- ・NPPV と人工呼吸器のアラーム管理について報告・検討
- ・DNAR の習得について
- ・看護部要注意注射・医療安全取り決め事項の看護師等は実施しないものに記載されている薬品についての運用の検討

- ・輸血時のカリウム除去フィルター使用に関する周知について、マニュアルの作成
- ・医療マニュアルの改正についての検討
- ・研修会の開催企画、承認、評価
- ・データ分析の報告
- ・院内死亡事例の報告、検討
- ・肝炎陽性患者の対応方法及び、肝炎対策チームの立ち上げと活動報告
- ・医療安全管理加算に関わる地域連携相互ラウンドについて
- ・硬膜外麻酔用カテーテルセットの接続方法及び、接続外れの対応について
- ・医療事故調査委員会の開催と調査報告
- ・当院における「予期せぬ死亡事例」への対応について
- ・t-PA 治療のガイドライン変更にともない、運用方法の検討
- ・発熱外来の運用手順の変更について
- ・死亡事例の検討、嚥下チームカンファレンスに参加し対応策検討
- ・中止処方薬の取り扱いと、中止処方箋の運用について検討
- ・身体抑制マニュアルの改訂について
- ・朝顔ネットの公開権限について検討(公開手続きが出来る職員の調整と指導、マニュアル整備)

4. 改善計画書の立案及び評価

医療安全に関わる改善事項を計画書として立案し評価する。

- ・医療安全管理指針の改定
- ・医療安全マニュアルの改訂
(訪問看護ステーション統合に伴う改訂)
(MRI 安全管理委員会・身体抑制最小化チーム・せん妄・転倒転落チーム
窒息誤嚥予防チーム設置に伴う改訂)
「事故発生の報告」「人工呼吸器」「転倒転落」等の改訂
- ・ハンドオフシートの見直し
- ・せん妄リーフレットの見直し
- ・T-SPOT 検体の取り扱い
- ・院内自殺未遂患者の対応フローチャートの作成
- ・逝去時のチェックリストの見直し
- ・身体抑制マニュアルの見直し
- ・パニック値に関する取り決めについて(報告方法の見直し)

5. 院内ラウンドの実施

医療安全管理者の院内ラウンド

医療安全部構成員の院内ラウンド

6. 医療安全情報の発行

医療安全情報配布 2回

気づき新聞の発行(リスクマネージャー会) 12回

転倒転落新聞配布 1回

7. リスクマネージャー会および医療安全管理委員会等の開催

毎月、第4水曜日に開催(合計12回開催)

各小グループのミーティング(不定期開催)

8. 院内研修会

新規採用職員対象研修	2回開催
医療安全管理委員会主催研修会	2回開催
医療機器安全管理委員会主催研修会	6回開催
放射線障害防止委員会主催研修	1回開催
報告書確認対策チーム主催研修	1回開催
透析機器安全管理委員会主催研修	1回開催

9. その他

令和6年度のインシデント・アクシデント数の集計

(1) 事故の危険度（レベル）×概要（ポジティブ含む）

概要×レベル	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3a	レベル 3b	レベル 4a, 4b	レベル 5	合計
薬剤	54	117	17	4	1	0	0	193
輸血	1	3	3	0	0	0	0	7
治療・処置	20	28	9	8	5	0	1	71
ドレーン・チューブ	3	20	21	15	0	0	1	60
検査	32	56	25	1	0	0	0	114
療養上の世話	12	66	15	27	3	0	0	123
医療機器等	18	20	1	0	0	0	0	39
転倒転落	4	218	56	15	11	0	0	304
その他	18	46	33	13	7	0	2	119
合計	162	574	180	83	27	0	4	1030

(2) 事故の危険度（レベル）×発生月別

発生月×レベル	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3a	レベル 3b	レベル 4a, 4b	レベル 5	合計
4 月	13	35	15	2	2	0	0	67
5 月	24	46	4	8	4	0	1	87
6 月	19	46	15	9	2	0	0	91
7 月	9	50	15	4	3	0	0	81
8 月	18	38	11	8	0	0	0	75
9 月	20	51	10	9	3	0	0	93
10 月	17	34	9	6	1	0	1	68
11 月	12	32	10	8	4	0	0	66
12 月	7	63	17	4	1	0	2	94
1 月	10	65	28	6	1	0	0	110
2 月	6	56	19	9	1	0	0	91
3 月	7	58	27	10	5	0	0	107
合計	162	574	180	83	27	0	4	1030

感染防止対策室

室 長：永江 徹也（高島市民病院長、感染防止対策室長）

構成員：内田 泰樹（呼吸器医師）

清家 美香（感染防止対策室専従、感染制御実践看護師）

今井 幹子（薬剤センター）

中島 正次（臨床検査センター）

川島 枝梨菜（医事課）

令和 3 年 6 月に病院内の感染対策管理のため感染防止対策室が設置されました。また、高島地域の中核病院としての感染症対応の役割を果たすため、令和 3 年 7 月より感染防止対策加算 1 を取得、マキノ病院・今津病院及び高島市医師会・高島保健所と連携をはかり、高島地域における感染症対策ネットワークを構築しています。また、令和 6 年度の診療報酬の改定により、病院だけでなく、介護報酬改定により、介護施設との連携を行うこととなりました。

1. 業務内容

- 1) 院内サーベイランス業務
- 2) 病棟ラウンド
- 3) 抗菌薬の使用状況確認
- 4) 感染対策マニュアルの作成及び監査、改定
- 5) 院内感染防止のために必要な職員教育を行うこと
- 6) 病院各部門との連携
- 7) 高島医師会・高島保健所との連携

2. 合同カンファレンスの企画・開催

診療報酬で定められている年 4 回のカンファレンス実施に向けて、高島医師会と高島保健所とともに会議開催や今後の方針についての対応を協議しました。

3. 院内感染対策向上加算施設との感染症対策訓練

11 月 14 日 感染症診察室のゾーニング研修を実施しました。（参加者 28 名）

4. 看護部教育研修

各部署との連携して研修会を実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
10	29	看護職員・研修医	輸液における血流感染について（実技研修）	臨床初期研修プログラム 責任者・清家	23
11	7				17
2	4	看護補助者	感染研修ゲーム Save	補佐会・清家	15
	7				

5. 院内実習前感染対策研修会の開催

職場体験をする学生に向けて、感染対策についてをテーマに研修会を実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
10	29	湖西中学校 2 年生	職場体験をする前に～今からできる感染対策～	清家	2
11	8	安曇川中学校 2 年生	職場体験をする前に～今からできる感染対策～	清家	4

6. 湖西地域・感染症対策地域ネットワーク事業の実施

マキノ病院、今津病院の感染担当看護師、高島保健所の感染対策担当保健師とともに感染症対策地域ネットワークの運営及び介護施設への出前講座や住民啓発の研修を企画・実施しました。

会議

	日時	場所	内容	参加者
第 1 回	5 月 23 日	高島市民病院	情報交換、今年度の研修について	清家
第 2 回	8 月 11 日	今津病院	情報交換、研修会の内容について検討及び役割分担	清家

第3回	11月14日	高島市民病院	情報交換、研修会の資料提供及び流れの確認	清家
第4回	3月14日	高島保健所	情報交換、次年度に向けて	清家

出前講座

月	日	場所	内容	担当者	参加人数
9	5	特別養護老人ホーム	感染対策の基本と手洗い実（外国人施設職員向け）	清家	17

住民啓発

月	日	場所	内容	担当者
8	25	ふじのきホール	市制20周年しあわせにつながる元気プラスフェスタ 住民向けの手洗いチェッカー体験	清家

7. 滋賀県より依頼

今年度より滋賀県感染制御ネットワーク運営委員会メンバーとなり、滋賀県における感染対策の研修を企画・実施しました。

介護施設感染制御リーダー（Shiga HAI-NET）養成研修 圏域研修

月	日	場所	内容	担当者	参加人数
10	10	特別養護老人ホーム	講義・施設ラウンド・ゾーニングなど	清家	8

看護職員感染対策研修会

月	日	場所	内容	担当者	参加人数
7	23	滋賀県庁	接触感染予防策、正しい防護具の着脱実技	清家	27

地域医療支援部

1、地域医療連携室 看護師1名 事務員3名（1名兼務） 室長 柳森 和人

地域医療支援病院としての地域医療の中心的役割を担う

地域医療連携推進法人・滋賀高島の地域連携部会で診察・検査依頼書の統一様式を作成し運用を開始した。令和6年度紹介率は82.4%、逆紹介率は96.2%、開放型病床の稼働率は26.7%、訪問診療は0回、前方連携である転院調整は59件（内訳：転入51件・転出8件）であった。医療機関と介護保険施設等の連携強化が診療報酬改訂によって評価するよう見直され、ふじの里・なごみの家・しょうぶ苑・陽光の里と月1回それぞれとカンファレンスを開催し患者情報や連携での課題等を共有している。連携施設から入院を受け入れると入院時に協力対象施設入所者入院加算（200点）が算定でき、令和6年度は26件であった。

2、入退院支援室 看護師3名 MSW3名 室長心得 橋本 美咲

入院退院支援体制の強化と充実

患者・家族が安心して入院生活を送り、円滑に在宅や施設等へ移行できるよう、多職種連携による入退院支援を行っている。本年度は早期介入、地域との連携強化を重点課題として活動した。入院前支援早期介入のため、入院前（予約）の情報収集件数は975件（+122）、外来段階からの予約枠が拡大している。また病棟より退院支援計画書提出は1961件提出あり、入退院支援加算1算定実績1166件（+161）と増加した。今後高齢独居患者の退院調整の複雑化や、地域資源対応の課題も明らかであるため、地域と病院が一体となり切れ目のない医療・介護連携を推進していく。

3、患者相談支援室 看護師1名 MSW1名 室長心得 大塚 初美

相談支援体制の充実

在宅療養支援部が新たに組織化されたのを機に、外来－在宅療養支援部－患者相談支援室で月2回カンファレンスを開催、患者情報や地域課題の共有を行い外来支援体制の強化に努めている。がん患者サロン「ほっと湖西」はCIVID-19が令和5年度に5類感染症と位置づけられ対面での開催を再開、令和6年度は病院職員によるミニ講座を3回開催した。年度の途中でMSW1名が退職したため看護師とMSWの2名体制となった。

【資格・研修講師派遣】

がん相談員基礎研修受講一岡田

入退院支援にかかる病院・介護支援専門員合同研修会「外来連携について」坪井

高島市医療連携ネットワーク運営協議会「レスパイト入院について」坪井

健診室

室長 澤田 さよ子

健診室は、高島市民や高島で働く方々の保健・医療のニーズに応えていくとともに、自身の健康状態を知り、病気を引き起こす可能性のある危険因子を早い段階で見つける予防医療の役割を担っています。

令和6年度の健診では、協会けんぽの付加健診対象者が拡大され（40歳、50歳→40歳から70歳まで5歳毎で対象）、対象年齢が3倍になりました。そのため腹部エコーや呼吸機能検査などが増加し増収につながることでありました。一方で健診内容との兼ね合いによりコースの組み立てが難しくなり、検査数の限度などから希望の日程に添えないこともありました。また、後期高齢者特定健診も対象者を拡大され、医療機関を受診中の方や要介護認定を受けている方も対象となりました。このことにより後期高齢者特定健診受診者は2倍に増加しました。

オプションについては、腫瘍マーカー検査について、項目毎にまとめセット化することによりわかりやすくなり、また申し込みやすくなったのではないかと考えます。

健診の閑散期に当たる4・5月、3月に対象者を絞って期間限定割引（2000円の減額）を実施し、年度初めと終わりの健診への分散化を図りました。利用人数は少なく、分散化とはなりませんでした。引き続き取り組んでいき、健診日を有効に運用したいと思います。

今後も受診者様が安心して安全に健診を受けることができるよう、また次年度以降も当健診室を利用して頂けるようプライバシーに配慮し、きめ細やかで丁寧な対応を心掛けていきます。

病院総務課

課長 辻 信孝

病院総務課は、職員の人事、給与、福利厚生、庶務を主とする総務事務のほか、管理運営会議その他の各種会議の管理や、公用車の管理運用、院内託児所・病児保育室の運営、病院の防災・危機管理等々、幅広い業務を所管しています。常に他の部署との連携を密にして、病院経営が円滑に行われることを念頭に事務に取り組んでいます。

<主な取り組み内容>

- ・医師、看護師および薬剤師確保の取り組み

看護師および薬剤師確保のため、修学資金制度を活用し、年間を通じ人材確保に取り組みしました。特に、看護師確保対策として、看護大学、専門学校の訪問、実習の受け入れ、専門学校への講師派遣等を精力的に行い、年度中採用および令和7年4月採用の看護師・助産師9人を確保しました。また、修学資金の貸与を経て、令和7年4月採用の薬剤師1人を確保しました。

加えて、令和7年4月からの採用試験を経て入職する看護師、助産師を対象とした就業支度金制度を復活させ、更なる人材確保に取り組めます。

- ・研修医確保の取り組み

臨床研修病院合同説明会（オンライン開催）への参加や、随時実施している病院見学希望者の受け入れ等により研修医確保に取り組み、令和7年4月採用の臨床研修医2人を確保しました。

- ・災害時の適切な対応に向けての取り組み

災害時の職員用非常用飲料水・食料の備蓄について、令和４年度から４年計画で整備することとし、令和６年度は飲料水、食料（ご飯、パン）を整備しました。

所掌事務

- ・職員の人事、給与および勤務条件に関すること。
- ・職員の保健衛生および安全管理に関すること。
- ・職員の研修に関すること。
- ・職員の福利厚生に関すること。
- ・宿舎への入退去等に関すること。
- ・臨床研修医等の研修の受入れに関すること。
- ・公務災害の手続に関すること
- ・市町村職員共済組合に関すること。
- ・職員組合に関すること。
- ・文書の收受、発送および保管に関すること。
- ・文書法規に関すること。
- ・公印の保管に関すること。
- ・管理運営会議その他の各種会議に関すること。
- ・総合案内に関すること。
- ・自動車の管理運用に関すること。
- ・寝具および洗濯業務に関すること。
- ・図書に関すること。
- ・院内託児所業務に関すること。
- ・病児保育業務に関すること。
- ・病院の防災および危機管理に関すること。
- ・他課に属さない事務に関すること。

経営統括課

課長 一井 恒伸

経営統括課は、医療機器や診療材料の購入、病院ホームページの管理、広報紙の発行、病院施設の維持管理のほか、予算・決算などの財務会計を所管し、経営の効率化と持続可能な病院運営の確立に取り組んでいます。

令和６年度は、CT撮影装置や多項目自動血球分析装置を更新するなど、安心・安全の医療提供体制を確保するため、計画的に医療機器を整備しました。

また、大型修繕では、老朽化した健診棟エレベーターを改修し、利用者の安全と施設の適正な維持管理に努めました。

その他、給与費や物価の高騰など厳しい外部環境が続く中、令和６年度から令和９年度を計画期間とする「高島市民病院経営強化プラン」に基づき病院経営の健全化に取り組みました。

<主な取り組み内容>

- ・計画的な医療機器の整備
- ・適切な施設の維持管理
- ・高島市民病院経営強化プランの実行

所掌事務

- ・病院事業に係る企画および調整に関すること。
- ・総合調整および他機関との連絡調整に関すること。
- ・医療機器の整備および購入に関すること。
- ・不用物品の処分に関すること。
- ・調査、統計および広報に関すること。
- ・その他企画、広報に関すること。
- ・警備取締りに関すること。

- ・電話交換業務に関すること。
- ・土地、建物および宿舍の維持管理に関すること。
- ・土地、施設の管理、整備および営繕に関すること。
- ・施設の整備および維持管理に関すること。
- ・清掃に関すること。
- ・医療廃棄物等廃棄物の処理に関すること。
- ・駐車場の管理に関すること。
- ・院内の売店運営に関すること。
- ・医薬品およびその他の物品の購入および検収に関すること。
- ・医薬品およびその他の物品の出納および保管に関すること。
- ・物品倉庫の管理に関すること。
- ・病院事業の予算および決算に関すること。
- ・公金の収納または支払に関すること。
- ・公金の保管に関すること。
- ・窓口の現金収納事務に関すること。
- ・財務諸表の作成に関すること。
- ・企業債および一時借入金に関すること。
- ・資金計画および財政計画に関すること。
- ・出納取扱金融機関に関すること。
- ・資産管理に関すること。
- ・その他財務会計に関すること。

医事課

課長 柳森 和人

医事課の業務は受付・案内業務、病院収入の源である診療費の計算・保険請求業務、施設基準に関する業務、債権管理業務、また、貴重な診療情報を扱う業務としてシステムおよびカルテの管理業務、診療情報の開示業務、がん登録業務、診療統計業務と多岐にわたります。

令和6年度は、DPC対象病院としての取り組み、保険請求業務および未収金管理業務を主な取り組みとし、適正に行いました。

<主な取り組み内容>

- ・DPC対象病院としての取り組み

DPC対象病院として平成28年度より運用を開始し、日々の業務として診療内容とコーディングの整合性の確認やDPC点数と出来高請求の比較を実施しました。

また、適宜抽出した症例の診療内容とコーディングについて、DPCとコーディング委員会ならびに医療総合検討会において協議・検討し、コーディングの適正化を図りました。

- ・保険請求業務

医事業務の中心となる保険請求業務では、レセプト査定額の削減と請求漏れを防止するため、審査機関からの審査結果を分析し、その内容を関係者に周知しています。令和6年度は査定率0.2%以内の目標に対しまして、入院0.33%、外来0.16%という結果になりました。

- ・未収金管理業務

未収金担当と総合受付、計算、会計窓口ならびに入院担当が連携することで、いち早く支払が困難な患者様と接触し、支払相談を実施するなど未収金の発生防止に努めてきました。

また、過年度の回収が困難な未収金については、回収業務を委託している法律事務所と連携し、収納実績を上げています。

<新たな施設基準届出>

- ・医療DX推進体制整備加算
- ・歯科外来診療医療安全対策加算2
- ・歯科外来診療感染対策加算4
- ・協力対象施設入所者入院加算

- ・口腔細菌定量検査
- ・有床義歯咀嚼機能検査 2 の口及び咬合圧検査
- ・ストーマ合併症加算
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
- ・外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- ・歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- ・入院ベースアップ評価料 6 4

所掌事務

- ・診療報酬請求の分析と管理に関すること
- ・医療事務委託業者の管理および指導に関すること
- ・レセプトオンライン請求に関すること
- ・へき地診療に関すること
- ・朽木診療所に関すること
- ・医業未収金に関すること
- ・妊婦健診・予防接種等の請求に関すること
- ・D P C 対象病院に関すること
- ・感染症サーベイランスに関すること
- ・感染症の届出に関すること
- ・助産施設の届出に関すること
- ・診療録の開示に関すること
- ・医療情報システムの管理に関すること
- ・診療データに関すること
- ・病歴管理に関すること
- ・院内がん登録に関すること
- ・診療統計に関すること
- ・施設基準その他の許認可等に関すること

朽木診療所

所長 西田 早矢

朽木診療所は、国民健康保険高島市朽木診療所として、主に朽木地域における総合診療を担ってまいりました。平成 29 年 4 月からは高島市民病院朽木診療所として引き続き地域医療を提供しています。

朽木診療所では、外来(僻地)診療、訪問診療、往診が主な業務です。朽木地域には調剤薬局がないため、内服薬の処方院内で賄っています。また、地域の保健・福祉の関係機関と連携し、予防医療や健康増進に向けた取り組みにも参画しています。

今後も地域住民の健康を支えていけるよう取り組んでまいります。

[令和 6 年度 診療実績]

○外来延患者数	：	3,925 人
○往診・訪問診療	：	132 件
○在宅看取	：	2 件
○施設看取	：	0 件
○特定健診	：	88 件
○大腸がん検診	：	19 件
○予防接種	：	合計 473 件
(内訳)		
・小児各種予防接種		9 件
・インフルエンザ		
一般（小児含む）		21 件

高齢者	261 件
・コロナワクチン	141 件
・肺炎球菌ワクチン	13 件
・その他予防接種	28 件
○各種検査	合計 438 件
(内訳)	
・レントゲン撮影	191 件
・心電図	88 件
・腹部エコー	95 件
・心エコー	38 件
・胃カメラ	26 件

在宅療養支援部 訪問看護ステーション

部長 武内 美英子
 所長 中村 芳美

訪問看護ステーションは、看護師 13 名、理学療法士 1 名、事務職 1 名の 15 名で訪問看護サービスを提供しています。24 時間対応体制を設け、24 時間 365 日、電話相談や緊急の訪問看護に対応しています。

令和 6 年度の総訪問件数は 8,821 件で、看護 7,856 件、リハビリテーション（令和 6 年 5 月開始）965 件でした。うち緊急訪問は 423 件で全体の 4.8%でした。理学療法士による専門的なリハビリテーションの開始により、昨年度より総訪問件数は 998 件増加しました。

また、認知症対応型グループホームとの医療連携や医療的ケアが必要な児童生徒の学校訪問や通学支援への看護師派遣など受託事業にも取り組みました。

利用者様の QOL 向上を目指し、多職種と連携強化を図り、質の高いサービス提供を効果的・効率的に行うため取り組んでいきます。

(1) 令和 6 年度 月別訪問件数

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
看護	医療保険	175	195	148	183	162	174	233	197	200	147	152	196	2,162
	介護保険	469	480	468	526	503	477	527	452	469	438	426	459	5,694
リハ ビリ	医療保険	－	7	15	28	24	26	26	31	28	24	22	30	261
	介護保険	－	29	35	54	59	72	82	73	81	64	75	80	704
合 計		644	711	666	791	748	749	868	753	778	673	675	765	8,821

(2) 令和 6 年度 月別緊急訪問件数

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
看護	営業時間内	11	9	18	15	17	16	18	14	15	10	9	8	160
	営業時間外	24	28	21	21	18	17	25	16	32	18	18	25	263
合 計		37	39	36	35	33	43	30	47	28	27	33	423	811

(3) 令和 6 年度 受託事業

●グループホーム医療連携体制事業

認知症対応型グループホーム「Be スマイルあど川」「Be スマイル新旭」の 2 施設への訪問
 （訪問回数）1 施設につき週 1 回

●高島市立学校看護師派遣事業

対象児童：1 名（新旭南小学校 4 年生）の学校生活支援
 （利用回数）週 3 回

●医療的ケア児童生徒の通学支援に係る保護者支援事業

対象児童：5 名（新旭養護学校 小学部：2 名・中等部：1 名・高等部：2 名）の通学支援
 （利用回数）年間 1 人につき 12 回

2. 委員会活動状況

管理運営会議

委員長 武田 佳久

委員	西川 彰	岡本 剛	永江 徹也	谷口 晋	内田 泰樹	伊東 正文	千野 佳秀
	安藤 武	中島 研郎	木上 裕輔	川人 道夫	福田 直美	岡田 裕子	水谷 清美
	中井 正紀	武内 美英子	奥野 直久	井上 昌司	一井 恒伸	辻 信孝	

目的

- (1) 病院の管理運営基本方針に関する決定
- (2) 病院の主要施策及び主要事業の計画・調整に関する決定
- (3) 病院管理運営の基幹的制度の制定及び改廃に関する決定
- (4) 管理運営会議で決定した事項ならびに重要な事業の執行状況に関すること
- (5) 会議・委員会報告の決定・承認に関すること
- (6) その他病院の管理運営上病院長が必要と認めること

協議事項等

- ・ 管理運営会議等の日程について
- ・ 各種会議・委員会の見直しおよび名簿の作成について
- ・ 職員の名札について
- ・ 令和5年度病院事業決算について
- ・ 市内開業医への訪問について
- ・ 年末年始の救急外来診療体制について
- ・ 医師の休暇等の掲示板での周知について
- ・ 施設基準新規取得分析について
- ・ 職員必携手帳の見直しについて
- ・ 介護老人保健施設「陽光の里」の介護医療院への一部転換について
- ・ コロナワクチンについて
- ・ 院内研究発表会について
- ・ 令和7年度整備予定の医療機器について
- ・ 外来化学療法室の機能維持について
- ・ 看護師等就業支度金貸与制度について

人権推進・倫理委員会

委員長 武田 佳久

委員	永江 徹也	福田 直美	岡田 裕子	齊藤 満	中島 正次	吉水 翔子	武内 美英子
	奥野 直久	一井 恒伸	大塚 初美	辻 信孝	森脇 博(院外委員)		

目的

- (1) 差別のない明るい職場作りを構築するための基本となる施策に関すること
- (2) 人権問題に関すること
- (3) 倫理に関すること
- (4) 人権学習会に関すること
- (5) その他委員会が必要と認める事項

協議事項等

- ・ 緊急整備固定加算および緊急挿入加算取得のための、日本脆弱性骨折ネットワークレジストリへの症例登録
- ・ 滋賀県高島市における循環器疾患の罹患率と生命・機能予後に関する研究

- ・滋賀県における生活習慣病の発症要因に関するコホート研究
- ・疫学調査「口腔がん登録」への参加について
- ・主体的に出産に関与したととらえることができる出産体験
- ・視点反応・眼球運動のデジタルフェノタイプと認知機能との関連解析
- ・腹腔鏡下総胆管結石除去術の多施設共同症例登録研究
- ・キャノンメディカルシステムズ株式会社製 CT 装置により撮影された臨床データの収集
- ・滋賀県周産期死亡調査
- ・冠動脈ステント留置後の外科手術周術期におけるアスピリン継続の有用性を検証する多施設ランダム化比較試験

医療安全管理委員会

委員長 武田 佳久

委員 永江 徹也 安藤 武 木上 裕輔 福田 直美 水谷 清美 武内 美英子 中井 正紀
高橋 有和 齋藤 満 奥野 直久 一井 恒伸 柳森和人 藤縄 大志 長濱 崇 井上 将行
清家 美香 村田 晶 (R6 年 4 月～9 月) 薬師川 ひとみ 橋本 一希 (R6 年 10 月～)
木下 正太 (R6 年 10 月～)

リスクマネージャー

谷口 晋 朝日 留美 郡 嘉代子 久保田 真 中村 大介 栗津 裕美子 水田 朱香
安部 美津子 末永 真由美 橋本 美咲 河野 真 濱田 薫子 竹林 亜弥香 西川 敬浩
松本 友里恵 藤縄 大志 芝山 智子 足立 昌人 薬師川 ひとみ 村田 晶 (R6 年 4 月～9 月)
木下 正太 (R6 年 10 月～) 橋本 一希 (R6 年 10 月～)

透析機器安全管理委員会

永江 徹也 長濱 崇 藤縄 大志 安部 美津子 村田 晶 (R6 年 4 月～9 月)
薬師川 ひとみ 木下 正太 (R6 年 10 月～) 橋本 一希 (R6 年 10 月～)

医療機器安全管理委員会

高橋 宏明 長濱 崇 河野 真 中島 正次 井上 将行 薬師川ひとみ
村田 晶 (R6 年 4 月～9 月) 木下 正太 (R6 年 10 月～) 橋本 一希 (R6 年 10 月～)

医薬品安全管理委員会

永江 徹也 中井 正紀 濱田 薫子 朝日 留美 薬師川 ひとみ
村田 晶 (R6 年 4 月～9 月) 木下 正太 (R6 年 10 月～) 橋本 一希 (R6 年 10 月～)

放射線障害防止委員会・MRI 安全管理委員会

木上 裕輔 齋藤 満 井上 将行 末永真由美 薬師川 ひとみ
村田 晶 (R6 年 4 月～9 月) 木下 正太 (R6 年 10 月～) 橋本 一希 (R6 年 10 月～)
一井 恒伸 衣川 はるか

報告書確認対策チーム

武田 佳久 木上 裕輔 安藤 武 井上 将行 秋永 佳那 薬師川 ひとみ
村田 晶 (R6 年 4 月～9 月) 木下 正太 (R6 年 10 月～) 橋本 一希 (R6 年 10 月～)

身体抑制最小化チーム・せん妄転倒転落対策チーム

高橋 有和 岡田 裕子 水谷 清美 白井 頌子 河原田 勝也 郡 嘉代子
久保田 真 竹田 明美 濱田 薫子 薬師川 ひとみ 木下正太 橋本 一希

窒息誤嚥予防チーム

福沢 綾子 高橋 有和 桐澤 知子 土肥志のぶ 家守 秀知 小野田 悠希
梅村 美佐希 上原 珠美 横田 美奈子

目的

- (1) 医療安全管理委員会の開催および運営
- (2) 医療に係る安全確保を目的とした報告で得られた事例の発生原因、再発防止対策の検討および職員への周知
- (3) 院内の医療事故防止活動および医療安全に関する職員研修の企画立案
- (4) その他、医療安全の確保に関する事項

協議事項等

- ・リスクマネージャー会議の報告
- ・月別事故報告のまとめ
- ・令和6年度の事故報告のまとめ
- ・委員会内規の作成
- ・令和6年度 年間計画
- ・令和6年度 医療安全研修会（eラーニング）の実施、受講率の集計
- ・医療安全マニュアルの改正
- ・医療安全ラウンドの実施と結果報告、検討
- ・医療巡視の実施と結果報告、検討
- ・ポジティブインシデントの報告と集計
- ・医療安全推進週間の取り組みの検討
- ・患者間違い事例の共有、対策の検討
- ・インシデント・アクシデントの個別分析の報告、検討
- ・令和6年度の医療安全研修会の企画、検討
- ・医療安全情報の共有
- ・医療機器安全管理委員会報告
- ・透析機器安全管理委員会報告
- ・医薬品安全管理委員会報告
- ・MRI 管理委員会報告
- ・放射線障害防止委員会報告
- ・報告書確認対策チーム報告
- ・身体抑制最小化チーム報告
- ・せん妄・転倒転落対策チーム報告
- ・窒息誤嚥予防チーム報告
- ・職員の医療安全管理者研修の受講
- ・院外研修の案内

【透析機器安全管理委員会】

開催 月 1 回

活動内容 透析液清浄化管理報告、学習会の開催（院内研修会参照）など

【医療機器安全管理委員会】

開催 月 1 回

活動内容 厚生労働省通達の自主回収の報告や各部署からの日常点検報告
学習会の開催（院内研修会参照）など

【医薬品安全管理委員会】

開催 年 2 回

活動内容 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成
学習会の開催など

【放射線障害防止委員会】

開催 年 1 回

活動内容 診療用放射線に関する情報収集、放射線診療従事者への伝達および病院管理者等への報告
診療用放射線の利用に係る完全な管理のための研修の実施など

【報告書確認対策チーム】

開催 月 1 回

活動内容 各部門における報告書管理の実施状況の評価など
報告書管理を目的とした院内研修の実施

【せん妄転倒転落チーム】

開催 月 2 回

活動内容 せん妄や転倒転落を防止するため、せん妄や転倒転落に関わるカンファレンスや
病棟ラウンドの実施

【身体抑制最小化チーム】

開催 月 2 回

活動内容 身体抑制の実施状況を把握し、最小化を図るためのカンファレンスを実施

身体抑制最小化チーム指針の作成、身体抑制最小化に関する研修の実施

【窒息・誤嚥予防チーム】

開催 週 1 回

活動内容 チームメンバーによるラウンドを週 1 回程度と会議を月 1 回実施
誤嚥・窒息のリスクの高い患者を多職種でカンファレンスを実施する

院内研修会

【医療安全研修会一覧：e ラーニング】

日程	内容	参加数
2024 年 5 月 15 日～ 2025 年 1 月 31 日	「 離床キャッチ研修 」	207 名
2024 年 9 月 4 日	「 モニターとアラームについて 」(集合研修)	14 名
2024 年 10 月 8 日	「 チームステップス研修 」(集合研修 3 回)	33 名
2024 年 10 月 16 日～ 2024 年 11 月 30 日	ネーザルハイフロー「Airvo2」 ネーザルハイフロー「Airvo2」 集合研修計 5 回	151 名 90 名
2024 年 12 月 3 日～ 2025 年 2 月 28 日	「 患者誤認防止研修」	331
2025 年 1 月 17 日～ 2025 年 2 月 20 日	「 MRI 安全管理講習 」	169 名
2025 年 1 月 21 日～ 2025 年 2 月 28 日	「 モニターアラームについて 」	156 名
2025 年 1 月 21 日～ 2025 年 2 月 28 日	「 閉鎖式保育器について 」	148 名
2025 年 2 月 19 日～ 2025 年 4 月 1 日	「モナールの使用方法について 」	140 名
2025 年 3 月 13～	「 インシデントレポートビデオ学習会 」	327 名

【診療用放射線に係わる安全管理のための職員研修：e ラーニング】

日程	内容	参加数
2025 年 2 月 13 日～3 月 19 日	「 診療用放射線の安全管理研修 」	108 名

【報告書確認対策に係わる安全管理のための職員研修：e ラーニング】

日程	内容	参加数
2025 年 1 月 31 日～2 月 28 日	「 画像診断報告書の確認不足への対応」	137 名

その他

【せん妄・身体抑制研修】

日程	内容	参加数
2024 年 7 月 2 日 (集合研修)	「 リスペリドンとクエチアピンについて」 「せん妄指示について 」	46 名

【新規採用職員対象医療安全研修】

日程	内容	参加数
2024 年 4 月 1 日	新規採用職員オリエンテーション	28 名
2024 年 4 月 2 日	看護部新人看護職員研修	15 名

救急医療対策・災害対策委員会

委員長 伊東 正文

委員 谷口 晋 高橋 有和 福沢 綾子 金山依玲奈 宇田 洋海 西川 慶輔 山崎 朋子
橋本 祐樹 嶋津 拓夢 木津 真咲 武政 優紀 木下 貴長 井上 将行 竹内 優子
船木 克哉 吉田 佳祐 上原 珠美 奥野 直久 竹内美英子 横辻 敦子 渡邊 温士
松井 宏彰 奥谷 豊弘 中村 孝

目的

- (1) 救急医療体制に関する調査研修
- (2) 救急医療に伴う医療体制・医療機器等の調整・改善に関すること
- (3) 防災計画の策定及び改廃に関すること
- (4) 災害時の診療体制の整備、方針に関すること
- (5) 防災諸規定の整備に関すること
- (6) 防災設備の改善及び強化に関すること
- (7) 防災訓練に関すること
- (8) 防災教育及び広報に関すること

協議事項等

- ・令和6年度救急、災害対策各種訓練、研修の担当者割り当てとスケジュールについて
- ・患者用備蓄食品購入計画＋職員用備蓄食品購入計画について
- ・災害備蓄倉庫の現況と課題、整備点検について
- ・総合防災訓練の実施について
- ・原子力災害医療訓練について
- ・災害時アクションカードの改定案について
- ・職員必携手帳見直しについて
- ・業務継続計画の見直しについて

令和6年度 各種研修会等活動実績

研修等の名称	対象者	日程	参加者
BLS 研修	新任職員	4/8	19 人
病院での災害医療を学ぼう (トリアージタグ [®] 記入方法)	全職員	8/9	19 人
1 次・2 次トリアージ研修	全職員	9/29・10/1	29 人
災害時通信訓練	事務職員	10/25	0 人
搬送訓練＋避難経路訓練	全職員	10/3	6 人
備蓄倉庫の備品点検	担当委員	何回かに分けて実施	委員 4 人
総合防災訓練	全職員	10/27	96 人
消防訓練（通報、初期消火、避難訓練）	全職員	12/6 3/26（託児所）	12 人 7 人
被ばく医療対応研修 ・医療機関での初期対応について の研修動画視聴 ・養生実習 ・防護衣着脱実習	全職員	11/1～11/30e-ラーニング 10/9・10/11 12/2・10/4	30 人 25 人

※ 災対本部机上訓練等については、資料配布(対象者 22 人)を行い研修、訓練とした。

労働安全衛生委員会

委員長 渡邊 武志

委員 武田 佳久 永江 徹也 岡本 剛 杉原 秀樹 高橋 宏明 福田 直美 齊藤 育代
武内 美英子 兼田 加代 北川 浩也 濱田 薫子 岡田 めぐみ 上田 彩希 柳森 和人
辻 信孝 横辻 敦子 衣川 はるか

目的

- (1) 職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること
- (2) 職員の健康保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
- (3) 労働災害の原因・再発防止で衛生に関すること
- (4) 衛生教育の計画作成・実施
- (5) 定期健康診断の結果およびその結果に対する対策に関すること
- (6) 健康障害防止に関すること
- (7) その他委員会が必要と認めたこと

協議事項等

- ・委員会内規確認・副委員長の選出について
- ・労務災害、汚染事故報告
- ・HB ワクチン・麻疹ワクチンの接種について
- ・院内巡視の実施
- ・職員の時間外勤務状況
- ・ストレスチェック実施について
- ・ストレスチェックの実施方法の変更について
- ・職員満足度調査の実施について
- ・職員インフルエンザ予防接種について
- ・職員コロナワクチン接種について
- ・外部被ばく線量の管理状況報告について
- ・組合代表からの報告について
- ・職員の喫煙状況について
- ・職員の禁煙外来の受診勧奨について
- ・病院外施設における汚染事故発生時の対応について

院内感染対策委員会（ICC）

委員長 永江 徹也

委員 武田 佳久 内田 泰樹 奥野 直久 桐澤 知子 福田 直美 中島 正次 木下 貴長
水谷 清美 岡田 裕子 土肥 志のぶ 木村 薫 黒丸 昌美 山極 恵子 齊藤 育代
生駒 晶子 宇田 洋海 家守 秀和 橋本 亜由子 清家 美香

目的

- (1) 院内感染対策指針及びマニュアルの承認
- (2) 院内感染の発生を未然に防止する予防対策に関すること
- (3) 院内感染が発生した場合における救急対策に関すること
- (4) 院内感染に関連し職員の健康管理に関すること
- (5) 院内感染防止のために必要な職員教育を行うこと
- (6) その他委員会が必要と認めること

協議事項

- ・院内感染の発生状況
- ・病棟別感染状況

- ・抗菌薬の使用状況
- ・院内ラウンドの報告
- ・研修会について
- ・マニュアルの改訂

研修会開催

- ・下記のテーマで実施

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
4	1	新入職者	新入職者オリエンテーション	清家	28
	2	新人看護職員	感染症対策について	清家	16
6	27	全職員	「結核研修会」T-スポット検査について	Oxford Immunotec	20
12	26	全職員	梅毒の現状と検査・診断・治療について	シノテスト	12
2	18	全職員	輸血用血液製剤について	滋賀県赤十字血液センター	22

ICT：院内感染対策チーム

医師：渡邊 武志、内田 泰樹、大澤 真（滋賀医科大学附属病院感染制御部）

看護師：宇田 洋海、黒丸 昌美、清家 美香

検査技師：中島 正次、井上 莉奈

薬剤師：今井 幹子

事務：川島 枝梨菜

ICTは院長直属の組織として組織横断的に活動を行い、感染対策を推進する中心的役割を果たします。

院内感染対策の中心的役割を担う必要があり、当院の場合、ICT 担当医師をリーダーとし、看護師長、薬剤師、臨床検査技師、事務、感染防止対策室看護師で構成されています。

令和4年度より、感染防止対策向上加算における連携病院である滋賀医科大学附属病院 感染制御部より非常勤医師が着任され、当院の感染対策について助言をいただいています。

業務内容

- 1) 年間計画の立案、実施、評価
- 2) サーベイランス業務（院内感染の現状把握）
- 3) 病棟ラウンド（病院環境の汚染状況把握、感染症発生時の対応）
- 4) 抗菌薬使用状況の確認
- 5) 感染対策マニュアルの作成および監査、改訂
- 6) 教育（少なくとも年2回程度研修）
- 7) 病院各部門との連携

病院連携

高島地域における感染対策向上加算に登録されている医療機関、高島医師会及び高島保健所とともに年4回の合同カンファレンスを実施しました。また、感染対策向上加算による地域連携加算として近江草津徳洲会病院との相互ラウンドを実施しました。

- ・感染対策向上加算 合同カンファレンス

各施設における「薬剤耐性菌報告」、「抗菌薬使用状況」、「手指消毒使用量」をそれぞれ報告、感染症対策にまつわる検討を行いました。

日時	場所	参加者
5月9日	マキノ病院 会議室	渡邊 武志、中島 正次、井上 莉奈、今井 幹子、清家 美香
8月8日	今津病院 会議室	中島 正次、今井 幹子、清家 美香
11月14日	高島市民病院大会議室	内田 泰樹、中島 正次、井上 莉奈、今井 幹子、清家 美香
2月13日	zoom	山岡 竜也、中島 正次、今井 幹子、清家 美香

- ・感染防止対策地域連携病院 感染相互ラウンド

感染防止対策地域連携施設である近江草津徳洲会病院と相互に1-1 連携医療機関ラウンドを実施しました。

日時	場所	参加者
9月19日	近江草津徳洲会病院	内田 泰樹、中島 正次、井上 莉奈、今井 幹子、清家 美香
11月19日	高島市民病院	内田 泰樹、中島 正次、井上 莉奈、今井 幹子、清家 美香

研修

院内感染対策委員会とともに研修会を実施しました。年2回全職員参加が義務つけられている研修会を実施しました。

(研修内容については、院内感染対策委員会に表記)

AST：抗菌薬適正使用チーム

医師：内田 泰樹、渡邊 武志、大澤 真（滋賀医科大学附属病院感染制御部）

看護師：清家 美香

検査技師：中島 正次、井上 莉奈

薬剤師：今井 幹子

令和4年度より感染対策向上加算1施設において、AST活動が必須となりました。

個々の患者に対して主治医が抗菌薬を使用する際、最大限の治療効果を導くと同時に、有害事象をできるだけ最小限にとどめ、早期に感染症診療が治療できる（最適化する）様に協調的支援を行います。

業務内容

- 1) 早期モニタリング
- 2) 定期モニタリング（AST ラウンド）
- 3) 抗菌薬適正使用マニュアルの作成、定期的な改訂
- 4) 院内採用抗菌薬の定期的な見直し
- 5) 抗菌薬適正使用にまつわる研修の実施

・ラウンド実績（月別 ラウンド実施患者数）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介入人数（継続含む）	28	33	25	41	25	25	26	21	18	27	26	26	321

研修

抗菌薬適正使用にまつわる研修会を企画、実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
10	15	全職員	ワクチン研修会～コロナを中心に～	ファイザー製薬 福隅氏	48

褥瘡対策委員会

委員長 金山依玲奈

委員 伊東 正文 中島 研郎 木村 薫 荒川 貴一 木原 裕美 早藤 徳子 保木 砂樹
北野 真由 本間 莉奈 池田省一郎 森江 三千秋 梅村 美佐希

目的

- (1) 褥瘡発生危険因子と発生状況の把握
- (2) 褥瘡予防及び対策に関すること スキンケアに関すること
- (3) その他委員会の目的達成に必要とすること

活動内容

- (1) 褥瘡対策委員会は別に定める様式による報告を求め、次の事項について企画・立案・調査・審議をする。
 - ・褥瘡リスク患者のアセスメントとケア計画に関する事項
 - ・褥瘡が発生した患者様に対する診療計画に関する事項
 - ・褥瘡及び合併する感染予防の実施・監視・報告に関する事項
 - ・診療報酬点数上の管理、体圧分散寝具の購入、管理に関する事項
 - ・褥瘡予防に係る情報に関する事項
 - ・栄養アセスメントに関する事項
- (2) 月1回定例会議を開催し、問題点の明確化と早急な対応を行う。
- (3) 褥瘡リスク患者のアセスメント、ケア計画、院内褥瘡計画の実態調査を行い、褥瘡保有率、褥瘡

発生率と発生部位を明らかにし、発生原因を追及して、褥瘡発生予防に取り組む。

(4) 毎週月曜日の褥瘡回診により、褥瘡への取り組みが強化できた。

(5) 体交枕、三角枕の更新、下肢枕の新規購入により褥瘡発生予防のための物品整備を行った
開催状況

- ・委員会 毎月第3月曜日開催 12回/年
- ・褥瘡回診 毎週月曜日開催
- ・褥瘡発生時カンファレンス適宜開催

年間推定褥瘡発生率：4.9%

年間有病率平均：7.1%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発生率	1.9	3.5	1.4	1.4	1.7	6.3	2.7	7.3	8.0	8.0	6.1	5.9
有病率	3.3	6.3	4.4	2.4	5.2	10.7	5.4	9.3	8.0	9.2	9.2	11.8

栄養管理・NST 委員会

委員長 高橋 有和

委員 青山 弘幸 徳持 翔太 金岡 智也 坂根 舞波
越野さおり 清水 麻衣 西村 恵 山崎 藍 吉岡 実紀 濱田 薫子
家守 秀和 森脇 絢也 村木 雅哉 棟方 佐織 橋本亜由子 竹林亜弥香

目的

- (1) 入院時食事療養の充実に関すること
- (2) 栄養管理の充実に関すること
- (3) 栄養アセスメントに関すること
- (4) 栄養管理の施行管理に関すること
- (5) その他、委員会の目的達成に必要とすること

開催状況

- ・委員会：毎月1回 (入院時食事療養小委員会 3回/年)
- ・NST ラウンド：毎週1回 (月曜日14：30より) ※NST 加算算定なし

NST ラウンドの報告

介入患者数 36名 (男性21名・女性15名)
平均年齢 81.0歳
平均介入回数 5回

入院時食事療養小委員会報告

環境自主検査の検査方法の検討

研修会

経腸栄養ポンプデモンストレーション

第一回開催 令和6年7月1日 (参加者：18名)
第二回開催 令和6年7月22日 (参加者：11名)

治験委員会

委員長 渡邊 武志
委員 武田 佳久 安藤 武 青山 弘幸 永江 徹也 福田 直美 中島 正次
柳森 和人 中野 信男 木下 貴長

目的

- 1、薬品の製造（輸入）承認申請又は承認事項一部変更承認申請の提出すべき資料の収集のために行う臨床試験
- 2、医薬品の再審査申請、再評価申請又は副作用調査の際提出すべき資料の収集のための市販後臨床試験

R6 年度は委員会開催なし

新規医療技術・医療機器・診療材料検討委員会

委員長 武田 佳久
委員 渡邊 武志 福沢 綾子 内田 泰樹 岡田 裕子 山極 恵子 川合 久和 太田 裕子
棟田 敦 中井 正紀 柳森 和人 一井 恒伸 中村 昌弘 松井 宏彰

目的

- (1) 当院にとって新規の医療技術・医療機器・診療材料について、診療面・看護面・医療技術面・経営面から当院への導入の可否を検討
- (2) 新規医療機器・診療材料の購入に関する審議
- (3) 医療機器・診療材料の有効利用、整備および管理に関すること
- (4) その他医療機器・診療材料に関して必要な事項

協議事項等

- ・令和7年度整備医療機器について
各部署からの要求について審議
令和7年度に整備が必要と考える機器を意見書としてまとめる
- ・令和7年度整備医療機器の決定にかかる今後の予定
- ・医療機器の機種選定について

薬事・輸血委員会

委員長 永江 徹也
委員 大音 泰介 村頭 温（田中 佑治・花田 哲郎） 木下 貴長 生駒 晶子
山口 真有美 川原 春香 柳森 和人 芝山 智子 中島 正次

目的

- (1) 医薬品の採否に関すること
- (2) 医薬品の処方、調剤、補給、製剤に関すること
- (3) ワクチンの保管・管理に関すること
- (4) 輸血業務・血液製剤投与が安全・適正・円滑に行われているか定期的に点検し指導する
- (5) 必要に応じて業務・マニュアルの見直しをする
- (6) 輸血・血液製剤投与事故発生時に適切な対応をするように援助する
- (7) その他、委員会の目的達成に必要なとする事項

協議事項等

- ・医薬品、ワクチンに関する報告
- ・採用依頼、患者指定、院外登録、採用区分変更等の承認
- ・血液製剤の廃棄・キャンセルの報告
- ・血液製剤（RBC, FFP, 血小板）の廃棄率について
- ・血漿製剤・アルブミン製剤の適正使用について
- ・マニュアルの改訂に関する検討
- ・血液製剤の在庫数の検討
- ・輸血講演会開催（医療安全委員会、感染対策委員会、薬事/輸血委員会共同主催）
テーマ「輸血用血液製剤について」 講師：滋賀県赤十字血液センター 藤井 健輔 先生

臨床検査適正化委員会

委員長 高橋 宏明
委員 山路 正之 水谷 清美 八木 美幸 中島 正次 竹内 優子

目的

- (1) 検体検査の精度管理に関する事
- (2) 精度管理事業への参画に関する事
- (3) 保険診療・安全管理の為に適正に臨床検査が実施されているかの確認と指導に関する事
- (4) その他必要な事項

協議事項等

- ・副委員長選出
- ・電子カルテからオーダー可能の外注検査項目の追加
（遊離L鎖κ/λ比 抗ミューラー管ホルモン ポリコナゾール 結核菌 IFN-λ/T-SPOT、TB）
- ・細菌培養感受性試験の薬剤変更
- ・パニック値の報告方法
- ・検査項目の追加及び、報告方法の変更について（追加：LH比 TSAT CA125 変更：FER）
- ・血液培養ボトル出荷調整・解除の報告
- ・血算・凝固分析装置更新とそれに伴うAPTT試薬変更
- ・カリウム吸着フィルター導入とそれに伴う輸血マニュアルの改訂
- ・マイコプラズマ抗原キットの出荷調整
- ・マイコプラズマ抗体半定量（PA法）一時外注受託中止と再開の案内
- ・レジオネラ検出キットの変更
- ・輸血講演会実施（滋賀県赤十字血液センター 藤井 健輔先生）
- ・振興感染症に対する県の助成による網羅的遺伝子検査機器 FilmArray 導入
- ・血中HCG検査 院内導入
- ・機器保守点検
- ・精度管理報告

臨床研修委員会

委員長 高橋 有和

委員 武田 佳久	岡本 剛	市川 正春	永江 徹也	谷口 晋	川人 道夫	伊東 正文
安藤 武	城 文泰	杉原 秀樹	西田 早矢	福田 直美	中井 正紀	辻 信孝
衣川 はるか	高鳥 裕也	安井 大貴	峯森 溪斗	森本 数万	谷口 遼	

目的

- (1) 臨床研修管理に関すること
- (2) 臨床研修プログラム作成、改善に関すること
- (3) 臨床研修医の評価、修了認定に関すること
- (4) 協力型研修病院および協力と施設との連絡調整
- (5) 滋賀医科大学等からの学外実習受け入れについて
- (6) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・ 臨床研修プログラム（令和6年度採用版）について
- ・ 在籍臨床研修医のスケジュールおよび研修状況について
- ・ 令和7年度採用臨床研修医の募集開始について
- ・ 令和7年度採用臨床研修医の応募状況について
- ・ 令和7年度採用臨床研修医の内定者について
- ・ 令和8年度臨床研修医の募集定員について
- ・ C P C の開催について
- ・ 病院見学の状況について
- ・ 臨床研修医の処遇について
- ・ ローテーションの見直しについて
- ・ 卒後臨床研修プログラム責任者講習会の修了について
- ・ レジナビ2025オンラインへの参加について
- ・ 臨床研修病院としての課題について
- ・ 臨床研修委員会への臨床研修医の参加について

委員会実績

- ・ レジナビオンライン滋賀2024・・・令和6年7月21日 オンラインにて合同説明会実施
高橋Dr、安井研修医、峯森研修医、衣川参加
- ・ 滋賀県地域医療フォーラム・・・令和7年3月2日 琵琶湖ホテルにて合同説明会実施
高橋Dr、森本研修医、峯森研修医、衣川参加
- ・ 医大生病院見学対応・・・島根大学、産業医科大学、滋賀医科大学、大阪医科薬科大学、三重大学、
コメニウス大学、京都大学、国際医療福祉大学、宮崎大学、神戸大学 計13
名
医学生・卒業生病院見学の受け入れ

臨床研修管理委員会

委員長 高橋 有和

委員 武田 佳久 永江 徹也 岡本 剛 伊東 正文 谷口 晋 城 文泰 西田 早矢
安藤 武 奥野 直久 衣川 はるか

(協力型病院等より) 森田 豊 栗本 藤基 石田 展弥 藤田 浩平 村上 節 中村 芳美

目的

- (1) 研修プログラムの作成、変更に係る統括管理
- (2) 研修医の採用、中断、終了に係る統括管理
- (3) 指導医の研修指導進捗状況の把握、評価
- (4) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・ 臨床研修医 1 年目・2 年目の研修スケジュールについて
- ・ 令和 6 年度における臨床研修プログラム実施状況について
- ・ 臨床病理検討会（C P C）の実施状況について
- ・ 令和 7 年 4 月 1 日採用の臨床研修医の状況について
- ・ 令和 6 年度臨床研修費等補助金について
- ・ 臨床研修医 2 年目研修医の総括評価・修了判定について
- ・ 令和 7 年 4 月 1 日採用の臨床研修医の採用状況について
- ・ 令和 7 年度研修開始の臨床研修医の 4 月からの研修内容について
- ・ 令和 8 年度募集臨床研修プログラムと募集定員について

専門研修プログラム管理委員会

委員長 伊東 正文

委員 武田 佳久 谷口 晋 大音 泰介 千野 佳秀 中井 正紀 福田 直美 辻 信孝
衣川 はるか

(協力病院より) 下戸 学

目的

- (1) 専門研修プログラムの作成に係る統括管理
- (2) 専門研修プログラムの更新に係る審議
- (3) 研修記録、統括的評価に基づく専門医認定申請のための終了判定
- (4) 次年度の専攻医受け入れ数の決定
- (5) 次年度の専門研修プログラム応募者の採否決定
- (6) 各専門研修施設の指導報告
- (7) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・ 高島市民病院総合診療専門研修プログラムについて
- ・ 令和 6 年度採用専攻医について

地域連携・入院調整委員会

委員長 伊東 正文

委員 宇田洋海 黒丸昌美 土肥志のぶ 木村薫 生駒晶子 橋本美咲 清水一美
高木美由紀 田中郁子 川島枝梨菜 八木美幸
陽光の里 木下宏恵 訪問看護 中村芳美

目的

- (1) 長期入院患者の把握に関する事
- (2) 在院日数の適正化への企画・調整に関する事
- (3) 満床の場合の応需対策、空床の場合の患者確保対策等病床の有効な運用
- (4) 地域連携に関する事
- (5) 地域包括ケア病棟に関する事
- (6) 地域医療支援病院に関する事
- (7) 介護老人保健施設に関する事
- (8) 在宅療養支援部に関する事
- (9) その他、地域連携の推進・委員会の目的達成に必要な事項

情報共有・協議事項等

- ・在宅療養支援部の取り組みについて
- ・協力医療機関との連携強化、協力対象施設入所者加算の新設について
- ・湖西圏域の受入れ体制整備・窓口一本化、ベッドコントロールセンター設置について

ホームページ・広報・図書委員会

委員長 一井 恒伸

委員 高橋 宏明 山岡 竜也 曾根 亜紀 長濱 崇 栗本 あきつ 吉田 枝里 横辻 敦子
奥谷 豊弘 大辻 陸人

目的

- (1) 病院ホームページの維持管理および更新に関する事
- (2) 出版物・広報誌等の企画および原稿収集に関する事
- (3) 地域住民および患者様への広報に関する事
- (4) 院内広報誌の発行に関する事
- (5) 図書室の運営に関する事
- (6) その他、委員会の目的達成に必要な事項

協議事項等

- ・職員向け広報紙「ひろば」の発行（年2回：6月、1月）
- ・高島市広報誌「広報たかしま」について
- ・今年度の活動予定について
- ・図書の年間購読について
- ・広報活動についての報告

委員会実績

委員会実績

- ・患者様向け広報「びょういんだより」の発行→1階総合案内に配置（高島市役所へも配布）：年12回
- ・高島市発行広報誌「広報たかしま」へ原稿提供：年12回
- ・院内向け広報誌「ひろば」の発行：年2回
- ・ホームページの検討・作成・更新：随時
- ・院内購入図書の検討：年1回

患者サービス改善委員会

委員長 徳持 翔太
委員 橋本 美咲 村田 裕子 梅村 美佐希 兼先 勇佑 坂尻 頌伍 木下 連
渡邊 温士 中村 昌弘 中村 孝 柳川 環実 奥谷 豊弘

目的

- (1)意見箱に関すること
- (2)苦情に関すること
- (3)療養環境整備に関すること
- (4)患者サービス改善に関すること
- (5)その他患者中心医療の推進に関すること

協議事項等

- ・委員会の運営について
- ・副委員長の選任について
- ・患者満足度調査について

委員会実績

10月22日～10月27日 患者さま満足度調査実施（入院）
10月23日～10月25日 患者さま満足度調査実施（外来）

個人情報保護委員会

委員長 木上 裕輔
委員 谷口 晋 水谷 清美 黒丸 昌美 清水 一美 柳川 環実 志村 一人 中村 孝
鳥本 菜々子 中村 芳美 大橋 信也

目的

- (1)個人情報保護法に基づく方針に基づく個人情報保護に関すること
- (2)個人情報保護規程に基づく個人情報保護に関すること
- (3)その他個人情報保護に関すること

手術室運営・医療ガス管理委員会

委員長 川人 道夫
委員 岡本 剛 伊東 正文 中島 研郎 村頭 温 田中 翔 桐澤 知子 木村 薫
河原田 勝也 藤野 将稔 宮川 晃也 伊藤 悠平 秋永 佳那 松井 宏彰 山極 恵子

目的

- ・手術実績報告
- ・麻酔科体制について
- ・滋賀医大麻酔科対応時の運用について
- ・麻酔科診察枠について
- ・設備・機器等の保守、点検、修理、更新、新規購入について

放射線障害防止委員会

委員長 木上裕輔

委員 薬師川ひとみ、末永真由美、齋藤満、橋本一希、木下正太、一井恒伸、衣川はるか、井上将行

目的

委員会は次の各号に掲げる項目を目的とし運営する。

1. 放射線安全対策に係る調査、研究に関すること
2. 放射線安全対策に係る教育、指導、訓練に関すること
3. 放射線安全対策関係法令に基づく運用審議に関すること
4. その他委員会が必要と認めたこと

委員会活動（協議事項等）

- 各種線量計の校正、点検実施
- 漏洩線量測定実施
1 回目・・・2024 年 4 月 17 日～7 月 29 日の期間に実施
2 回目・・・2025 年 1 月 15 日～1 月 28 日の期間に実施
CT 装置更新に伴う据付時漏洩線量測定実施・・・2024 年 12 月 3 日（委託先：日機設備）
- 診療用放射線による医療被ばくの線量評価について
据置型デジタル式血管撮影用 X 線透視診断装置、全身用 X 線 CT 診断装置、診療用放射性同位元素について、診断参考レベルを用いて線量評価を実施
- 「放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の利用に係る安全管理の為の研修」実施
対象：放射線業務従事者を含む全職員
方法：e ラーニング研修
期間：2025 年 2 月 12 日（水）～3 月 19 日（水）
総受講者数 143 名
受講者／放射線業務従事者 74 名／88 名 受講率 84%

研修委員会

委員長 福沢 綾子 副委員長 木上 裕輔

委員 川人 道夫 松村 健司 吉田 枝里 安井 公望 横田美菜子 水口 貴良 宮川 晃也
生駒 晶子 早藤砂緒里 岡田 侑子 一井 恒伸 奥村 志穂 辻 信孝 奥谷 豊弘
横辻 敦子

目的

- (1) 院内の全職員に共通して考えられる教育・研修の計画に関すること
- (2) 各部門の教育・研修の統括に関すること
- (3) 研修会の結果・評価に関すること
- (4) 海外研修の基準・実施要項の策定および研修者の選考に関すること
- (5) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・副委員長の選出
- ・今年度の活動について
- ・画像カンファレンスについて
- ・合同症例検討会について
- ・院内研究発表会について
- ・院内研究発表会での委員役割分担

合同症例検討会・救急症例検討会・画像カンファレンスの開催

2か月に1回奇数月第4木曜日に開催

開催日

- ・令和6年7月25日（木） 参加人数 34名
令和6年4月～6年6月までの死亡症例2例（福沢医師）
救急症例2例について検証
画像カンファレンス：（木上医師）
- ・令和6年9月26日（木） 参加人数 27名
令和6年7月～8月の死亡症例2例（千野医師）
救急症例1例について検証
- ・令和6年11月28日（木） 参加人数 20名
令和6年9月～10月の死亡症例1例（内田泰医師）
救急症例3例について検証
画像カンファレンス：副鼻腔炎について（木上医師）
- ・令和7年1月30日（木） 参加人数 30名
令和7年11月～12月の死亡症例2例（山路医師）
救急症例2例について検証

演題 （発表順）

第1部 座長 副看護部長 岡田 裕子

①『心不全患者の再入院に影響する因子調査』

5東病棟 看護師 北野 真由

②『看護師のタスク・シフト/シェア計画～ナースアシスタント導入における経過と課題』

業務改善委員会 3東病棟看護師長 木村 薫

③『「心不全と共に生きる」在宅療養者への支援体制の確立を目指して

～生活に寄り添うチームアプローチ～』

在宅療養支援部 高島市訪問看護ステーション 主任看護師 山川 好恵

第2部 座長 臨床工学技師長 長濱 崇

④『内視鏡検査における検体採取について』

臨床検査センター 臨床検査技師 井上 莉奈

⑤『オンデキサについて』

薬剤センター 薬剤師 宮川晃也・梅村美佐希

第3部 座長 副院長 永江 徹也

⑥『その方針でよかったのか？～診断、治療方針に悩んだ3症例』

臨床研修医 森本 数万

⑦『救命の連鎖』

高島市南部消防署 救急救命士 木下 臣

最優秀賞…… 臨床検査センター 井上 莉奈

病院機能評価委員会

委員長 安藤 武

委員	徳持 翔太	福田 直美	岡田 裕子	水谷 清美	土肥志のぶ	黒丸 昌美	木村 薫
	斉藤 育代	山極 恵子	生駒 晶子	宇田 洋海	薬師川ひとみ	清家 美香	橋本亜由子
	今井 幹子	家守 秀知	村木 雅哉	兼田 加代	棟田 敦	大塚 初美	奥野 直久
	一井 恒伸	柳森 和人	辻 信孝	松井 宏彰	八木 美幸	大辻 陸人	

目的

- (1) 病院機能評価認定取得に関する事
- (2) 病院機能評価認定更新に関する事
- (3) 病院機能評価審査項目に関し、院内改善必要事項に関する事
- (4) その他委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・総合マニュアルの見直しについて
- ・自己評価調査票について
- ・サーベイヤーパー派遣およびその結果について
- ・受審に向けた準備およびスケジュールについて
- ・訪問審査後の振り返りについて
- ・訪問審査後の中間報告の対応について

クリニカルパス委員会

委員長 渡邊 武志

委員	谷口 晋	大音 泰介	森山 広太郎	徳持 翔太	山本 知世	村田 裕子	中村 郷樹
	簸川 角杏華	西川 真名美	木村 薫	山内 康弘	池田 省一郎	吉水 翔子	大塚 初美
	山本 成美						

目的

- (1) クリニカルパスの作成・運営
- (2) 地域連携パスの運営に関する事
- (3) その他委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・パス未評価リストについて
- ・パスの適用率について
- ・パスの見直し、新規作成について
- ・パスの変更について
- ・患者用パスについて
- ・パスマニュアルの見直しについて
- ・パス中の先発薬品から後発薬品への変更について
- ・病院機能評価診査項目に関し改善点などの検討

保険診療会議

委員長 千野 佳秀

委員 岡本 剛 桐澤 知子 福沢 綾子 宮田 麻里 村田 裕子 井上 莉奈 今井 幹子
齊藤 満 橋本 亜由子 清水 一美 柳森 和人 川島 枝梨菜 松本 友里恵 松井 宏彰

目的

- (1) 保険診療にかかる運用・請求・指導・基準の確認に関すること
- (2) 請求漏れ防止対策に関すること
- (3) 保険診療の研修に関すること
- (4) 保険診療に係る調査および情報提供に関すること（施設基準・請求漏れ・査定減対策を含む）
- (5) その他保険診療に関すること

協議事項等

- ・レセプト査定について
- ・保険診療に関する研修会について

研修会

保険診療研修会

日時：令和6年11月11日（月）17：00～
場所：大会議室
内容：施設基準新規取得分析報告会
対象：全職員

保険診療研修会

日時：令和6年12月17日（水）17：00～
場所：大会議室
内容：DPC（包括医療費支払い制度）に関する研修会
対象：全職員

健診委員会

委員長 伊東 正文

委員 杉原 秀樹 村頭 温 澤田さよ子 水谷 清美 高木美由紀 岡田めぐみ 井上 将行
足立 昌人 奥野 直久 柳川 環実

目的

- (1) 人間ドック・生活習慣病予防健診等に関すること
- (2) 特定健診等に関すること
- (3) 市町村職員共済組合健診に関すること
- (4) 学校教職員健診に関すること
- (5) 健診センターの運営に関すること
- (6) その他健診事業に関すること

協議事項

- ・令和5年度、6年度（暫定）の実績報告
- ・期間限定割引について
- ・特定健診の料金改定（令和7年度）について
- ・肝炎ウイルス検査のHCV核酸増幅検査の廃止について
- ・市町村職員共済組合健診の料金改定（令和7年度）について
- ・企業様への結果送付について
- ・ペーパーレス化に向けたネットワーク化を目的とした機器更新について

- ・令和8年度以降の協会けんぽおよび共済組合の健診対象者拡大について

業務改善委員会

委員長 岡本 剛

委員 武田 佳久 永江 徹也 伊東 正文 内田 泰樹 安藤 武 谷口 晋 岡田 裕子
澤田さよ子 清水 一美 齊藤 満 太田 裕子 中井 正紀 木下 貴長 長濱 崇
奥野 直久 一井 恒伸 衣川はるか 中村 昌弘

目的

- (1) 医師および看護師の負担軽減に関すること
- (2) 職員の処遇改善に関すること
- (3) 職種間の役割分担に関すること
- (4) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・病院勤務医および看護職員の負担軽減と処遇改善に関する計画の令和6年度の取り組みについて
- ・病院勤務医および看護職員の負担軽減と処遇改善に関する計画の令和6年度の達成状況について

医療情報システム運営委員会

委員長 谷口 晋

委員 武田 佳久 岡田 裕子 薬師川ひとみ 中村 大介 棟田 敦 高岡 忠 西村 明美
川合 久和 柳森 和人 松井 宏彰 山口 静夫 村木 雅哉 木本 鉄也 大橋 信也

目的

- (1) 診療情報の利用規則などの検討に関すること
- (2) 医療情報システムの新規企画、開発または重要な既存システムの変更・更新に係る審議に関すること
- (3) 大規模な医療情報システムの変更等による運用の検討および調整に関すること
- (4) 医療情報システムへの新たなソフトのインストールに係る審議に関すること
- (5) 情報セキュリティに係る重要な事項の審議に関すること
- (6) 緊急時対応計画の策定および見直しに関すること
- (7) ネットワークおよび情報システムのセキュリティ対策に係る監査に関すること
- (8) その他医療情報システムに係る検討事項

協議事項等

- ・副委員長の選出について
- ・電子カルテバージョンアップについて
- ・肝炎勧奨について
- ・電子処方箋について
- ・次期システム更新について
- ・利用の達人について

委員会実績

- ・2024年4月1日 電子カルテ・個人情報・セキュリティ研修
- ・2024年12月12日 遠隔画像診断支援システム構築
- ・2024年12月16日 脳外科 LINE ワークス連携構築

化学療法委員会

委員長	中島 研郎										
委員	城 文泰	高橋 有和	山岡 竜也	渡邊 武志	内田 和也	早瀬 美歩					
	前川 直美	山崎 恵	平井 美江	早藤 徳子	田村 恵利	田中 伸明					
	橋本 亜由子	枝 大介	木下 貴長								

目的

- (1) 化学療法の実施・運用方法に関すること
- (2) 実施する化学療法のレジメンの妥当性の評価・承認に関すること
- (3) 化学療法に関する勉強会の開催に関すること
- (4) その他化学療法に関すること

協議事項等

- ・ レジメンについて（新規登録、薬剤変更など）
- ・ 外来腫瘍化学療法加算について
- ・ 入院時化学療法実施手順について
- ・ 血管外薬剤漏出時の対応について
- ・ キャンサーボードについて
- ・ 研修会について

研修会

令和6年度 院内がん看護研修会

開催日：第1回（令和6年6月）～第10回（令和7年3月）（1回／月）

内容：がん薬物療法について各回異なるテーマで研修

講師：前川がん化学療法看護認定看護師

参加人数：のべ321名

ハラスメント委員会

委員長	武田 佳久							
委員	岡本 剛	永江 徹也	福田 直美	中井 正紀	武内 美英子	奥野 直久	一井 恒伸	
	辻 信孝							

目的

- (1) ハラスメント防止に関する情報の収集・提供、啓発活動に関すること
- (2) ハラスメントに関する相談または苦情等の適切な処理
- (3) その他委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・ 協議案件なし

DPCコーディング委員会

委員長 武田 佳久

委員 岡本 剛 安藤 武 山路 正之 城 文康 生駒 晶子 中村 大介 今井 幹子
齊藤 満 池田 省一郎 川島 枝梨菜 大橋 信也 山本 成美

目的

- (1) 診断群分類の適切なコーディングに関すること
- (2) 標準的な診断および治療方法の周知
- (3) 適切なコーディングを行うための診療分析および改善に関すること
- (4) 診断群分類の適切なコーディングに関する講習会の開催に関すること
- (5) その他 DPC に関し必要と認められる事項

協議事項等

- ・副委員長の選出について
- ・適切な DPC コーディングについて
- ・ニチイ分析報告について
- ・令和 6 年度医療機関別係数について

病院まつり実行委員会

委員長 武田 佳久

委員 徳持 翔太 坂根 舞波 澤田さよ子 伊東ないる 瀬崎 友喜 井元 史郎 藤原みな美
和久野祥子 大藤 莉央 浅野可奈子 高岡 忠 岸田 恵 木下 連 宇佐美ゆか
稲岡 由真 奥村 志穂 鳥本菜々子 松本友里恵 中村 昌弘

目的

- (1) 病院まつりの企画・開催に関すること
- (2) その他病院まつりに関すること

協議事項等

- ・病院まつりの開催可否について
- ・開催日について
- ・企画内容について
- ・他機関への依頼および借用備品の手配について

地域がん診療病院運営委員会

委員長 中島 研郎

委員 渡邊 武志 高橋 有和 城 文泰 山極 恵子 前川 直美 木下 貴長 清水 一美
大橋 信也 柳森 和人 天野 明美 渡邊 温士

目的

- (1) 地域がん診療病院の運営全般に関すること
- (2) 地域がん診療に関する研修企画に関すること（患者、家族、地域住民他）
- (3) 大津赤十字病院とのグループ連携に関すること
- (4) 開業医とのがん診療連携に関すること
- (5) がん登録に関すること
- (6) その他地域がん診療に関すること

協議事項等

- ・今年度の活動状況・予定について
- ・滋賀県がん診療連携協議会活動状況について
- ・滋賀県がん患者団体連絡協議会主催講演会について
- ・令和6年度滋賀県がん医療フォーラムについて
- ・高島市民病院公開講座について
- ・がんのリハビリテーション研修会受講について

委員会実績

- ・がんサロン「ほっと湖西」の開催（毎月第2火曜日、11回開催延べ51名）
- ・9/23 滋賀県がん患者団体連絡協議会主催「がん患者と家族のための講演会と交流会～13のテーマ別に先生を囲んで～」へ講師派遣（中島研郎、内田泰樹）
- ・市内中学生を対象としたがん教育の開催（11/8 高島中 56名、11/11 安曇川中 90名）山岡竜也
- ・1/13 市内医療従事者対象アドバンス・ケア・プランニング研修（大阪医療センター 多羅尾竜平先生）
- ・2/8 高島市民病院公開講座 尿路上皮がんについて「膀胱がん・腎盂がん・尿路がんを知ろう」城 文泰(悪天候により中止)
- ・2/22 令和6年度滋賀県がん医療フォーラム 5名参加
- ・院内がん看護研修(6/26、7/31、8/30、9/20、10/30、11/29、12/20、1/24、2/28、3/21)延べ349名

緩和ケアチーム

リーダー 高橋 有和

メンバー 内田 和也 武本 一美 高木 美由紀 大塚 初美 小村 尚也 藤森 雄一 上田 彩希
竹林 亜弥香 高岡 絵里奈 藤本 詩織 重田 早希 吉廣 直子 小林 けいこ 天野 明美

実績

- 1) 会議（第4火曜日）16時～17時
 - ・事例検討 外来患者情報共有
 - ・緩和ケアに関する研修の伝達 ・ヒドロモルフォン勉強会
 - ・協議事項 地域との連携システムの構築と切れ目のない緩和ケアの提供について
医療行為が必要な方への提供体制について
食事が入らない方への栄養提供について

- 2) 緩和ケアチームラウンドの開催 第1、2、3、(5) 火曜日15時より実施

対象：緩和ケアチーム介入依頼患者及び麻薬使用中の患者

チーム介入依頼件数12件	チーム介入件数 56件	カンファレンス件数109件
--------------	-------------	---------------

対象内訳 がん52件、非がん4件：心不全+ASO 1件、ASO 1件 急速下肢動脈閉塞症1件 肺炎1件

がん介入患者疾患内訳

- ・肺癌11件・膵癌7件 ・肝臓癌6件・胃癌5件
- ・前立腺癌4件・食道癌4件 ・乳癌3件 ・大腸癌3件
- ・上行結腸癌・悪性胸膜中皮腫・舌癌・後腹膜腫瘍・腎癌・尿管癌・子宮頸癌・咽頭癌・胆管癌

転機 ＊計61件 （再入院後の転機も含まれているため）

当院での看取り：26件、自宅退院：21件、ホスピス転院：4件（県立総合病院3、千里中央病院1）

療養病院への転院：7件 ・介護保険施設1件 ・介入終了2件：(ASOの方下肢切断にて)

研修参加

- ・滋賀県緩和ケア診療部会主催「緩和ケアチーム研修会」
- ・2024年度 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム研修
- ・緩和医療学会・京滋緩和ケア研究会

母親教室

1. 教室の概要

1) 母親教室中期

- ・開催：毎月第2水曜日 13時30分から15時
- ・対象：妊娠初期から妊娠27週までの妊婦とその家族
- ・内容：管理栄養士による妊娠中の栄養について
助産師による乳房ケアと妊婦体操、産褥期の母と子の準備。妊娠中の異常とその対応について

2) 母親教室後期

- ・開催：毎月第4水曜日 13時30分から15時
- ・対象：妊娠28週以降の妊婦とその家族
- ・内容：助産師による入院の時期と入院方法
分娩の経過と過ごし方（呼吸法と補助動作など）、入院中の生活について
病棟見学

＊令和6年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため集団指導は中止している。

そのため健診後、助産師が個別指導を行い対応している。

＊立ち会い分娩は令和5年10月1日より再開、実施している。

産後ケア事業 施設通所型（産後ケア外来）

開催日：木曜日午後

目的：出産後1年以内の母親が、身近な地域で安心して育児を行い、子どもが健やかに成長できるよう、母子への心身のケアや育児等の支援を目的とする。

事業内容：当院通所サービスによる提供

主に乳房管理および授乳指導（乳房マッサージを含む）

高島市産後チケットの利用

アドバンス助産師による管理が必要な場合は集中的にケアを行っている

産後ケア事業 短期入所型（宿泊サービス）

令和6年4月1日より開始（1年間で5名の利用があった）

目的：産後4ヶ月以内の母親が、身近な地域で安心して育児を行い、子どもが健やかに成長できるよう、母子への心身のケアや育児等の支援を目的とする。

事業内容：当院1泊2日の宿泊期間中に休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を実施するとともに、育児に資する指導等を実施する。

・対象：産後4ヶ月までの女性およびその赤ちゃん

・利用時間：平日14:00～翌14:00（相談可）連泊不可 食事3回

- ・受けることができるサービス
育児相談、乳房マッサージ、授乳・沐浴などのお世話への指導、
お母さんの精神的な休息のため希望されることがあれば相談のうえ実施
- ・注意事項：本人と赤ちゃん以外の家族の宿泊サービスはありません

ストーマ外来

ストーマ外来担当看護師 荒川 貴一

毎週月曜日午前中 3 枠をストーマ外来とする。

令和 6 年度は 21 名の患者に対しストーマケアを実施した。

【目標】

- ・ストーマ保有者が普通の生活の維持のため、個別的に専門的なケアを提供し、QOL を維持し、住み慣れた環境で安心して生活できるよう支援する。
- ・スキントラブルに悩む患者様の治療環境を整えるケア提供を行う。

【ストーマ外来の実際】

- ・退院後の定期検診
- ・正しい装具の交換方法
- ・体型の変化、生活の変化に応じたケア
- ・ストーマのトラブルやストーマ周囲皮膚のトラブルの解決
- ・新しい装具の情報提供
- ・生活指導
- ・社会保障の手続き
- ・施設入居、訪問看護利用者の場合、担当者へのアドバイスや相談に応じる

【令和 6 年度実績】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	9 件	8 件	6 件	6 件	8 件	4 件	7 件	3 件	4 件	5 件	7 件	4 件	71 件
実人数	9 人	6 人	5 人	5 人	8 人	4 人	7 人	3 人	4 人	4 人	7 人	4 人	66 人

禁煙外来

医師	重森 度
看護師	水谷 清美
看護師	小川 智子
看護師	西村 智明
薬剤師	木下 貴長
薬剤師	今井 幹子

対象患者：禁煙外来を予約し、以下の要件を満たす喫煙者

- ・3ヶ月（初回/2週間後/4週間後/8週間後/12週間後）継続受診できること
- ・直ぐに禁煙しようと考えていること
- ・TDS（ニコチン依存症のスクリーニングテスト）が5点以上でニコチン依存症と診断されていること
- ・ブリンクマン指数（喫煙年数×1日の喫煙本数）が200以上であること
- ・禁煙治療を受けることを文書により同意していること

方法：個別指導

場所：Aブロック

日時：毎金曜日（13時～ 合計2人程度）

令和6年度カウンセリング実施件数：35件 禁煙外来受診者：7人

禁煙成功率 42.8%

5回禁煙治療終了率 100%

禁煙外来延べ人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	4	5	4	2	3	1	3	2	3	2	2	35

ニコチンパッチ（ニコチネルTTS）を使用している。

R6年4月より禁煙外来開始した。

糖尿病教室

実施なし。

心臓病教室

実施なし。

透析食事療養教室

実施なし。

4. 業績集

整形外科

突発性大腿骨頭壊死症に対する成長因子 rhFGF-2 を用いた再生医療の中期成績

牛山 依玲奈

第 97 回 日本整形外科学会 マリンメッセ福岡 令和 6 年 5 月 23 日

基礎疾患の無い妊婦に発症した化膿性頸椎炎を治療した 1 例

森山 広太郎 他

第 143 回 中部日本整形外科災害外科学会 神戸ポートピアホテル 令和 6 年 10 月 4 日

消化器外科

Shouldice 法を受け継いでいく

山岡 竜也、成田 匡大、伏谷 仁志

第 22 回日本ヘルニア学会学術集会 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 令和 6 年 5 月 25 日

消化器外科術後に covid19 感染を来した感染増悪リスクを伴った 2 症例

渡邊 武志

第 37 回 日本外科感染症学会総会 浅草ビューホテル 令和 6 年 11 月 9 日

超高齢者に対する閉鎖孔ヘルニア嵌頓の非観血的整復後治療

高橋 有和、倉田 佳彦

第 86 回 日本臨床外科学会 ホテル東日本宇都宮 令和 6 年 11 月 23 日

術前診断しえた Meckel 憩室内翻による腸重積に対する腹腔鏡手術症例

渡邊 武志

第 79 回 日本大腸肛門病学会 パシフィコ横浜 令和 6 年 11 月 30 日

遅発症に術後膿瘍形成をきたした慢性胆嚢炎胆管損傷の 1 例

渡邊 武志

第 37 回 日本内視鏡外科学会 福岡国際会議場 令和 6 年 12 月 5 日

虫垂切除術後ステープル断端につながる索状物により生じた絞扼性イレウスの一例

高橋 有和、山岡竜也、渡辺隆志 千野佳秀、中島研郎

第 37 回 日本内視鏡外科学会 マリンメッセ福岡 令和 6 年 12 月 7 日

総合診療科

プライマリ・ケアの質と主観的健康観の関連 日本のへき地住民を対象とした横断研究

西田 早矢、久田祥雄、杉岡隆、平田理紗、香月尚子、多胡雅毅、上田祐樹、雨森正記、東野克己、納谷佳男

第15回日本プライマリ・ケア連合学会 アクトシティ浜松 令和6年6月7日

小児科

治療に難渋したが、専門機関紹介後にセルトラリン投与にて著明改善を認めた嘔吐恐怖症の一例

大音 泰介

第22回 日本小児心身医学会関西地方会 大阪医科大学 令和7年1月26日

臨床研修医

虫垂炎と卵管留水腫の茎捻転を併発した一例

谷口 遼、高橋 有和、倉田 佳彦

第86回 日本臨床外科学会 ホテルマイステイズ宇都宮 令和6年11月23日

臨床工学室

地域医療連携推進法人滋賀高島 臨床工学士分科会の活動報告

長濱 崇

第34回 日本臨床工学会 福井 フェニクスプラザ 令和6年5月19日

離床キャッチを中央管理化して

北川 浩也

第34回 日本臨床工学会 福井フェニクスプラザ 令和6年5月19日

エコー下穿刺育成体制確立に向けての取り組み

棟田 敦、永江徹也、長濱崇

第69回 日本透析医学会学術集会 パシフィコ横浜 令和6年6月9日

栄養管理室

湖西圏域における栄養士の地域連携について

竹林 亜弥香

第56回 滋賀県国保地域医療学会 コラボしが21 令和6年11月10日

看護部

和6年能登半島地震 災害支援ナース活動報告

中村 大介

第56回 滋賀県国保地域医療学会 コラボしが21 令和6年11月10日

夜間看護補助者導入から見えた自部署における看護師の役割

横江 章子

第56回 滋賀県国保地域医療学会 コラボしが21 令和6年11月10日

<学会等発表>

・第56回 滋賀県国保地域医療学会 令和6年11月10日

演題：夜間看護補助者導入から見えた自部署における看護師の役割

発表者：横江章子

- ・心不全研修会 令和6年12月12日

演題：当院における心不全対策 ～心不全手帳の普及に向けた取り組み～

発表者：饗庭友里子・北野真由

- ・滋賀県看護協会第7地区支部研究発表会 令和7年3月8日

演題：産後1か月で化膿性脊椎炎による四肢の運動機能低下をきたした患者の看護
～フィンの危機モデルと傾聴～

発表者：清水麻帆

演題：窒息誤嚥予防の取り組み ～入院時窒息アセスメントシートを導入して～

発表者：土肥志のぶ

<外部講師>

- ・第29回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 シンポジウムⅠ座長：村田裕子
- ・第39回CDE滋賀フォローアップセミナー：ファシリテーター村田裕子
- ・第10回滋賀糖尿病療養指導士（CDE滋賀）認定講習会：ファシリテーター村田裕子
- ・第56回滋賀県国保地域医療学会 11月10日

研究発表演題4～6 座長：岡田裕子

「災害から考える地域包括医療・ケア」：パネリスト参加：中村大介

- ・令和6年度滋賀県看護協会第7地区支部研修 6月21日

「能登半島地震における災害救護支援活動報告」

DMAT：木下由佳 災害支援ナース：中村大介

- ・第7地区支部新人看護師リフレッシュ研修 10月4日

「こころのセルフケア～38種のレメディがあなたの心を癒します～」：岡田裕子

- ・感染制御に関する実地指導 グループホームBeスマイルあど川：清家美香
- ・京都橘大学特定行為研修：皮膚・排泄ケア認定看護師荒川貴一
- ・ELNEC-J教育プログラム：天野明美、宮田麻里、重田早紀、安部美津子
- ・消防職員教育救急科「特殊病態と緊急度・重症度判断（分娩）」：栗津裕美子
- ・滋賀県看護職員感染症対策研修会「接触感染予防策」：清家美香
- ・感染症対策による施設指導 介護老人保健施設グリーンテラス：清家美香
- ・感染制御リーダー研修 介護老人保健施設陽光の里：清家美香
- ・地域医療連携法人滋賀高島「冬の感染症対策について」：清家美香
- ・感染症対策向上研修 ふじの里なごみの家：清家美香
- ・認定看護管理者ファーストレベル：演習講師末武美里

<執筆>

- ・日本糖尿病教育 看護学会誌 Vol.28 No.1.2024

暮らし向きに合わせた支援を目指して

～地域の中での糖尿病看護実践～

糖尿病認定看護師：村田裕子

<研修会受講・資格取得状況>

ファーストレベル：橋本美咲、河原田勝也、白井頌子

臨床実習指導者講習会：永田紘平、倉田美帆、中村郷樹

看護補助者の活用推進のための看護管理者研修：川原春香

厚生労働省の定める看護職員認知症対応力向上研修：重田早紀、田村恵利、平井美江

認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修：谷井峰子

心不全療養指導士：饗庭友里子

糖尿病重症化予防（フットケア）研修：曾根亜紀

重症度医療看護必要度評価者研修：山極恵子、坂口とき子、栞原麻衣、高橋克己

新人看護職員支援者研修：竹本久代、木下由佳

入退院支援看護師養成研修：宮園希望

日本医療機能評価機構 JQ 医療安全管理者養成研修：山極恵子

医療安全管理者養成研修（日本看護協会）：中村大介、早藤砂緒里

災害支援ナース養成研修：西川慶介、安部美津子、高橋克己、嶋津拓夢、中村恵李香

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会認定講習会：小原奈美子

ELNEC=J プログラム：末永真由美、藤本詩織

<授賞>

・滋賀県看護協会会長表彰

齊藤育代 黒丸昌美

令和6年度(2024 年度)新人看護職員教育プログラム

開催日	時 間	研修会名	研修内容	担 当	ねらい	
4 月 1 日(月)	8:30～17:15 ※詳細は別紙	新採用者 全体オリエンテーション ※詳細は別紙	辞令交付 オリエンテーション 病院の概要 医療安全対策 感染防止対策 部署案内など	総務課スタッフ 看護部	・病院全体の概要を知る。 ・当院の職員として自覚を持ち、職業人としての 義務と責任を理解する。	
		電子カルテについて ※全新規職員対象	電子カルテについて	武田病院長	・当院の電子カルテの取り扱いについて学ぶ。	
4 月 2 日(火)	8:30～10:00	看護部について キャリアパスについて 看護協会について	看護部の概要 看護部の教育計画	福田看護部長 ○リーダー	・看護部について理解を深める。 ・看護協会について知る。	
		10:10～12:10	感染症対策について	院内感染症対策の実際 スタンダードプリコーション	○清家・倉田・ 河野	・当院における感染症予防対策について知る。
	13:10～15:10	医療安全について	医療事故防止対策 医療安全マニュアルの活用方法	○薬師川・河原田・ 竹本	・当院における医療安全対策の概要を知る。	
	15:20～17:15	新人看護職員研修について		○生駒・早藤砂・ 山本知	・新人看護職員教育プログラムの内容がわかる。	
4 月 3 日(水)	8:30～10:00	技術演習 注射・点滴	採血	○西川真・安部・ 久保田・柴原・ 朝川・宮園	・安全な取り扱いと清潔操作について学ぶ。 ・当院の採血・注射物品にふれ、その方法を学ぶ。 ・血管の模型を使用し、留置針の静脈穿刺ができる。 ・点滴ルートの準備ができる。	
	10:00～11:00		筋肉注射			
	11:00～12:00		皮下注射			
	13:00～14:30		血糖測定・インシュリン注射			
	14:30～16:00		留置針の取り扱い			
	16:00～17:15		点滴ルートの準備			
4 月 4 日(木)	8:30～10:50	輸液の基礎知識	輸液製剤の種類と管理方法	○川原・橋本祐・ 白井	・輸液製剤の種類や時間管理についてわかる。 ・1施用1トレイ	
	11:00～12:20		輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い	○沢井・山崎朋	・ポンプの種類がわかり、取り扱い方法を学ぶ。	
	13:30～15:00	技術演習	浣腸・その他の緩下剤	○荒川・平井・ 北野	・浣腸の方法・注意点がわかる。緩下剤の種類がわかる。	
	15:00～17:15	排泄ケア	Ba カテーテル留置・管理		・Ba カテーテル留置時の管理方法がわかる。	
4 月 5 日(金)	8:30～12:15	電子カルテについて	電子カルテの基本操作	川原・高岡	・電子カルテの基本と入力方法について学ぶ。	
	13:30～15:00	酸素吸入	酸素吸入の種類・取り扱い	○朝日・永田・ 中村郷・富田	・呼吸のメカニズムを理解し、エビデンスに基づいた 酸素療法、吸引、吸入技術を習得する。	
	15:00～16:30	吸引	吸引のメカニズム、手順			
	16:30～17:15	吸入	吸入の種類・取り扱い			
4 月 8 日(月)	8:30～12:15	電子カルテについて	電子カルテの基本操作	小原 梅村	・電子カルテの基本と入力方法について学ぶ。	
	13:30～15:00	急変時の対応	BLS	○西川慶・小林・ 井手	・急変時の対応について学ぶ。 ・救急カードについて学ぶ。 ・緊急時のコールについて学ぶ。	
	15:00～15:40		救急カート			
	15:40～15:50		救急コールとスタッフコール			
4 月 9 日(火)	16:00～17:15	中央材料室について	滅菌法と器械について	○山口・嶋津	・病棟で使用する器械について学ぶ。	
	8:30～12:15	電子カルテについて	電子カルテの基本操作	谷 兼先	・電子カルテの基本と入力方法について学ぶ。	
		13:30～16:00	リハビリテーションについて	オリエンテーション	家守 ST	・当院のリハビリテーションの紹介
			摂食・嚥下研修	嚥下のしくみ・誤嚥について	坂尻 PT・山本 PT	・摂食嚥下障害と症状について学ぶ
			ボディメカニクス・移乗	安全な移乗について	○宮田	・介助者の負担軽減と安全な移乗について学ぶ
16:10～17:15	接遇	電話の応対、あいさつ	○栗津・郡	・医療者として適切な応対や言葉遣いについて学ぶ。		
4 月 12 日(金)	15:45～17:15	看護記録	看護記録	○谷・前川・橋本美	・当院の看護記録について学ぶ。	
4 月 19 日(金)	16:15～17:15	バイタルサインのモニタリング	ベッドサイドモニター・テレメーター	○中村大・饗庭	・基本操作がわかる。	
4 月 26 日(金)	16:15～17:15	コミュニケーション	カンフォータブル・ケア	○竹田・宇田	・カンフォータブル・ケアとは何かを知る。	
5 月 10 日(金)	16:15～17:15	看取りのケア	エンゼルケア	○梅村・天野	・看取りの看護について理解を深める。	
5 月 27 日(月)	16:00～17:00	リフレッシュ研修		上田心理療法士	・今の自分のメンタルの状態を把握する。 ・相談先を把握する。	
6 月 21 日(金)	16:00～17:15	看護必要度について		○小川・小嶋	・看護必要度について理解を深める。	
6 月		新卒看護職員交流会		滋賀県看護協会	・県内の新人看護職員と交流を深める。	
7 月 18 日(木)	16:30～17:15	新人職員交流会	BIG ワード	新人教育委員会	・同期職員との交流を深める。	
8 月 15 日(木)	16:30～17:15	動画鑑賞	新人看護師あるある動画 「あるあるフルーツバケツ」	新人教育委員会	・社会人として、看護師としての心構えや 果たすべき役割について学ぶ。	
8 月		地域を知る(観光プラザ)	調整中	第 7 地区支部	・第 7 地区支部の新人看護職員との交流を深める。	
9 月 2 日(月)～10 月 11 日(金)		ローテーション研修(1)	救急外来	新人教育委員会	・詳細はローテーション計画表に沿って実施(後日配布)	
9 月 4 日(水)～10 月 30 日(水)		心理療法士面談	個別面談	上田心理療法士	・日頃言えない思いや悩みを表出する機会となる。	
9 月 19 日(木)	16:30～17:15	新人職員交流会	チームビルディング	新人教育委員会	・同期職員との交流を深める。 ・チームで協力、意見を出し合う大切さを体感する。	
10 月 4 日(金)	16:15～17:30	新人リフレッシュ研修	こころのセルフケア 「38 種のレメディであなたの心を癒やす」	滋賀県看護協会 第 7 地区支部		
10 月 17 日(木)	16:30～17:15	半年を終えて	調整中	新人教育委員会	・自己の振り返りをし、2 年目へのモチベーションの向上をはか る。	
10 月 28 日(月)～11 月 29 日(金)		ローテーション研修(2)	手術室	新人教育委員会	・詳細はローテーション計画表に沿って実施(後日配布)	
11 月 27 日(水)	16:15～17:00	リフレッシュ研修	ヒーローインタビュー	樋口心理療法士	・同期職員との交流を深める。 ・自他の職業や役割の魅了を再発見する。	
1 月 15 日(水)	15:30～16:30	看護部事例発表会	ナラティブ	ラダーⅡ担当者	・先輩看護師の発表を聴き、看護の理解を深める。	
1 月 16 日(木)	16:30～17:15	新人職員交流会	身体抑制体験とディベート	新人教育委員会	・同期職員との交流を深める。 ・看護場面における倫理の対立を体感する。	
2 月		看護部事例発表会	ケーススタディ	ラダーⅡ担当者	・先輩看護師の発表を聴き、看護の理解を深める。	
3 月 6 日(木)	16:30～17:15	看護部まとめの会	1年間のまとめ	新人教育委員会	・1年間の振り返りを共有する。	
オンデマンド研修		・チーム医療の構成員である看護師として果たすべき役割		日本看護協会	・協働する力	



令和6年度(2024) プリセプター・サポーター学習支援計画

開催日	時間	プリセプター		サポーター	参加者	ねらい
5月16日(木)	16:30 ～ 17:15	プリセプター・サポーター研修 オリエンテーション／自己紹介／ 「指導者としての心構え」				当院の新人看護職員教育ガイドについて知る プリセプター・サポーターとしての1年の流れがわかる
6月10日(月) または 6月28日(金)	9:20 ～ 12:30	プリセプター研修 ～新人と共に成長する指導者を 目指して～			滋賀県 看護協 会	成人学習者の効果的な指導のあり方がわかる 新人看護職員のメンタルサポート体制のあり方がわかる 自己の強みと課題が明確にできる
7月22日	16:30 ～ 17:15	研修の振り返り・座談会			看護師 7名	研修を振り返り、学びを共有する 新人看護職員サポートにおける喜びや悩みを共有する
8月21日(水)	9:20 ～ 16:30		心理的安全性の高い職場づくりを 目指そう」 参加者：柴原		滋賀県 看護協 会	心理的安全性に関する基礎知識、 チーム医療にもたらす効果や心理的安全性を高めるための 自己の行動が理解できる
8月27日(火)	9:20 ～ 16:30		「コミュニケーションスキルを習得 しよう」 参加者：越野		滋賀県 看護協 会	コミュニケーションの方法を理解できる コミュニケーションを通して相手の思いを知る方法を理解 できる
9月11日(水)	16:00 ～ 16:45	プリセプター研修会・ 座談会				新人看護職員サポートにおける喜びや悩みを共有する
10月10日(木)	16:30 ～ 17:15	「心理的安全性の高い職場づくりを目指そう」 伝達講習 担当者：柴原			10名	研修の内容を共有し、サポート方法を考える
11月7日(木)	16:30 ～ 17:15	「コミュニケーションスキルを習得しよう」 伝達講習 担当者：越野				研修の内容を共有し、サポート方法を考える
11月18日(月)	9:20 ～ 16:30		「教えることは学ぶこと～共に成長 する看護職を育成する～」 参加者：早瀬		滋賀県 看護協 会	専門職における教育のあり方や重要性を再考できる 効果的な指導のあり方が理解出来る 指導者(先輩)としての自己の課題を明確にする
12月5日(木)	16:30 ～ 17:15		「教えることは学ぶこと」 伝達講習＆座談会 担当者：早瀬			
1月9日(木)	16:30 ～ 17:15	プリセプター研修会・ 座談会				新人看護職員サポートにおける喜びや悩みを共有する
3月13日(木)	16:30 ～ 17:15	まとめの会				1年を総括する

令和6年6月24日現在 新人教育委員会

Ⅲ. 統計資料

1. 患者数

(1) 入院患者数集計表

	区分	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人	耳鼻科	神経科	皮膚科	泌尿器	眼科	脳外科	放射線	心血外	歯口外		計	日数
入院患者延数	4月	2,858	61	445	1,151	97	0	0	0	79	0	189	0	0	67		4,947	30
	5月	2,885	79	352	974	130	0	0	0	111	0	137	0	0	80		4,748	31
	6月	2,443	117	361	1,131	123	0	0	0	107	0	91	0	0	112		4,485	30
	7月	2,848	57	489	1,184	137	0	0	0	124	0	92	0	0	89		5,020	31
	8月	3,181	111	415	959	83	0	0	0	180	0	53	0	0	80		5,062	31
	9月	3,163	49	388	1,177	40	0	0	0	159	0	70	0	0	67		5,113	30
	10月	2,735	52	317	1,166	55	0	0	0	164	0	97	0	0	97		4,683	31
	11月	2,544	51	348	1,039	79	0	0	0	180	0	110	0	0	103		4,454	30
	12月	2,876	103	355	1,186	56	0	0	0	159	0	139	0	0	37		4,911	31
	1月	3,632	92	402	1,200	91	0	0	0	213	0	110	0	0	68		5,808	31
	2月	3,077	90	404	930	60	0	0	0	203	0	57	0	0	85		4,906	28
	3月	3,331	94	360	1,036	55	0	0	0	174	0	163	0	0	84		5,297	31
	計	35,573	956	4,636	13,133	1,006	0	0	0	1,853	0	1,308	0	0	969	0	59,434	365
	前年度	33,734	1,072	4,348	13,310	1,217	0	0	0	1,436	0	1,404	0	0	514		57,035	366
	増減	1,839	▲ 116	288	▲ 177	▲ 211	0	0	0	417	0	▲ 96	0	0	455	0	2,399	人
	比率	5.5	▲ 10.8	6.6	▲ 1.3	▲ 17.3	—	—	—	29.0	—	▲ 6.8	—	—	88.5	—	4.2	%
一日平均入院患者数	4月	95.3	2.0	14.8	38.4	3.2	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	6.3	0.0	0.0	2.2		164.9	1.0
	5月	93.1	2.5	11.4	31.4	4.2	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	4.4	0.0	0.0	2.6		153.2	1.0
	6月	81.4	3.9	12.0	37.7	4.1	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.0	0.0	0.0	3.7		149.5	1.0
	7月	91.9	1.8	15.8	38.2	4.4	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	3.0	0.0	0.0	2.9		161.9	1.0
	8月	102.6	3.6	13.4	30.9	2.7	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	1.7	0.0	0.0	2.6		163.3	1.0
	9月	105.4	1.6	12.9	39.2	1.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	2.3	0.0	0.0	2.2		170.4	1.0
	10月	88.2	1.7	10.2	37.6	1.8	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	3.1	0.0	0.0	3.1		151.1	1.0
	11月	84.8	1.7	11.6	34.6	2.6	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.4		148.5	1.0
	12月	92.8	3.3	11.5	38.3	1.8	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	4.5	0.0	0.0	1.2		158.4	1.0
	1月	117.2	3.0	13.0	38.7	2.9	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	3.5	0.0	0.0	2.2		187.4	1.0
	2月	109.9	3.2	14.4	33.2	2.1	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	2.0	0.0	0.0	3.0		175.2	1.0
	3月	107.5	3.0	11.6	33.4	1.8	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.3	0.0	0.0	2.7		170.9	1.0
	計	97.5	2.6	12.7	36.0	2.8	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	3.6	0.0	0.0	2.7	0.0	162.8	1.0
	前年度	92.2	2.9	11.9	36.4	3.3	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	3.8	0.0	0.0	1.4		155.8	1.0
	増減	5.3	▲ 0.3	0.8	▲ 0.4	▲ 0.5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	▲ 0.2	0.0	0.0	1.3	0.0	7.0	人
	比率	5.7	▲ 10.3	6.7	▲ 1.1	▲ 15.2	—	—	—	30.8	—	▲ 5.3	—	—	92.9	—	4.5	%

(2) 外来患者数集計表

	区分	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人	耳鼻科	神経科	皮膚科	泌尿器	眼科	脳外科	放射線	心血外	歯口外	朽木	計	日数
外来患者延数	4月	2,896	420	290	535	417	159	364	163	474	135	188	66	5	690	305	7,107	21
	5月	2,912	495	281	639	437	156	362	163	466	146	194	63	16	716	276	7,322	21
	6月	2,792	419	291	547	369	125	347	157	474	162	148	71	5	663	263	6,833	20
	7月	3,204	487	296	642	439	142	412	190	461	172	216	73	9	659	304	7,706	22
	8月	3,076	486	330	661	360	131	346	239	522	167	185	54	8	646	257	7,468	21
	9月	2,869	396	279	585	349	128	362	162	482	137	172	60	6	585	251	6,823	19
	10月	3,179	403	325	710	474	161	389	199	549	158	212	76	7	699	297	7,838	22
	11月	2,878	385	284	605	403	125	357	176	486	143	189	56	4	619	273	6,983	20
	12月	3,260	562	285	592	435	153	364	136	513	165	202	48	7	562	284	7,568	20
	1月	3,289	550	299	645	421	137	364	149	468	139	201	49	5	535	294	7,545	19
	2月	2,623	429	276	547	411	87	307	107	451	123	148	55	8	523	234	6,329	18
	3月	2,981	410	302	628	463	171	372	154	473	165	177	69	8	548	277	7,198	20
	計	35,959	5,442	3,538	7,336	4,978	1,675	4,346	1,995	5,819	1,812	2,232	740	88	7,445	3,315	86,720	243
	前年度	36,585	5,742	3,373	7,784	4,907	1,660	4,724	2,075	5,515	2,034	2,258	702	120	8,659	3,435	89,573	243
	増減	▲ 626	▲ 300	165	▲ 448	71	15	▲ 378	▲ 80	304	▲ 222	▲ 26	38	▲ 32	▲ 1,214	▲ 120	▲ 2,853	人
	比率	▲ 1.7	▲ 5.2	4.9	▲ 5.8	1.4	0.9	▲ 8.0	▲ 3.9	5.5	▲ 10.9	▲ 1.2	5.4	▲ 26.7	▲ 14.0	▲ 3.5	▲ 3.2	%
一日平均外来患者数	4月	137.9	20.0	13.8	25.5	19.9	7.6	17.3	7.8	22.6	6.4	9.0	3.1	0.2	32.9	14.5	338.4	1.0
	5月	138.7	23.6	13.4	30.4	20.8	7.4	17.2	7.8	22.2	7.0	9.2	3.0	0.8	34.1	13.1	348.7	1.0
	6月	139.6	21.0	14.6	27.4	18.5	6.3	17.4	7.9	23.7	8.1	7.4	3.6	0.3	33.2	13.2	341.7	1.0
	7月	145.6	22.1	13.5	29.2	20.0	6.5	18.7	8.6	21.0	7.8	9.8	3.3	0.4	30.0	13.8	350.3	1.0
	8月	146.5	23.1	15.7	31.5	17.1	6.2	16.5	11.4	24.9	8.0	8.8	2.6	0.4	30.8	12.2	355.6	1.0
	9月	151.0	20.8	14.7	30.8	18.4	6.7	19.1	8.5	25.4	7.2	9.1	3.2	0.3	30.8	13.2	359.1	1.0
	10月	144.5	18.3	14.8	32.3	21.5	7.3	17.7	9.0	25.0	7.2	9.6	3.5	0.3	31.8	13.5	356.3	1.0
	11月	143.9	19.3	14.2	30.3	20.2	6.3	17.9	8.8	24.3	7.2	9.5	2.8	0.2	31.0	13.7	349.2	1.0
	12月	163.0	28.1	14.3	29.6	21.8	7.7	18.2	6.8	25.7	8.3	10.1	2.4	0.4	28.1	14.2	378.4	1.0
	1月	173.1	28.9	15.7	33.9	22.2	7.2	19.2	7.8	24.6	7.3	10.6	2.6	0.3	28.2	15.5	397.1	1.0
	2月	145.7	23.8	15.3	30.4	22.8	4.8	17.1	5.9	25.1	6.8	8.2	3.1	0.4	29.1	13.0	351.6	1.0
	3月	149.1	20.5	15.1	31.4	23.2	8.6	18.6	7.7	23.7	8.3	8.9	3.5	0.4	27.4	13.9	359.9	1.0
	計	148.0	22.4	14.6	30.2	20.5	6.9	17.9	8.2	23.9	7.5	9.2	3.0	0.4	30.6	13.6	356.9	1.0
	前年度	150.6	23.6	13.9	32.0	20.2	6.8	19.4	8.5	22.7	8.4	9.3	2.9	0.5	35.6	14.1	368.6	1.0
	増減	▲ 2.6	▲ 1.2	0.7	▲ 1.8	0.3	0.1	▲ 1.5	▲ 0.3	1.2	▲ 0.9	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 5.0	▲ 0.5	▲ 11.7	人
	比率	▲ 1.7	▲ 5.1	5.0	▲ 5.6	1.5	1.5	▲ 7.7	▲ 3.5	5.3	▲ 10.7	▲ 1.1	3.4	▲ 20.0	▲ 14.0	▲ 3.5	▲ 3.2	%

2. 救急患者状況

(1) 旧町村別救急患者数

時間外町村別		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合計	
患者住所		外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
高島町	令和6 年度	54	8	72	8	44	12	70	8	59	11	63	12	75	20	55	9	77	11	76	15	59	13	66	13	770	140
	令和5 年度	54	8	72	8	44	12	70	8	59	11	63	12	75	20	55	9	77	11	76	15	59	13	66	13	770	140
	令和4 年度	54	9	69	11	50	4	112	9	107	10	72	12	62	10	60	9	67	9	72	4	61	5	45	6	831	98
安曇川町	令和6 年度	97	15	109	27	105	24	184	25	161	25	117	24	126	28	108	21	134	21	186	24	113	23	124	23	1,564	280
	令和5 年度	97	15	109	27	105	24	184	25	161	25	117	24	126	28	108	21	134	21	186	24	113	23	124	23	1,564	280
	令和4 年度	88	13	137	22	97	21	182	19	183	9	155	19	112	19	106	21	181	15	155	15	109	19	113	17	1,618	209
新旭町	令和6 年度	84	18	101	15	92	21	127	17	112	15	97	19	91	11	89	18	136	26	161	15	89	16	97	20	1,276	211
	令和5 年度	84	18	101	15	92	21	127	17	112	15	97	19	91	11	89	18	136	26	161	15	89	16	97	20	1,276	211
	令和4 年度	71	14	94	11	71	17	186	8	144	13	101	24	110	14	83	20	126	22	152	15	73	22	113	14	1,324	194
今津町	令和6 年度	50	14	68	19	59	15	66	22	77	13	61	15	99	17	66	14	84	24	78	20	58	23	60	11	826	207
	令和5 年度	50	14	68	19	59	15	66	22	77	13	61	15	99	17	66	14	84	24	78	20	58	23	60	11	826	207
	令和4 年度	59	17	81	22	61	10	113	14	136	13	86	19	69	13	87	31	86	22	83	7	64	14	46	23	971	205
マキノ町	令和6 年度	21	4	28	5	17	4	29	10	20	11	36	7	24	3	16	9	24	6	28	6	10	5	18	9	271	79
	令和5 年度	21	4	28	5	17	4	29	10	20	11	36	7	24	3	16	9	24	6	28	6	10	5	18	9	271	79
	令和4 年度	26	7	21	2	21	4	35	5	32	10	33	7	27	7	34	7	39	8	32	5	13	5	16	3	329	70
朽木村	令和6 年度	13	5	22	5	4	4	14	5	15	3	8	7	8	3	10	5	12	5	19	5	9	1	12	1	146	49
	令和5 年度	10	4	18	3	12	2	20	3	19	5	15	1	11	2	12	2	19	2	10	3	8	5	3	1	157	33
	令和4 年度	9	3	5	3	8	2	10	4	20	2	10	1	9	2	7	1	17	3	12	7	12	3	3	2	122	33
県内	令和6 年度	21	1	20	3	15	1	25	3	35	3	19	1	29	8	21	3	26	1	38	0	17	5	24	3	290	32
	令和5 年度	21	1	20	3	15	1	25	3	35	3	19	1	29	8	21	3	26	1	38	0	17	5	24	3	290	32
	令和4 年度	18	3	29	5	14	1	34	9	42	5	14	5	26	3	26	4	26	3	29	3	18	0	20	4	296	45
県外	令和6 年度	23	3	49	1	30	4	41	5	82	11	46	3	39	3	26	2	29	1	29	5	23	2	15	5	432	45
	令和5 年度	23	3	49	1	30	4	41	5	82	11	46	3	39	3	26	2	29	1	29	5	23	2	15	5	432	45
	令和4 年度	25	3	43	2	40	2	52	2	64	3	28	3	35	3	20	1	30	1	34	1	18	1	15	3	404	25
合計	令和6 年度	363	68	469	83	366	85	556	95	561	92	447	88	491	93	391	81	522	95	615	90	378	88	416	85	5,575	1,043
	令和5 年度	360	67	465	81	374	83	562	93	565	94	454	82	494	92	393	78	529	92	606	88	377	92	407	85	5,586	1,027
	令和4 年度	350	69	479	78	362	61	724	70	728	65	499	90	450	71	423	94	572	83	569	57	368	69	371	72	5,895	879

(2) 救急患者 (時間内・時間外)

		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合計	
		外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
令和6 年度	時間内	250	72	259	67	306	82	295	93	331	101	285	76	256	82	257	101	316	97	275	83	238	78	220	103	3,288	1,035
	時間外	363	68	469	83	366	85	556	95	561	92	447	88	491	93	391	81	522	95	615	90	378	88	416	85	5,575	1,043
令和5 年度	時間内	250	72	259	67	306	82	295	93	331	101	285	76	256	82	257	101	316	97	275	83	238	78	220	103	3,288	1,035
	時間外	363	68	469	83	366	85	556	95	561	92	447	88	491	93	391	81	522	95	615	90	378	88	416	85	5,575	1,043
令和4 年度	時間内	322	72	373	73	300	92	637	80	737	89	416	70	340	65	438	68	538	89	374	70	271	70	274	66	5,020	904
	時間外	351	70	492	78	366	61	734	69	727	68	504	90	452	71	428	95	574	82	567	53	364	71	371	71	5,930	879
合計	令和4 年度	613	140	728	150	672	167	851	188	892	193	732	164	747	175	648	182	838	192	890	173	616	166	636	188	8,863	2,078
	令和3 年度	613	140	728	150	672	167	851	188	892	193	732	164	747	175	648	182	838	192	890	173	616	166	636	188	8,863	2,078
	令和2 年度	673	142	865	151	666	153	###	149	###	157	920	160	792	136	866	163	###	171	941	123	635	141	645	137	10,950	1,783

(3) 救急車による患者搬送件数 (時間内・時間外)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
		時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内
令和6 年度	時間内	71	66	68	72	90	64	78	65	84	58	64	92	872
	時間外	101	122	114	137	165	125	139	107	131	119	115	118	1,493
令和5 年度	時間内	71	66	68	72	90	64	78	65	84	58	64	92	872
	時間外	101	122	114	137	165	125	139	107	131	119	115	118	1,493
令和4 年度	時間内	51	56	65	68	88	60	53	66	85	63	51	70	776
	時間外	95	126	101	131	179	136	148	114	128	124	111	94	1,487
合計	令和4 年度	172	188	182	209	255	189	217	172	215	177	179	210	2,365
	令和3 年度	172	188	182	209	255	189	217	172	215	177	179	210	2,365
	令和2 年度	146	182	166	199	267	196	201	180	213	187	162	164	2,263

(4) 交通事故による救急患者人数 (時間内・時間外)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
		外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
令和6 年度	時間内	5	0	5	0	5	1	10	2	6	0	3	2	11
	時間外	1	1	14	0	10	0	12	1	16	4	21	0	26
令和5 年度	時間内	5	0	5	0	5	1	10	2	6	0	3	2	11
	時間外	1	1	14	0	10	0	12	1	16	4	21	0	26
令和4 年度	時間内	4	0	3	0	3	1	4	1	4	1	7	2	2
	時間外	6	2	12	1	6	1	14	0	12	0	5	1	24
合計	令和4 年度	6	1	19	0	15	1	22	3	22	4	24	2	37
	令和3 年度	6	1	19	0	15	1	22	3	22	4	24	2	37
	令和2 年度	10	2	15	1	9	2	18	1	16	1	12	3	26

3. 診療科別退院延患者数・平均在院日数

	男	女	合計	構成比(%)	死亡(再掲)	平均在院日数
内 科	1,167	960	2,127	53.7%	182	16.8
精 神 神 経 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
小 児 科	124	106	230	5.8%	0	4.2
外 科	205	149	354	8.9%	18	13.2
整 形 外 科	237	296	533	13.4%	9	24.9
脳 神 経 外 科	57	37	94	2.4%	7	14.7
皮 膚 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
泌 尿 器 科	156	43	199	5.0%	7	8.9
産 婦 人 科	0	174	174	4.4%	0	5.8
眼 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
耳 鼻 咽 喉 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
歯 科 口 腔 外 科	126	127	253	6.4%	0	3.0
心 臓 血 管 外 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
全 科	2,072	1,892	3,964	100.0%	223	15.0

4. 疾病大分類別・診療科別・退院（転科含む）患者数

			総数	構成比 (%)	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経 外科	泌尿器科	産婦人科	歯科口腔外 科
	総数	計	3,963	100.0	2,126	230	354	533	94	199	174	253
		男	2,072	100.0	1,167	124	205	237	57	156	—	126
		女	1,891	100.0	959	106	149	296	37	43	174	127
	構成比(%)	計	100.0	—	53.6	5.8	8.9	13.4	2.4	5.0	4.4	6.4
		男	100.0	—	56.3	6.0	9.9	11.4	2.8	7.5	—	6.1
		女	100.0	—	50.7	5.6	7.9	15.7	2.0	2.3	9.2	6.7
I	感染症及び寄生虫症	計	120	3.0	90	27	2	—	1	—	—	—
		男	58	2.8	39	17	2	—	—	—	—	—
		女	62	3.3	51	10	—	—	1	—	—	—
II	新生物＜腫瘍＞	計	452	11.4	206	—	117	1	4	97	20	7
		男	293	14.1	122	—	75	1	2	88	—	5
		女	159	8.4	84	—	42	—	2	9	20	2
III	血液及び造血系の疾患並びに 免疫機構の障害	計	37	0.9	23	12	2	—	—	—	—	—
		男	25	1.2	11	12	2	—	—	—	—	—
		女	12	0.6	12	—	—	—	—	—	—	—
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	105	2.6	92	10	1	1	—	1	—	—
		男	49	2.4	40	6	1	1	—	1	—	—
		女	56	3.0	52	4	—	—	—	—	—	—
V	精神及び行動の障害	計	27	0.7	15	11	—	—	—	—	1	—
		男	14	0.7	9	5	—	—	—	—	—	—
		女	13	0.7	6	6	—	—	—	—	1	—
VI	神経系の疾患	計	88	2.2	60	11	—	8	9	—	—	—
		男	55	2.7	34	10	—	5	6	—	—	—
		女	33	1.7	26	1	—	3	3	—	—	—
VII	眼及び付属器の疾患	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	23	0.6	23	—	—	—	—	—	—	—
		男	10	0.5	10	—	—	—	—	—	—	—
		女	13	0.7	13	—	—	—	—	—	—	—
IX	循環器系の疾患	計	443	11.2	401	3	—	4	35	—	—	—
		男	246	11.9	226	2	—	2	16	—	—	—
		女	197	10.4	175	1	—	2	19	—	—	—
X	呼吸器系の疾患	計	527	13.3	443	78	2	1	1	1	1	—
		男	305	14.7	269	33	2	—	—	1	—	—
		女	222	11.7	174	45	—	1	1	—	1	—
X I	消化器系の疾患	計	777	19.6	336	2	204	—	—	1	—	234
		男	412	19.9	183	—	112	—	—	1	—	116
		女	365	19.3	153	2	92	—	—	—	—	118
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	47	1.2	21	2	3	9	—	—	2	10
		男	23	1.1	10	1	3	5	—	—	—	4
		女	24	1.3	11	1	—	4	—	—	2	6
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	122	3.1	32	4	1	85	—	—	—	—
		男	46	2.2	11	2	—	33	—	—	—	—
		女	76	4.0	21	2	1	52	—	—	—	—
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	254	6.4	120	5	4	—	—	92	33	—
		男	122	5.9	59	3	1	—	—	59	—	—
		女	132	7.0	61	2	3	—	—	33	33	—
X V	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	計	112	2.8	—	—	—	—	—	—	112	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	112	5.9	—	—	—	—	—	—	112	—
X VI	周産期に発生した病態	計	34	0.9	—	31	—	—	—	—	3	—
		男	16	0.8	—	16	—	—	—	—	—	—
		女	18	1.0	—	15	—	—	—	—	3	—
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	6	0.2	1	5	—	—	—	—	—	—
		男	2	0.1	1	1	—	—	—	—	—	—
		女	4	0.2	—	4	—	—	—	—	—	—
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	計	80	2.0	53	14	4	1	—	6	2	—
		男	34	1.6	20	8	—	1	—	5	—	—
		女	46	2.4	33	6	4	—	—	1	2	—
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	515	13.0	69	10	8	381	44	1	—	2
		男	240	11.6	31	5	3	166	33	1	—	1
		女	275	14.5	38	5	5	215	11	—	—	1
X X	傷病及び死亡の外因	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び 保健サービスの利用	計	47	1.2	—	—	5	42	—	—	—	—
		男	27	1.3	—	—	4	23	—	—	—	—
		女	20	1.1	—	—	1	19	—	—	—	—
X X II	特殊目的用コード	計	147	3.7	141	5	1	—	—	—	—	—
		男	95	4.6	92	3	—	—	—	—	—	—
		女	52	2.7	49	2	1	—	—	—	—	—

5. 手術室統計

(1) 各科別手術件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	13	20	14	16	21	16	17	19	23	17	24	21	221
整形外科	42	30	41	31	39	28	42	39	30	25	35	34	416
泌尿器科	5	3	2	2	3	4	3	2	2	0	1	1	28
産婦人科	6	3	5	10	6	1	9	3	8	4	3	3	61
脳神経外科	1	8	9	10	11	9	11	7	10	11	9	11	107
皮膚科	23	27	21	23	30	26	31	23	11	22	25	22	284
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	90	92	92	94	110	84	113	93	84	79	97	92	1120
緊急手術	12	16	14	14	16	11	8	13	16	17	19	12	168

(2) 各科麻酔別手術（全身麻酔）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	13	19	12	15	20	15	15	18	20	15	22	19	203
整形外科	17	11	11	8	9	10	13	16	13	12	16	15	151
泌尿器科	0	1	5	5	6	5	6	1	3	8	4	3	47
産婦人科	3	1	4	4	2	0	0	0	1	1	0	1	17
脳神経外科	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5
耳鼻科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
口腔外科	8	15	14	13	16	14	14	15	3	14	11	13	150
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	42	48	46	47	53	44	48	51	40	50	54	51	574

(3) 各科麻酔別手術（腰椎麻酔）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	5
整形外科	19	11	19	14	14	14	19	14	15	11	14	14	178
泌尿器科	1	5	2	5	3	3	4	5	5	3	4	6	46
産婦人科	3	1	0	4	3	1	2	1	3	3	2	1	24
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	17	21	24	20	18	26	20	24	17	21	22	253

(4) 各科麻酔別手術（局所麻酔・その他）

※外来手術（ ）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	0	1 (1)	2 (2)	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	13 (13)
整形外科	6 (6)	8 (8)	11 (11)	9 (9)	16 (16)	4 (4)	10 (10)	9 (9)	2 (2)	2 (2)	5 (5)	5 (5)	87 (87)
泌尿器科	0	2 (2)	2 (2)	0	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	1 (1)	2 (1)	14 (13)
産婦人科	0	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	0	7 (5)	2 (2)	4 (4)	0	1 (1)	1 (1)	20 (18)
脳神経外科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0	0	1 (1)	23 (23)
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	15 (15)	12 (12)	7 (7)	10 (10)	14 (14)	12 (12)	17 (17)	8 (8)	8 (8)	8 (8)	14 (14)	9 (9)	134 (134)
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	0	1 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	25 (25)	27 (27)	25 (25)	23 (23)	37 (37)	22 (22)	39 (37)	22 (22)	20 (20)	12 (12)	22 (22)	19 (19)	293 (291)

(5) 手術分類別・診療科別・手術数

		総数	構成比 (%)	術後合併症 発症率(%)	内科	外科	整形	脳外	泌尿器	産婦	歯科
総数	計	1,080	100.0	1.7	6	243	418	29	102	74	208
	男	534	100.0	2.1	2	144	190	19	79	—	100
	女	546	100.0	1.3	4	99	228	10	23	74	108
構成比(%)	計	100.0	—	—	0.6	22.5	38.7	2.7	9.4	6.9	19.3
	男	100.0	—	—	0.4	27.0	35.6	3.6	14.8	—	18.7
	女	100.0	—	—	0.7	18.1	41.8	1.8	4.2	13.6	19.8
処置及び手技	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅰ 神経系の手術	計	32	3.0	—	—	—	5	27	—	—	—
	男	21	3.9	—	—	—	3	18	—	—	—
	女	11	2.0	—	—	—	2	9	—	—	—
Ⅱ 内分泌系の手術	計	1	0.1	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.2	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅲ 目の手術	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅳ 耳の手術	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅴ 鼻、口、および咽頭の手術	計	185	17.1	—	—	—	—	—	—	—	185
	男	83	15.5	—	—	—	—	—	—	—	83
	女	102	18.7	—	—	—	—	—	—	—	102
Ⅵ 呼吸器系の手術	計	4	0.4	—	4	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.4	—	2	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	2	—	—	—	—	—	—
Ⅶ 循環器系の手術	計	5	0.5	—	—	—	—	1	4	—	—
	男	4	0.7	—	—	—	—	1	3	—	—
	女	1	0.2	—	—	—	—	—	1	—	—
Ⅷ 血液系およびリンパ系の手術	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅸ 消化器系の手術	計	238	22.0	6.3	2	236	—	—	—	—	—
	男	143	26.8	6.3	—	143	—	—	—	—	—
	女	95	17.4	6.3	2	93	—	—	—	—	—
Ⅹ 尿路系の手術	計	77	7.1	—	—	—	—	—	77	—	—
	男	56	10.5	—	—	—	—	—	56	—	—
	女	21	3.8	—	—	—	—	—	21	—	—
ⅩⅠ 男性生殖器の手術	計	19	1.8	—	—	—	—	—	19	—	—
	男	19	3.6	—	—	—	—	—	19	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ⅩⅡ 女性生殖器の手術	計	62	5.7	—	—	4	—	—	—	58	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	62	11.4	—	—	4	—	—	—	58	—
ⅩⅢ 産科的処置	計	16	1.5	—	—	—	—	—	—	16	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	16	2.9	—	—	—	—	—	—	16	—
ⅩⅣ 筋骨格系の手術	計	428	39.6	0.7	—	—	404	1	—	—	23
	男	202	37.8	1.0	—	—	185	—	—	—	17
	女	226	41.4	0.4	—	—	219	1	—	—	6
ⅩⅤ 表皮組織の手術	計	11	1.0	—	—	3	8	—	—	—	—
	男	3	0.6	—	—	1	2	—	—	—	—
	女	8	1.5	—	—	2	6	—	—	—	—
ⅩⅥ 各種の診断および治療	計	2	0.2	—	—	—	1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.4	—	—	—	1	—	1	—	—

※手術室で実施された入院の手術件数

※診療科は入院中の科によるカウント

6. 放射線画像統計

<令和6年度 月別検査件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT検査	730	756	655	821	750	746	814	605	720	843	717	745	8,902
MRI検査	166	210	161	218	195	178	188	196	197	205	183	209	2,306
RI検査	8	12	14	19	10	13	20	17	10	10	14	5	152
TV室撮影	47	82	99	85	63	99	110	105	79	90	78	57	994
ポータブル	108	131	120	152	100	117	114	183	150	116	112	173	1,576
血管造影	22	22	17	18	13	16	21	15	10	12	10	8	184
骨塩定量測定	27	26	40	25	22	31	29	19	39	25	24	30	337
手術室撮影	75	70	64	67	80	55	74	77	76	59	80	71	848
単純撮影	1,475	1,585	1,783	2,067	1,893	1,886	2,018	1,709	1,642	1,699	1,440	1,597	20,794
超音波検査	194	211	214	226	196	205	236	206	208	212	193	170	2,471
読影依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
乳房撮影	41	56	68	92	78	66	100	106	93	76	75	85	936
内視鏡TV	18	24	16	20	14	22	19	12	18	16	18	15	212
検査全件数	2,911	3,185	3,251	3,810	3,414	3,434	3,743	3,250	3,243	3,364	2,945	3,166	39,716

<令和6年度 科別検査件数>

	CT	MRI	RI	TV	ポータブル	血管	骨塩	手術室	単純	US	読影	乳房	内視鏡TV	合計
内科	4,986	715	72	13	945	149	15	15	6,313	733	1	0	185	14,142
外科	623	81	5	78	510	15	21	435	757	264	2	333	26	3,150
整形外科	1,386	457	0	51	75	11	201	360	6,119	361	1	0	1	9,023
脳神経外科	717	337	1	0	11	6	0	1	203	11	0	0	0	1,287
泌尿器科	366	105	40	141	17	2	2	6	668	44	0	0	0	1,391
耳鼻科	106	14	0	0	0	0	0	0	36	138	0	0	0	294
小児科	22	32	2	1	12	0	0	0	245	123	0	0	0	437
産婦人科	48	165	1	0	5	0	6	31	106	23	0	0	0	385
放射線科	325	312	26	0	0	0	29	0	29	42	0	0	0	763
皮膚科	12	2	0	0	0	0	0	0	7	6	0	0	0	27
眼科	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
精神科・神経科	14	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
歯科口腔外科	274	8	4	0	0	0	0	0	1,068	0	0	0	0	1,354
心臓血管外科	7	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	12
透析科	12	3	0	0	1	0	0	0	703	14	0	0	0	733
リハビリ科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
健診科	0	68	0	710	0	0	63	0	4,531	709	0	603	0	6,684
検査全件数	8,902	2,306	152	994	1,576	184	337	848	20,794	2,471	4	936	212	39,716

7. クリニカルパス使用状況

診療科	パス名称	適用件数	合計	パス適用率
内科	シャントPTA	1	151	6.91%
	成人レスパイト入院	0		
	気管支鏡	7		
	下肢動脈造影検査	0		
	恒久的ペースメーカー植え込み術	12		
	恒久的ペースメーカー電池交換術	4		
	心カテPCI治療	21		
	心カテ検査	38		
	下肢PTA治療	2		
	内視鏡的大腸ポリープ切除術	63		
	糖尿病教育入院	3		
小児科	新生児	2	46	20.00%
	小児急性虫垂炎	0		
	MRI検査入院	0		
	輸液	0		
	小児レスパイト入院	16		
	X連鎖無ガンマグロブリン血症一献血ベニコロン点滴	12		
	帝王切開児	16		
外科	S状結腸切除術	6	213	58.36%
	臍頭十二指腸切除術	0		
	胃切除術	13		
	胃全摘術	4		
	右半、横行、左半結腸切除術	19		
	開腹胆嚢摘出術	3		
	痔核痔瘻	5		
	小児急性虫垂炎	1		
	成人急性虫垂炎	33		
	成人鼠径ヘルニア	13		
	大腸切除術(ストマあり)	2		
	腹腔鏡下直腸固定術	5		
	直腸切除術	13		
	乳房切除術	0		
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア	26		
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	70		
整形外科	大腿骨頸部骨折	28	325	57.02%
	人工骨頭手術	40		
	人工股関節手術	15		
	人工膝関節手術	17		
	上肢手術	83		
	下肢手術	112		
	頸椎手術	6		
	腰椎手術	22		
	小児骨折	2		
	膝関節鏡	0		
脳神経外科	CAG	4	33	33.33%
	CAS	1		
	脳梗塞	2		
	脳出血	8		
	慢性硬膜下血腫	18		
産婦人科	子宮腔部円錐切除	10	134	75.57%
	腔式子宮全摘＋腔壁形成術	3		
	子宮筋腫核出術	0		
	正常産褥	69		
	帝王切開術	16		
	子宮内容除去術	0		
	付属切除術	0		
	腹腔鏡下手術	14		
	子宮全摘術	2		
	流産手術	20		
泌尿器科	経尿道の尿管結石摘除術	31	101	49.03%
	経尿道の膀胱結石摘除	3		
	腹腔鏡下腎摘除	3		
	経尿道の膀胱腫瘍切除	31		
	経尿道の前立腺切除	2		
	内シャント	4		
	前立腺生検	27		
歯科	抜歯手術	145	145	57.31%
全科合計		1,148	1,148	31.60%

※件数については、外来で適用されたパス件数も含まれます

8. リハビリ統計

医事項目		療法区分												脳血管リハI理												脳血管リハI作												脳血管リハI言												廃用リハI理												廃用リハI作												運動器リハI理												運動器リハI作												呼吸器リハI理												呼吸器リハI作												心疾患リハI理												心疾患リハI作												心疾患リハI集												脳血管I理上超																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小計						外来						入院						小					

8. リハビリ統計

医事項目		脳血管工 作上 限超		脳血管工 理上 限超		廃用工 理上 限超		廃用工 作上 限超		運動器工 理上 限超		運動器工 作上 限超		呼吸器工 理上 限超		呼吸器工 作上 限超		呼吸器工 言上 限超		心疾患工 理上 限超		心疾患工 作上 限超		心疾患工 集上 限超		脳血管工 理上 限超		脳血管工 作上 限超	
療法区分		245		180		180		180		185		185		175		175		175		205		205		205		147		147	
理学	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
作業	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2590	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	441	0	0	0
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	10	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	441	0	0	0
言語	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	11	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3700	0	4255	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	14	24	13	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4440	0	4625	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7400	0	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
言語	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	11	22	11	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4070	0	4255	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	13	18	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	2
総合計	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3330	0	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	441	0	294	294
	点数	0	0	0	0	0	0	0	0	24	40	13	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	2
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7400	0	4625	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	441	0	294	294

8. リハビリ統計

[illegible]

8. リハビリ統計

療法区分	医事項目	脳血管工 作		脳血管工 言		廃用工 理		廃用工 作		廃用工 言		運動器工 理		運動器工 作		呼吸器工 理		呼吸器工 作		呼吸器工 言		心疾患工 理		心疾患工 作		心疾患工 集		脳血管工 理上上限超供超		脳血管工 作上上限超供超	
		単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	単 位 数	単 位 数	件 数	単 位 数	件 数	
		245	245	180	180	180	180	185	185	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	205	205	205	205	147	147	147	147		
理学	外来	件数	点数																												
	入院	件数	点数																												
	小計	件数	点数																												
作業	外来	件数	点数																												
	入院	件数	点数																												
	小計	件数	点数																												
言語	外来	件数	点数																												
	入院	件数	点数																												
	小計	件数	点数																												
合計	外来	件数	点数																												
	入院	件数	点数																												
	総合計	件数	点数																												

8. リハビリ統計

医事項目	療法区分		脳血管工言上 限超併超		廃用工理上 限超併超		廃用工言上 限超併超		運動器工理上 限超併超		運動器工作上 限超併超		脳工理上 限超併超		脳工作上 限超併超		脳工言上 限超併超		廃工理上 限超併超		廃工作上 限超併超		運工理上 限超併超		運工作上 限超併超		脳血管工理管理料未		
			件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	件数	単 位 数	
			件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数
理学	外来																												
	入院																												
	小計																												
作業	外来																												
	入院																												
	小計																												
言語	外来																												
	入院																												
	小計																												
合計	外来																												
	入院																												
	総合計																												

8. リハビリ統計

[illegible]

8. リハビリ統計

	医事項目	療法区分		脳Ⅰ理上 限超併外管未		脳Ⅰ作上 限超併外管未		脳Ⅰ言上 限超併外管未		脳Ⅰ理上 限超併外管未		脳Ⅰ作上 限超併外管未		脳Ⅰ言上 限超併外管未		脳Ⅰ理上 限超併超管未		脳Ⅰ作上 限超併超管未		脳Ⅰ言上 限超併超管未		運Ⅰ理上 限超併超管未	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
理学	外来																						
	入院																						
	小計																						
作業	外来																						
	入院																						
	小計																						
言語	外来																						
	入院																						
	小計																						
合計	外来																						
	入院																						
	総合計																						

8. リハビリ統計

[illegible]

8. リハビリ統計

医事項目	療法区分																																	
	廃用 I 言 労災		運動器 I 理 労災		運動器 I 作 労災		呼吸器 I 理 労災		呼吸器 I 作 労災		呼吸器 I 言 労災		心疾患 I 理 労災		心疾患 I 作 労災		心疾患 I 集 労災		がんりハ		摂食機能療法	摂食（30分未満）	早期加算 1530日	早期加算 1530日	早期加算 1530日	急性期リハ加算	急性期リハ加算	早期初期加算（労災）	急性期リハ加算	退院時リハ指導				
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数											件数	単位数	件数	単位数
療法区分	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
理学	外来		5	11																														
				2090																														
	入院		31	75																														
	小計			14250																														
作業			36	86																														
				16340																														
	外来		8	8	54	104																												
	入院					44	118																											
言語				1520			19760																											
	外来																																	
	入院																																	
合計			13	19	54	104																												
				3610		19760																												
	外来																																	
	入院		31	75	44	118																												
総合計			44	94	98	222																												
	小計			17860		42180																												

8. リハビリ統計

医事項目	療法区分		総評価料 1	総評価料 2	退院前訪問指導料	訪問リハ（同建物以外）	訪問リハ（同建物）	算定なし（加算有効）	目標設定管理 初回	目標設定管理 2回以降	生活リハビリ	未算定	算定不可	障害測定	嚥下造影検査（胃ろう）	嚥下造影検査	酸素（小型ボンベ）	酸素（小型ボンベ） 5	酸素（小型ボンベ） 10	酸素（小型ボンベ） 20	酸素（小型ボンベ） 40	酸素（小型ボンベ） 60	ホットパック	コールドパック	渦流浴	低周波	在宅訪問リハ	合計 点数
	外来	入院																										
理学	件数	56				6						33		20				1							1	3		
	点数	16800				1800												35							35	385	94885	
	件数	2238	64					580	237	3		573	6	4			2	2	57	230	133	191				89		
	点数	671400	15360					59250	300								2	2	171	1150	1330	3056				3115	1133077	
作業	件数	2294	64			6		580	237	3		606	6	24			2	2	57	230	133	191			1	100	3	
	点数	688200	15360			1800		59250	300								2	2	171	1150	1330	3056			35	3500	11424962	
	件数	77																						6	15			
	点数	23100																						210	525	134249		
言語	件数	793	21					247	59	1		190	1				2	35	98	59	91							
	点数	237900	5040					14750	100								2	105	490	590	1456						5478173	
	件数	870	21					247	59	1		190	1				2	35	98	59	91			6	15			
	点数	261000	5040					14750	100								2	105	490	590	1456			210	525	5612422		
合計	件数	19	6						1			5																
	点数	5700	1440						250																		18412	
	件数	217	2					167	15			290	2		15													
	点数	65100	480					3750																			2071984	
合計	件数	236	8					167	16			295	2		15													
	点数	70800	1920					4000																			2090396	
	件数	152	6				6		1			38		20											7	26	3	
	点数	45600	1440				1800			250														245	910	247546		
合計	件数	3248	87					994	311	4		1053	9	4	15		2	4	92	328	192	282				89		
	点数	974400	20880					77750	400								2	4	276	1640	1920	4512				3115	18880234	
	件数	3400	93				6		994	312	4	1091	9	24	15		2	4	92	328	192	282			7	115	3	
	点数	1020000	22320				1800		78000	400							2	4	276	1640	1920	4512			245	4025	19127780	

9. 地域医療連携室相談実績

相談件数 (件)	
入院	1,978
外来	35
訪問リハビリ	
合計	2,013

相談内容 (件)	
介護保険制度の説明	112
医療助成制度・障がい制度について	3
地域との連携	30
市と連携	9
開業医との連携	1
元の病院・施設へ戻るための連携	248
ケアマネと主治医との連携・調整	15
ケアマネまたは訪問看護との連携	623
在宅調整	78
施設調整	96
転院調整	302
受診調整	2
書類調整	1
レスパイト調整	1
レスパイト入院	5
がん相談	11
療養相談	14
情報収集	273
サービス調整	23
他院紹介・連携	2
ほか	2
合計	1851

相談依頼元 (件)	
病棟	1788
医師	8
救急	1
訪問看護	10
外来	2
家族	6
ケアマネ	28
老人福祉施設	1
老人保健施設	7
合計	1851

入院中の相談・退院支援患者の転帰状況 (件)	
在宅	1,069
施設	364
病院転院	26
死亡	156
合計	1,615

カンファレンス (件)	
400点	175
2000点	3
合計	178

地域連携クリニカルパス適用件数 (件)	
脳卒中地域連携クリニカルパス	
大腿骨頸部骨折クリニカルパス	
合計	0

退院支援計画書 (枚)	
退院支援計画書提出数	1,961

地域包括ケア病棟への入院相談 (件)	
レスパイト入院	52
小児レスパイト	25
合計	77

10. 健診センター受診者件数

(年度)

健診の種類 (件)	令和6年度	令和5年度	増減率
人間ドック	663	533	124%
生活習慣病予防健診	1,527	1,597	96%
特定健診	361	280	129%
その他一般健診等	922	775	119%
高島市職員・共済健診	1,715	1,773	97%
教職員健診	271	259	105%
乳がん検診	593	485	122%
子宮頸がん検診	604	516	117%
大腸がん検診	855	858	100%
特定保健指導	0	0	—
脳ドック	21	15	140%
P E T / C T	1	1	100%

オプション検査 (件)	令和6年度	令和5年度	増減率
AFP	—	6	—
PSA	86	53	162%
CA125	29	31	94%
CEA・CA19-9 (2項目)	28	53	53%
腫瘍マーカー 3項目	489	184	266%
腫瘍マーカー 4項目	518	528	98%
HbA1c	162	179	91%
肝炎検査	133	203	66%
胃カメラ	915	919	100%
BNP	159	179	89%
ABC検診	29	35	83%
H・ピロリ菌	42	49	86%
甲状腺セット	101	91	111%
骨密度測定	63	71	89%
アレルギー検査	35	31	113%
頸動脈エコー	71	74	96%
脈波検査	72	80	90%
頭部MRI	45	48	94%

11. 病院事業決算比較表

※令和6年度から事業統合

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
病院事業収益	6,023,145,317	-	-	-
医業収益	4,449,993,510	-	-	-
入院収益	3,014,456,014	-	-	-
外来収益	1,233,513,898	-	-	-
その他医業収益	202,023,598	-	-	-
医業外収益	971,662,327	-	-	-
患者外給食収益	0	-	-	-
受取利息配当金	1,407,729	-	-	-
他会計補助金	0	-	-	-
補助金	41,539,000	-	-	-
負担金交付金	640,000,000	-	-	-
長期前受金戻入	248,907,149	-	-	-
その他医業外収益	39,808,449	-	-	-
消費税還付金	0	-	-	-
訪問看護事業収益	94,105,209	-	-	-
介護給付費分	55,368,634	-	-	-
訪問看護療養費分	26,249,137	-	-	-
訪問看護一部負担分	8,415,965	-	-	-
その他訪問看護収益	4,071,473	-	-	-
訪問看護事業外収益	3,377,445	-	-	-
他会計補助金	0	-	-	-
補助金	0	-	-	-
負担金交付金	2,527,000	-	-	-
その他事業外収益	670,097	-	-	-
雑収入	180,348	-	-	-
介護老人保健施設運営事業収益	485,545,220	-	-	-
施設療養収益	380,115,086	-	-	-
その他施設運営事業収益	105,430,134	-	-	-
介護老人保健施設運営事業外収益	17,084,283	-	-	-
他会計補助金	0	-	-	-
補助金	676,978	-	-	-
負担金交付金	11,308,000	-	-	-
長期前受金戻入	2,474,559	-	-	-
その他施設運営事業外収益	2,624,746	-	-	-
特別利益	1,377,323	-	-	-
固定資産売却益	0	-	-	-
過年度損益修正益	1,377,323	-	-	-
その他特別利益	0	-	-	-
病院事業費用	6,627,603,537	-	-	-
医業費用	5,693,713,421	-	-	-
給与費	3,311,925,348	-	-	-
材料費	939,728,110	-	-	-
経費	986,118,713	-	-	-
減価償却費	439,692,750	-	-	-
資産減耗費	6,217,330	-	-	-
研究研修費	10,031,170	-	-	-
医業外費用	241,463,967	-	-	-
患者外給食材料費	1,566,546	-	-	-
職員養成費	0	-	-	-
支払利息及び企業債取扱諸費	22,459,667	-	-	-
雑損失	217,437,754	-	-	-

項 目	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
訪問看護事業費用	111,105,529	－	－	－
給与費	106,674,147	－	－	－
材料費	116,057	－	－	－
経費	4,291,627	－	－	－
研究研修費	23,698	－	－	－
介護老人保健施設運営事業費用	511,905,836	－	－	－
給与費	349,107,440	－	－	－
材料費	15,789,873	－	－	－
経費	112,587,209	－	－	－
減価償却費	34,189,623	－	－	－
資産減耗費	11,880	－	－	－
研究研修費	219,811	－	－	－
介護老人保健施設運営事業外費用	2,862,256	－	－	－
支払利息及び企業債取扱諸費	2,862,256	－	－	－
雑損失	0	－	－	－
特別損失	66,552,528	－	－	－
固定資産売却損	0	－	－	－
減損損失	0	－	－	－
災害による損失	0	－	－	－
過年度損益修正損	56,652,528	－	－	－
その他特別損失	9,900,000	－	－	－
当年度純利益	▲ 604,458,220	－	－	－
資本的収入	409,828,000	－	－	－
企業債	241,600,000	－	－	－
出資金	28,942,000	－	－	－
補助金	9,504,000	－	－	－
他会計負担金	129,782,000	－	－	－
固定資産売却代金	0	－	－	－
資本的支出	605,319,314	－	－	－
建設改良費	253,597,020	－	－	－
投資	7,300,000	－	－	－
企業債償還金	344,422,294	－	－	－

